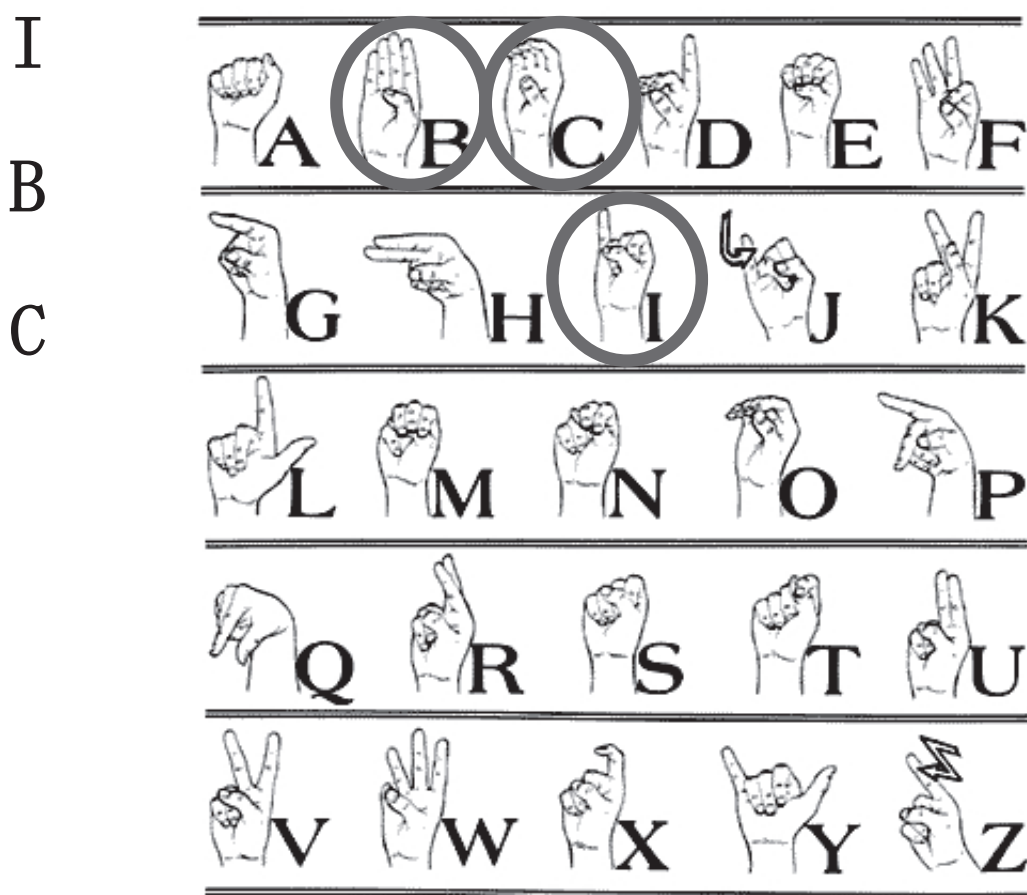


# 2018年度 前期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通・・・・・・・・・・・・・・・・P1～20

ホテル・ブライダル・ホテル・ブライダル P21～42

トラベル・鉄道・・・・・・・・P43～84

エアライン・エアポート・・・P85～110

国際ホテルマネジメント・・・P111～131

夜間総合観光・・・・・・・・P132～141

# 共通

学年	科目名	クラス	ページ
1	英検対策Ⅰ	KMOPABTZ	1
1	英検対策Ⅱ	KMOPABTZ	2
1	コミュニケーションイングリッシュ	KOPS留Y①②③④	3
1	コミュニケーションイングリッシュ	AB①②T日	4
1	ビジネス能力検定	ABMT(日本人) OPZ	5
1	SPI非言語対策	ABOPT日	6
1	SPI言語対策	全科	7
1	ホテル英会話Ⅰ	ABT	8
1、2	韓国語	EINW KOP	9
1、2	中国語	KOP EINW	10
2	韓国語	LR	11
2	中国語	LR	12
2	フランス語	EI	13
2	コミュニケーションイングリッシュ	ELRW	14
2	コンピュータ	RWLNY	15
2	SPI非言語対策	EIRWY	16
2	SPI言語対策	全科	17
2	サービス接遇検定	LN	18
2	手話	NRW	19
2	ホテル英会話Ⅱ	EI	20

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・フライダル・トラベル・鉄道・エアライン・ 国際ホテルマネジメント・夜間総合観光科	KMOPABTZクラス
科目名	英検対策 I			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子、日高郁子、吉村裕子、平島千華、榎本美和子、鈴木茉衣			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 6月2日(土)(2018年第1回検定)及び10月6日(土)(2018年第2回検定)に実施される英検に合格できる力をつける。 クラスによって取得目標級が異なる為、講師独自のプリントなど用意するにあたりシラバス通りに授業が進まないこともある。 週に2回授業があり、また、曜日によって講師が違うクラスもあるため、授業の進め方や進度は各クラスによって異なる。			
使用テキスト	2018年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 小テスト、提出物、授業態度など。 ・期末試験 80% 授業の習熟度を期末試験に於いて評価			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1週目	2017年第2回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、語彙強化に努める事。		
2週目	2017年第2回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、語彙強化に努める事。		
3週目	2017年第2回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級によって異なる。) 文型・熟語の習得および作文指導に於いては自己の意見を文章で表現する力を養う。		
4週目	進度調整・リスニング	リスニングパート練習 2017年度第2回検定問題で解けなかった部分の学習。 学生は担当講師による指定箇所のリスニングパートの復習、語彙強化に努める事。		
5週目	2017年第1回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、復習、語彙強化に努める事。		
6週目	2017年第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 作文指導(取得目標級によって異なる。) 文型・熟語の習得および作文指導に於いては自己の意見を文章で表現する力を養う。		
7週目	2017年第1回検定問題 英検直前対策	リスニングパート練習 2017年度第1回検定問題で解けなかった部分の学習。 6月2日(土) *準1級受験者は6月3日(日)実施の2018年度第1回検定直前対策		
8週目	リスニング・英作文対策 英検直前対策	リスニングパート練習 英作文対策 学生は担当講師による指定箇所のリスニングパートの復習、語彙強化に努める事。 6月2日(土) *準1級受験者は6月3日(日)実施の2018年度第1回検定直前対策		
9週目	2018年度第1回検定解答 2016年第3回検定問題	2018年度第1回検定解答 語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、復習、語彙強化に努める事。		
10週目	2016年第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 作文指導(取得目標級によって異なる。) 文型・熟語の習得および作文指導に於いては自己の意見を文章で表現する力を養う。		
11週目	2016年第3回検定問題 二次試験対策	リスニングパート練習 二次試験試験対策 面接指導		
12週目	進度調整・二次試験対策	リスニングパート練習 二次試験試験対策 面接指導		
13週目	2016年第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 作文指導(取得目標級によって異なる。) 2016年度第3回検定問題で解けなかった部分の学習。		
14週目	進度調整・リスニング	リスニングパート練習 2016年度第3回検定問題で解けなかった部分の学習。		
15週目	期末試験対策	前期授業のまとめ 期末試験対策		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・プライダル・トラベル・鉄道・エアライン・ 国際ホテルマネジメント・夜間総合観光科	KMOPABTZクラス
科目名	英検対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子、日高郁子、吉村裕子、平島千華、榎本美和子、鈴木茉衣			
到達目標	到達目標 <input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 6月2日(土)(2018年第1回検定)及び10月6日(土)(2018年第2回検定)に実施される英検に合格できる力をつける。 クラスによって取得目標級が異なる為、講師独自のプリントなど用意するにあたりシラバス通りに授業が進まないこともある。 週に2回授業があり、また、曜日によって講師が違うクラスもあるため、授業の進め方や進度は各クラスによって異なる。			
使用テキスト	2018年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 小テスト、提出物、授業態度など。 ・期末試験 80% 授業の習熟度を期末試験に於いて評価			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1週目	イントロダクション	英語検定クラス授業説明 授業内容、 成績評価方法についての説明 授業計画、使用プリント及び課題プリント説明(担当講師により各プリントは異なる。)		
2週目	2017年第2回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、語彙強化に努める事。		
3週目	2017年第2回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級によって異なる。) 文型・熟語の習得および作文指導に於いては自己の意見を文章で表現する力を養う。		
4週目	進度調整・リスニング	リスニングパート練習 2017年度第2回検定問題で解けなかった部分の学習。 学生は担当講師による指定箇所のリスニングパートの復習、語彙強化に努める事。		
5週目	2017年第1回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、復習、語彙強化に努める事。		
6週目	2017年第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 作文指導(取得目標級によって異なる。) 文型・熟語の習得および作文指導に於いては自己の意見を文章で表現する力を養う。		
7週目	2017年第1回検定問題 英検直前対策	リスニングパート練習 2017年度第1回検定問題で解けなかった部分の学習。 6月2日(土) * 準1級受験者は6月3日(日)実施の2018年度第1回検定直前対策		
8週目	リスニング・英作文対策 英検直前対策	リスニングパート練習 英作文対策 学生は担当講師による指定箇所のリスニングパートの復習、語彙強化に努める事。 6月2日(土) * 準1級受験者は6月3日(日)実施の2018年度第1回検定直前対策		
9週目	2018年度第1回検定解答 2016年第3回検定問題	2018年度第1回検定解答 語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、復習、語彙強化に努める事。		
10週目	2016年第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 作文指導(取得目標級によって異なる。) 文型・熟語の習得および作文指導に於いては自己の意見を文章で表現する力を養う。		
11週目	2016年第3回検定問題 二次試験対策	リスニングパート練習 二次試験試験対策 面接指導		
12週目	進度調整・二次試験対策	リスニングパート練習 二次試験試験対策 面接指導		
13週目	2016年第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 作文指導(取得目標級によって異なる。) 2016年度第3回検定問題で解けなかった部分の学習。		
14週目	進度調整・リスニング	リスニングパート練習 2016年度第3回検定問題で解けなかった部分の学習。		
15週目	期末試験対策	前期授業のまとめ 期末試験対策		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル、エアライン、国際ホテルマネジメント2年留、夜間総合観光2年 科	KOPS留Y①②③④クラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Max Gonzalez, Fernando Lewinger, Guzman Carlos			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak. Eg: Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.			
使用テキスト	Challenge Book #4およびTake off!			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 Class work and attitude(50%), Oral Test (50%)			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	前期オリエンテーション Challenge Book #4 P7-8 Takeoff! P1-2	オリエンテーション: クラスルールの説明と確認 Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Role Play: Dialog 1 At the School Cafeteria 1		
2回	発表 Challenge Book #4 P7-8 Takeoff! P1-2	Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Role Play: Dialog 1 At the School Cafeteria 1 Original Sentences: Do you want to _____? , etc.		
3回	Challenge Book #4 P9 Takeoff! P3-4	Q&A: Personal Information Role Play: Dialog 2 At the School Cafeteria 2 Original Sentences: What's your _____? , etc.		
4回	発表 Challenge Book #4 P9 Takeoff! P3-4	Q&A: Personal Information Role Play: Dialog 2 At the School Cafeteria 2 Original Sentences: What's your _____? , etc.		
5回	Challenge Book #4 P10 Takeoff! P5-6	Presentation: Introducing a Friend Role Play: Dialog 3 At the School Cafeteria 3 Original Sentences: I _____ yesterday. , etc.		
6回	発表 Challenge Book #4 P10 Takeoff! P5-6	Presentation: Introducing a Friend Role Play: Dialog 3 At the School Cafeteria 3 Original Sentences: I _____ yesterday. , etc.		
7回	Challenge Book #4 P11 Takeoff! P7-8	Q&A: Family Test Role Play: Dialog 4 At the Library 1 Original Sentences: Let me _____ , etc.		
8回	発表 Challenge Book #4 P11 Takeoff! P7-8	Q&A: Family Test Role Play: Dialog 4 At the Library 1 Original Sentences: Let me _____ , etc.		
9回	Challenge Book #4 P12 Takeoff! P9-10	Presentation: My Family Presentation Role Play: Dialog 5 In the Hallway 1 Original Sentences: I hope _____ , etc.		
10回	発表 Challenge Book #4 P12 Takeoff! P9-10	Presentation: My Family Presentation Role Play: Dialog 5 In the Hallway 1 Original Sentences: I hope _____ , etc.		
11回	Challenge Book #4 P13 Takeoff! P11-12	Q&A: Sports Interview Role Play: Dialog 6 In the Classroom 1 Original Sentences: I usually _____ , etc.		
12回	発表 Challenge Book #4 P13 Takeoff! P11-12	Q&A: Sports Interview Role Play: Dialog 6 In the Classroom 1 Original Sentences: I usually _____ , etc.		
13回	Challenge Book #4 P14 Takeoff! P13-14	Presentation: My Favorite Sport Role Play: Dialog 7 In the Classroom 2 Original Sentences: Can you _____? , etc.		
14回	Oral Test	Teacher will choose 1 challenge which students have already learned from the Challenge Book. Or prepare a separate original test based.		
15回	発表Challenge Book #4 P25 Takeoff! P29-30	Presentation: My Favorite English Song Role Play: Dialog 15 In the Hallway 2 Original Sentences: How did you _____? , etc.		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科 国際ホテルマネジメント科	AB①②T日
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			
到達目標	「検定あり シンプルな会話を通して、基礎的な英会話力を磨き、学生が自ら発話できるよう促します。 また、基礎的な文法を復習し、ロールプレイングなどで繰り返し練習することで会話力を高め、外国人とスムーズに意思疎通が出来るようなコミュニケーション力を身に着けます。*テキストとチャレンジブック以外にオリジナルのプリントを配布します。 *学生のレベルを見ながら進めていくのでシラバス通りに進まない場合があります。			
使用テキスト	Challenge Book #4およびTake off! *その他プリント配布あり			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 Class work and attitude(50%), Oral Test (50%)			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	前期オリエンテーション Challenge Book #4 P7-8 Takeoff! P1-2	オリエンテーション: クラスルールの説明と確認 *クラスルームイングリッシュ Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Role Play: Dialog 1 At the School Cafeteria 1		
2回	発表 Challenge Book #4 P7-8 Takeoff! P1-2	Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Role Play: Dialog 1 At the School Cafeteria 1 Original Sentences: Do you want to _____?, etc.		
3回	Challenge Book #4 P9 Takeoff! P3-4	Q&A: Personal Information Role Play: Dialog 2 At the School Cafeteria 2 Original Sentences: What's your _____?, etc.		
4回	発表 Challenge Book #4 P9 Takeoff! P3-4	Q&A: Personal Information Role Play: Dialog 2 At the School Cafeteria 2 Original Sentences: What's your _____?, etc.		
5回	Challenge Book #4 P10 Takeoff! P5-6	Presentation: Introducing a Friend Role Play: Dialog 3 At the School Cafeteria 3 Original Sentences: I _____ yesterday., etc.		
6回	発表 Challenge Book #4 P10 Takeoff! P5-6	Presentation: Introducing a Friend Role Play: Dialog 3 At the School Cafeteria 3 Original Sentences: I _____ yesterday., etc.		
7回	Challenge Book #4 P11 Takeoff! P7-8	Q&A: Family Test Role Play: Dialog 4 At the Library 1 Original Sentences: Let me _____., etc.		
8回	発表 Challenge Book #4 P11 Takeoff! P7-8	Q&A: Family Test Role Play: Dialog 4 At the Library 1 Original Sentences: Let me _____., etc.		
9回	Challenge Book #4 P12 Takeoff! P9-10	Presentation: My Family Presentation Role Play: Dialog 5 In the Hallway 1 Original Sentences: I hope _____., etc.		
10回	発表 Challenge Book #4 P12 Takeoff! P9-10	Presentation: My Family Presentation Role Play: Dialog 5 In the Hallway 1 Original Sentences: I hope _____., etc.		
11回	Challenge Book #4 P13 Takeoff! P11-12	Q&A: Sports Interview Role Play: Dialog 6 In the Classroom 1 Original Sentences: I usually _____., etc.		
12回	発表 Challenge Book #4 P13 Takeoff! P11-12	Q&A: Sports Interview Role Play: Dialog 6 In the Classroom 1 Original Sentences: I usually _____., etc.		
13回	Challenge Book #4 P14 Takeoff! P13-14	Presentation: My Favorite Sport Role Play: Dialog 7 In the Classroom 2 Original Sentences: Can you _____?, etc.		
14回	Oral Test	Teacher will choose 1 challenge which students have already learned from the Challenge Book. Or prepare a separate original test based.		
15回	発表Challenge Book #4 P25 Takeoff! P29-30	Presentation: My Favorite English Song Role Play: Dialog 15 In the Hallway 2 Original Sentences: How did you _____?, etc.		

対象学年	1年	対象クラス	ホテルプライダル・鉄道・エアライン・エアポート ・夜間総合観光・国際ホテルマネジメント(日本人)科	ABMT(日本人)OP2クラス
科目名	ビジネス能力検定			
担当講師(フルネーム)	徳永美千留・榎本美和子・田中友加利・池田香織			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり ・ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す(12月受験) ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。 ・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ			
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2018年度版			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験 60% 平常点 40%(出席率・課題)			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業内容、成績評価方法		
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ 第2章 仕事の基本となる8つの意識		
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事時のマナー		
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談		
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性		
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客対応と訪問の基本マナー 第7章 会社関係でのつき合い		
7回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本		
8回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話対応		
9回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方 第5章 情報収集とメディアの活用		
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用		
11回	過去問題	過去問題解答 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
12回	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
13回	過去問題	過去問題解答 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
14回	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
15回	過去問題	過去問題解答 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		



対象学年	1年	対象クラス	鉄道・トラベル・夜間以外の科	ABOPT日クラス
科目名	SPI非言語対策			
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫・北村正雄			
到達目標	〇 検定あり 航空系、旅行系、ホテル系などの企業の能力適性検査試験(就職試験)に合格するのに必要な非言語分野の能力・学力を修得することが出来ます。これらの企業・会社で採用されているのは、主に(株)リクルートキャリア社のSPI(テストセンター WEBテスト ペーパー)の3種類です。最近ではSPIのテストセンターかWEBテストのどちらかです。WEBテストとはセンター試験の会場・学校・自宅などPC環境の設備のある場所で自分の都合の良い時間と曜日に自分一人で受検(能力適性検査試験を受けるので受検)するタイプです。受検希望者が多い企業ではますます採用されていくように思います。また企業によっては、一般常識というペーパー形式の試験があります。その場合数学・算数分野の中で、食塩水の濃度・年齢算などの文章題と計算問題が出題されます。SPI-3の分野では、推論分野からの出題が非常に増えています。能力適性検査試験に合格しなければ、面接試験という土俵に上がって、航空・旅行・ホテル・ブライダル業界に対する、あなたの誰よりも業界に対する熱い思いと、今まで誰よりも頑張ってきた、あなたの面接の努力のあかしを面接官にぶつけることはできません。一次の能力適性検査試験に合格して、二次の面接試験の土俵に進み、そして最終合格!あなたの夢の実現のため全力でサポートします。			
使用テキスト	SPI非言語			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・〇 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認	講義指針、内容などに関する事項 航空業界・旅行ホテル業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わないで問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推し論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。		
2回	鶴亀算1 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。実際のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方として短時間で正解にたどり着ければそれでよいのです。		
3回	鶴亀算2 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONNDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならぬ。バイトの学生が20個仕上げ、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか		
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算	この問題は小学校では旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後Bが分速80mで追いつけた。Bは何分後寮から何mの地点で、Aに追いつけますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。		
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算と流水算	この問題は小学校では旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出発するため、午前8時に自転車で時速7kmで向かいました。他方勤務明線のBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時間分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。		
6回	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の濃度の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。実際、ホテル、空港、ブライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?		
7回	食塩水の濃度2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。実際、ホテル、空港、ブライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといですか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント		
8回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうの問題によっては簡単なケースがたくさんあります。SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思います。		
9回	比と割合 玉手箱(計数理解)	割合の考え方を基本に問題演習をします。割引・割り増しの考え方を理解できるようにします。この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えば赤バラが全部で90本 赤バラと白バラの目が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか? 比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI-3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内で時間との闘い。		
10回	確率1 Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1-分数】を選択することになります。とても大事なことで1年後期でも学習します。ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?		
11回	順列1 Permutation	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式は、 $nPr$ $P = \text{permutation} = \text{順列}$ $n$ は全体の数字 $r$ は $n$ 個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけですから絶対に落とせません。順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。SPI-3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません		
12回	組み合わせ1 Combination	順列が理解できないと組み合わせは理解できません。順列ではABC ACB BAG BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違うと別物と考えます。組み合わせは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC~CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 $nCr$ $C = \text{Combination}$ 公式の意味も理解しましょう。組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。		
13回	仕事算1	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするのかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量=1÷かかった日数(時数分数秒数) Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとて多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いちばallの意味に使われています。詳しくは講義の中で。		
14回	仕事算2 暗号問題	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC2人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する? など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI-2には出題、されていませんでした。SPI-3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためられます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさとセンスがためられます。		
15回	前期学習の総まとめ	鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数割合 と後期学習の最重要分野の推論について		

対象学年	1年	対象クラス	1年全科	全クラス
科目名	SPI言語対策			
担当講師(フルネーム)	前田恭子・山本真美			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 就職試験における筆記試験試験分野・言語系の対策授業 SPI言語の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す。同時に他の試験問題(時事問題、一般常識、適性検査)にも対応できるよう実力を養成する。			
使用テキスト	・一般常識チェック&マスター (実教出版株式会社) ・一般常識/一問一答 (新星出版社)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・前期試験80%、平常点(課題提出、授業態度等)20%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	目指せ『漢検二級』	授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定 / 模擬試験 (合格している級より上の級の問題を解く) ( 6/15校内で実施される漢字検定に向けての準備 / 任意受検 )		
2回	都道府県を極める	日本の白地図を使用して都道府県を確認する うる覚えの知識を確かな知識に変える第一歩		
3回	世界地図を広げよう①	日本をおさえたら、次は世界。白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう		
4回	世界地図を広げよう②	2週にわたり、世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします		
5回	グローバル社会の住人①	世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます 中学・高校でも学んだILOやWHOの登場です		
6回	グローバル社会の住人②	程よい付き合いは、人にとっても国にとっても国にとっても重要です 国同士の『付き合い』を地域協定(EU・ASEANなど)を通して考えます		
7回	グローバル社会の住人③	『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ 1年に1回集まって地球の将来を決める？こしはカナダ・マルベイでの開催です		
8回	あなたの『1票』の重さは？	政治① 国会議員の人数や任期を知るとともに国会の仕組みについて学びます		
9回	霞が関ってどこですか？	政治② 内閣と1府12省庁と関連機関を確認します		
10回	地方公共団体	政治③ 中央政治のあとは、地方政治を学びます		
11回	裁判員裁判って何？	裁判所について学びます。裁判員制度は聞いたことがあるけど…		
12回	循環する『お金』	銀行に預けたお金はどこへ行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近に		
13回	『お札』は技術の結晶	偽札は国を揺るがす大犯罪。各国は国の威信をかけてお札をつくります 日本の技術を実際に肌で感じて、お札を通して経済に興味を持ちましょう		
14回	経済用語を覚えよう	CEO、COO、CFO、代表取締役社長、いろんな呼び名があります。それらもあわせて覚えよう		
15回	前期の総復習&課題	前期の復習と夏休みの課題説明		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科、国際ホテルマネジメント科	A,B,Tクラス
科目名	ホテル英会話I			
担当講師(フルネーム)	青木岳・佐藤美恵子・松本範子・中牟田登喜枝			
到達目標	□ 検定あり ① ホテルで使う英語の基本的な表現を身に着ける ② 状況に応じて英語で対応できるようになる			
使用テキスト	ホテル英会話I 基礎編			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	授業の進め方とホテルの英会話について	授業内容、評価方法、期末テストについて 自己紹介を英語でする ホテル英会話の特徴を知る		
2回	Lesson 1 Greetings	お客様がホテルにご到着された時のご挨拶を学ぶ お客様がホテル滞在中に使う挨拶を学ぶ お客様がご出発されるときに使う挨拶を学ぶ		
3回	Lesson 1 Greetings	テキストに従ってロールプレイをして表現を身に着ける 言い換え練習をする		
4回	Lesson 2 Polite Expressions	レッスン1復習テスト 丁寧な英語で注文取の練習		
5回	Lesson 2 Polite Expressions	丁寧な英語を使って質問に答えたり、お願いをしてみよう		
6回	Lesson 2 Polite Expressions	お客様の言われていることがわからなかった時の対処法		
7回	Lesson 3 Expressing Thanks and apology	レッスン2復習テスト 感謝・謝罪の表現を学ぶ		
8回	Lesson 3 Expressing Thanks and apology	テキストに従ってロールプレイをして表現を身に着ける 言い換え練習をする		
9回	Lesson 4 Expressing Numbers	レッスン3復習テスト 時間の言い方、営業時間の言い方を学ぶ		
10回	Lesson 4 Expressing Numbers	階数の表現を学ぶ お部屋番号の言い方を学ぶ		
11回	Lesson 4 Expressing Numbers	電話番号が言えるようになる。 金額の表現ができるようになる		
12回	Lesson 5 Doorman	レッスン4復習テスト ゲストの送迎の表現ができるようになる		
13回	Lesson 5 Doorman	館内とホテル近くの案内表現を学ぶ		
14回	Lesson 5 Doorman	市内案内を学ぶ		
15回	前期まとめ	レッスン5復習テスト まとめ		

対象学年	1・2年共通	対象クラス	トラベル・エアライン・フライタル・ホテル・エアポート 鉄道科	EINW KOP クラス
科目名	韓国語			
担当講師(フルネーム)	権京愛・李へ玉			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ハングルの仕組みと正しい発音を学び、読む、書く練習を重ね、ハングルが読める、書けるようになる。 文法や文型を学び、短いフレーズを覚える。 また、授業関連の文化、歌などを取り入れ楽しみながら、将来職場で活用できるように韓国語の基礎を自然に身に付けることを目標とする。			
使用テキスト	ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名:鶴見ユミ 出版社:Jリサーチ出版			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 定期試験と平常点を総合的に評価する。			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ORIENTATION・基本母音	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう！ 基本母音を学び、書く練習をしながら覚える。 歌で韓国の挨拶を習う。		
2回	基本子音と基本母音	基本子音を学んで、既存の基本母音と組み合わせ、正しく発音ができるように練習を重ねる。 子音+母音、関連単語の発音と書く練習をする。 簡単な挨拶表現、教室用語を覚え、授業中に使えるように練習する。		
3回	合成母音と練習問題	合成母音を学んで子音と組み合わせ、発音の練習と書く練習を重ねる。 子音+合成母音、関連単語の練習をし、覚える。 韓国童謡を習い、単語を覚える。		
4回	激音、濃音の練習	激音、濃音の発音を学び、書く練習をする。 母音と組み合わせで発音ができるように練習をする。 関連単語を覚え、正確に発音ができるようになる。		
5回	パッチムの発音	代表的なパッチムの音の表記と関連単語を書く練習をしながら覚える。 二重パッチムの発音の仕方と関連単語を学び、しっかり発音できるように練習を重ねる。 自分の名前をハングルで書いてみよう！		
6回	自己紹介	ハングルで自分の名前を書く練習をする。 韓国語で簡単な自己紹介のフレーズを覚え、となりの人と韓国語で自己紹介をする。 ハングルで書いた自分の名前をとなりの人と交換する。		
7回	存在	存在の表現「あります」、「います」を学び、テキストの文章を声を出して読む練習をする。 関連単語を覚え、会話の練習をする。 短文を作って発音の練習をする。		
8回	存在の否定	存在の否定の表現「ありません」、「いません」を学び、テキストの文章を声を出して読む練習をする。 買い物表現を学び、会話の練習をする。 否定の短文を作って会話練習をする。		
9回	肯定・疑問と否定	肯定・疑問「～です、～ですか」と否定「～ではありません」の表現を学び、覚えるまで繰り返し練習をする。 韓国語で自己紹介したり、物を尋ねたりしながら会話の練習をする。 パッチムなど発音に気を付け、正しい発音で言えるようにする。		
10回	疑問の尊敬と要求	疑問の尊敬「～でいらっしゃいますか？」と要求「～ください」に当たる表現を学び、言えるまで練習を重ねる。 将来、職場で自然に尊敬語が使えるように身に付ける。 お客さんに使えるようなフレーズを覚える。		
11回	値段を尋ねる、漢数字	値段を尋ねる表現「いくらですか」と漢数字を学んで買い物ができるようになる。 漢数字を使った価格の表現の仕方を学び、会話の練習をする。 韓国の数字の歌を習って楽しく数字を覚える。		
12回	固有数詞と助数詞	固有数詞と助数詞を学び、正しい発音で言えるようになります！ 例)「何人ですか？」「何個ですか？」「何時ですか？」など置き換え練習をする。 韓国商品のチラシを見て商品の値段が正しい発音で言えるようになる。		
13回	文字・文型の復習	既習のハンガルの母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度しっかり復習し、正しく読み書きできるようにする。 漢数字も復習し、値段を尋ねる会話の練習をする。 普段よく使われる韓国語の縮約形の言葉について学ぶ。		
14回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう！ 映画を通して日本と韓国の文化の違いを探し、皆で話し合おう！		
15回	まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。 文法、文型、発音などをお復習し、期末テストに備える。 既習の韓国語で一言ずつ発表する。(好きな事や嫌いな事、夢などについて)		

対象学年	1・2年共通	対象クラス	ホテル・フライダル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート科	KOP・EINWクラス
科目名	中国語			
担当講師(フルネーム)	青山祐子			
到達目標	〇 検定あり 中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高める。			
使用テキスト	はじめまして！中国語(白水社)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業への取り組み姿勢(40%)＋期末テスト(60%)			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	中国一般事情	中国および中国語についての理解 教室の指示言葉 知って便利な呼称 ・ 知って便利な挨拶		
2回	中国のについての理解	DVDを鑑賞し、中国への理解に関する感想文を書く		
3回	中国語の発音"声調" "母音""子音"	発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)		
4回	中国語の発音"母音" 声調の変化	発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声＋第3声→第2声＋第3声などの練習		
5回	第1課校門で	1. 人称代名詞 2. 動詞"是"を使った文 3. "吗"を使った疑問文		
6回	トレーニング1 第2課廊下で	4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文("什么"・"谁")		
7回	トレーニング2 第3課キャンパスで	6. 省略疑問文 ◇人の呼び方 7. 指示代名詞		
8回	トレーニング3 第4課携帯を見ながら	8. 形容詞述語文 9. "…的"		
9回	トレーニング4	10. 語気助詞"吧" 11. 所有を表わす"有"		
10回	復習1 自己紹介	12. 反復疑問文 13. 数 詞		
11回	第5課学生食堂で	14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす"有"		
12回	トレーニング5	16. 副詞"也"と"都" 17. 二重目的語文 ◇方位詞		
13回	第6課王先生の研究室で	18. 動詞"在" 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置 ◇時を表わす語(1)		
14回	トレーニング6 第7課コンビニで	21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす"了"		
15回	トレーニング7 中国語の歌を習おう	23. 助動詞"想" ◇"几"と"多少"		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・エアライン科	LR クラス
科目名	韓国語			
担当講師(フルネーム)	権京愛			
到達目標	□ 検定あり ハングルが正確に読み書きできるようにして、文法、文型を学ぶ。 昨年度の引き続き、様々な場面で使える会話を身に付ける。 韓国の歌、映画のストーリーにふれながら、自然に韓国語が身に付けることと将来職場で活用できることを目標とする。			
使用テキスト	ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名:鶴見ユミ 出版社:Jリサーチ出版			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 定期試験と平常点を総合的に評価する。			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	自己紹介とお祝い	韓国語で自己紹介をする。 既習の学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特に忘れてしまったハングル文字があれば、復習して読める、書けるようにする。		
2回	人を尋ねる表現	「だれに会いますか?」「あの方はだれですか?」「だれと〜」「だれが〜」に当たる表現を学ぶ。 覚えるまで繰り返し、会話の練習をする。 韓国歌の歌詞を覚えよう!		
3回	理由を尋ねる表現	「どうして」に当たる疑問詞を使った表現を覚え、会話練習をする。 「どうして遅れましたか?」「どうして韓国語を勉強していますか?」など、繰り返し会話の練習をする。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。		
4回	状態を尋ねる表現	「気分はどうですか?」「明日の天気はどうですか?」などの表現を学ぶ。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら会話練習をする。		
5回	手段・方法を表す表現	「どうやって」「どのように」になど、方法を尋ねる時に用いる表現を身に付ける。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら覚える		
6回	良好を表す表現	「〜がいいです」「〜がいいですか?」 「〜はよくないです」に当たる表現を覚え、韓国旅行で買い物ができるようにしっかり身に付ける。 韓国商品のチラシを見ながら、商品の名前、値段が言えるように練習する。		
7回	好みを表す表現	「〜が好きです」「〜が嫌いです」に当たる表現を学ぶ。 特に日本語の助詞と違う韓国語の助詞に気を付けながら覚える。 クラスメートと会話練習をする。		
8回	練習問題	テキストの練習問題を解きながら、まだ分からない文法・表現などを復習する。 問題に書いてある文章で会話練習をする。 韓国歌の歌詞を覚える。		
9回	韓国旅行に役立つ表現	韓国料理のメニューを覚え、レストランで注文したり料金を支払ったりする会話練習をする。 道を尋ねたり切符を買ったりする表現を覚え、韓国旅行に役立つようしっかり身に付ける。 得意な料理レシピを韓国語で書いてみよう!		
10回	합니다体と 해요体	합니다体と 해요体の言いまわしの練習をする。 動詞の原形を覚え、丁寧語の합니다.해요に直して言えるように練習をする。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら覚える。		
11回	位置名詞	位置名詞を覚え、言えるようにする。 絵や地図を見ながら建物の場所を教えたり、聞いたりする。 韓国の歌で楽しく位置名詞を覚える。		
12回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう! 映画を通して日本と韓国の文化の違いを探し、皆で話し合おう!		
13回	現在形と過去形	現在形と過去形を覚える。 丁寧語の現在形と過去形の例文を作る練習をする。 友達に使うため口や目上の人に使う尊敬語の言い方を練習する。		
14回	意志・推量・〜したい	意志の表現を覚え、これから自分がどうしたいのかを述べる練習をする。 または、相手がどうしたいかを聞いたりする。 「〜に行きたい」「〜を食べたい」などとクラスメートと会話をする。		
15回	まとめと面接の練習	期末テストに備え、総まとめをする。 面接時に「どうして当社を選んだのか」などを聞かれた時、韓国語で上手に答えられよう面接の練習をする。 韓国語で自分をアピールできるような文章を書き、スピーチの練習をする。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・エアライン科	LRクラス
科目名	中国語			
担当講師(フルネーム)	青山祐子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 習得した中国語の音読、語彙の使い方、文の表現を生かしながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力をさらに高める。			
使用テキスト	中国語1年め(白水社)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業への取り組み姿勢(40%)＋期末テスト(60%)			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	発音の復習	中国語の発音”声調” ”母音””子音”		
2回	第1課 中国人留学生と知り合う	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”の文 3. ”吗”の疑問文 <input type="checkbox"/> 姓名の言い方		
3回	トレーニング1 第2課 携帯の写真を見て	1. 動詞が述語になる文 2. 指示代名詞 3. 疑問詞疑問文 4. ”的”		
4回	トレーニング2 第3課 いっしょに勉強しよう!	1. 形容詞が述語になる文 2. 副詞”也”と”都” 3. 所有を表わす”有” 4. 時を表わす語の位置		
5回	トレーニング3 第4課 ファストフード店で	1. 場所を表わす代名詞 2. 存在を表わす”有” 3. 省略疑問文”呢” 4. 反復疑問文		
6回	トレーニング4 第5課 Tシャツを買う	1. 数詞 2. 量詞 3. ”几”と”多少” 4. 所在を表わす動詞”在”		
7回	トレーニング5 第6課 いっしょに遊びに出かける	1. 日付・曜日の言い方 2. 時刻の言い方 3. 助動詞(1)”想””要” 4. 語気助詞の”吧”		
8回	トレーニング6 第7課 花火は何時から?	1. 前置詞(1)”在””从””离” 2. 動作の完了を表わす”了” 3. 動詞の重ね型		
9回	トレーニング7 第8課 学園祭	1. 助動詞(2)”会””能””可以” 2. 経験を表わす”过” 3. 動作の回数・時間の長さの表わし方 <input type="checkbox"/> 時間の長さの言い方		
10回	トレーニング8 第9課 カラオケに行く	1. 様態補語 2. 前置詞(2)”给””跟” 3. 連動文		
11回	トレーニング9 第10課 中国の映画を見る	1. 結果補語 2. 動作の進行を表わす”在” 3. 主述述語文		
12回	トレーニング10 第11課 帰国を前にして	1. 方向補語 2. 比較の言い方 3. 選択疑問文の”还是”		
13回	トレーニング11 第12課 空港で	1. 可能補語 2. ”是～的”の文 3. 2つの目的語をとる動詞		
14回	トレーニング12 よく使われるその他の語	<input type="checkbox"/> 時を表わす語 <input type="checkbox"/> 時間の長さの尋ね方 <input type="checkbox"/> 方向を表わす語 <input type="checkbox"/> お金の数え方 <input type="checkbox"/> 注意する100以上の数の数え方		
15回	中国語の映画鑑賞	今まで習得した単語と会話の再確認		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル プライダル科	E1クラス
科目名	フランス語			
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス Nicolas de Menis			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり フランス語での挨拶から、簡単な自己紹介・フランス語での旅行のために、「何・どこ・いつ」などの質問と答え方まで。 主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。			
使用テキスト	Pascal au Japon / Spirale			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	復習	1-16回の復習 フランスの文化を話す/フランスについてQ&A Etre動詞・ER動詞/Pascal 1		
2回	自己紹介	自己紹介 Je m'appelle Nicolas. Je suis Francais. Je suis professeur Pascal 2 / 動詞のミニテスト		
3回	持っているもの	私は何々を持ちます。私はお腹空いた。J'ai une voiture. J'ai faim Avoir動詞 / Pascal 3 自己紹介のミニテスト		
4回	趣味	～が好き。～好きですか？J'aime la musique. Tu aimes la musique? Aimer動詞 Pascal 4 / ミニテスト		
5回	パリ、フランスへ	パリに行きたいです。～見に行きたいです。/ Vouloir動詞 パリ・フランスについて何を興味あるかを話す。 テスト1回～4回		
6回	人の話	彼・彼女はだれですか？ / Qui c'est? 仕事を覚えるためロールプレイ Pascal 5		
7回	誘う	～しませんか？ Tu ne veux pas ...? ～出来ますか？ Tu peux ...? Pouvoir動詞 / Pascal 6 / ミニテスト		
8回	気持ち	お元気ですか？ Je vais bien. J'ai faim. J'ai soif Aller 動詞 (Avoir・Etre動詞の復習) Pascal 7 / ミニテスト		
9回	場所・どこ	～はどこですか？ 前・後ろ・隣など。Ou est ~? C'est devant, derriere, a cote... Faire 動詞 Pascal 8 + ミニテスト		
10回	家族・形容詞	6回～9回 テスト 大城・小さい・男性名詞・女性名詞 Pascal 9		
11回	数字・歳	何歳ですか？いくらですか？ Tu as quel age? C'est combien? 質問の作り方 Pascal 10 + ミニテスト		
12回	質問	どこ・いくらかの復習・いつ・どうやって・なぜ・何時 IR動詞 (Finir, Partir. . . ) Pascal 11 + ミニテスト		
13回	質問ロールプレイ	皆でロールプレイ Pascal 12		
14回	移動	行く。来る・ Aller / Venir テスト + 試験の練習 Pascal 13		
15回	パリを感じる	映画で勉強する: Amelie 試験の確認		



対象学年	2年	対象クラス	ホテル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート科	E・L・R・W クラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子、羽矢茂、榎本美和子、秋満陽子、鈴木茉衣			
到達目標	□ 検定あり 日常生活で使う語彙や定番の表現を学び、使えるようにする。 日常的な会話表現に慣れ、英語でコミュニケーションを取れるようになる。 学んだ表現を使うことで自信をつけ、英語を使うことへの抵抗感を払拭する。			
使用テキスト	英会話1000本ノック			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 口述テスト70%、平常点(授業参加、小テストなど) * 平常点の基準は担当講師により異なります。 * シラバスの内容はクラスの進度により異なることがあります。			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業説明 授業内容、成績評価方法についての説明		
2回	出合いの場面	初対面のあいさつ・受け答え 出合いの場面での定番表現		
3回	日常生活	別れ際のあいさつ 依頼の表現 道案内		
4回	日常生活	定番の質問への受け答え 旅行で使える表現		
5回	日常生活	あいづち表現		
6回	進度調整	学習した表現を使ってみましょう!		
7回	質問してみよう	Yes/Noでの答えを求める質問①		
8回	質問してみよう	Yes/Noでの答えを求める質問②		
9回	質問してみよう	「何・・・」「どのように・・・」「いつ・・・」「どこ・・・」「どうして・・・」①		
10回	Chapter 2	「何・・・」「どのように・・・」「いつ・・・」「どこ・・・」「どうして・・・」②		
11回	Chapter 2	「何・・・」「どのように・・・」「いつ・・・」「どこ・・・」「どうして・・・」③		
12回	進度調整	学習した表現を使ってみましょう! 口述テストの練習		
13回	テスト	口述テスト		
14回	テスト	口述テスト		
15回	テスト	口述テスト		

対象学年	2年	対象クラス	アライン・エアポート・トラベル・鉄道・夜間総合観光 科	R W L N Y	クラス
科目名	コンピュータ				
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美				
到達目標	検定あり ICT表計算技能標準試験(3級・2級・1級) Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要な文書作成スキルを身につける Microsoft Excelの基礎知識を学び、ICT表計算技能標準試験2級レベルのスキルを習得する Microsoft PowerPointおよびプレゼンテーションの基礎知識を学び、説得力のあるプレゼンスキルを身につける				
使用テキスト	ICT表計算技能標準試験過去問題集 タイピング問題・Word・Excel基礎問題プリント配布				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・小テスト 期末試験 80%				
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択			
	テーマ	授業内容			
1回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※送付状・お礼状の作成			
2回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※ビジネスメール			
3回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※報告書などの作成とメール添付			
4回	Word基礎・応用	タイピング練習 画像などを含む文書作成 ※クリップアート、ワードアート、ページ罫線など			
5回	Word基礎・応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) チラシ・パンフレット作成 ※インターネット活用して図や画像の挿入と編集			
6回	Word基礎・応用	タイピング練習 チラシ・パンフレット作成 ※インターネット活用して図や画像の挿入と編集			
7回	Word・Excel活用	Excelシートでタイピング練習 Excelで基本的な表やグラフ作成 Word文書内にExcelの表やグラフを張り付け			
8回	Word・Excel活用	Excelシートでタイピング練習 Excelで基本的な表やグラフ作成 Word文書内にExcelの表やグラフを張り付け			
9回	Word・Excel活用	Excelシートでタイピング練習 Excelで基本的な表やグラフ作成 Word文書内にExcelの表やグラフを張り付け			
10回	PowerPoint	PowerPointの基本操作 サンプルスライドの作成 ※スライドのレイアウト、画面切替効果、サウンド、アニメーション効果など			
11回	PowerPoint	課題となるテーマとストーリーを考える(14、15回に発表) スライドの作成			
12回	PowerPoint	スライドの作成と編集 配色、スライドデザイン、文字・段落の書式設定 図形・グラフ・画像などの挿入、様々な効果を付ける			
13回	PowerPoint	スライドの作成と編集 リハーサル 発表のための準備や発表時の注意点など			
14回	プレゼンテーション発表 (試験)	OALームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること			
15回	プレゼンテーション発表 (試験)	OALームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること			

対象学年	2年	対象クラス	鉄道・トラベルを除く全科	EIRWYクラス
科目名	SPI非言語対策			
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫・北村正雄			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 航空系、旅行系、ホテル系などの企業の能力適性検査試験(就職試験)に合格するのに必要な非言語分野の能力・学力を修得することが出来ます。これらの企業・会社で採用されているのは、主に(株)リクルートキャリア社のSPI(テストセンター WEBテスト ペーパー)の3種類です。最近ではSPIのテストセンターかWEBテストのどちらかです。WEBテストとはセンター試験の会場・学校・自宅などPC環境の設備のある場所で自分の都合の良い時間と曜日に自分一人で受験(能力適性検査試験を受けるので受験)するタイプです。受験希望者が多い企業ではまず採用されていくように思います。また企業によっては、一般常識というペーパー形式の試験があります。その場合数学・算数分野の中で、食塩水の濃度・年齢算などの文章題と計算問題が出題されます。SPI・3の分野では、推論分野からの出題が非常に増えています。能力適性検査試験に合格しなければ、面接試験という土俵が上がって、航空・旅行・ホテル・ブライダル業界に対する、あなたの誰よりも業界に対する熱い思いと、今まで誰よりも頑張ってきた、あなたの面接の努力のあかしを面接官にぶつけることはできません。一次の能力適性検査試験に合格して、二次の面接試験の土俵に進み、そして最終合格!あなたの夢の実現のため全力でサポートします。			
使用テキスト	1年次のテキスト使用			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末点 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	表の読み取り	統計資料 (日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)		
2回	表の読み取り	統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味 少なくともの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)		
3回	推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) √計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 √と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)		
4回	推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用(西鉄JRIには最重要問題)速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。追いかけるの公式など 表を短時間に読み取ることがポイント		
5回	推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) √計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 √と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)		
6回	構造的把握力検査	最新SPIテストセンターの傾向 構造的把握力検査 この問題はテストセンターのみの出題分野 受験生の感想として問題自体の意味が理解できず、難しい。問題を解く考え方が似ているもの アイウエオの中から一組を選択する。 SPI全体の問題を理解しているかを問う問題 順列組合せ 損益算 推論 確率ほか *小テスト実施		
7回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用(西鉄JRIには最重要問題)速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。追いかけるの公式など 表を短時間に読み取ることがポイント		
8回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 確率(確率の意味と公式 確率は最少は0と同じか、0より大きい。最大は1と同じか1より小さい 確率P=求める場合の数÷全体の場合の数 合成確率 少なくとも=余事象の問題がポイント) 順列と組合せ		
9回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	この問題はペーパーとテストセンター双方の頻出問題 推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメが一番安い?カモメは何番目に高い)		
10回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論(発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰?A(Bの発言は本当?)B(Cの発言は嘘?)C(Dの発言は嘘?)D(Eの発言は本当?)E(Aの発言は嘘ではない?)		
11回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 速度算 QRSTU各駅間の到着時刻と出発時刻を表から読み取り各駅間の平均時速を計算する。この問題は非常に有名な問題で、航空会社旅行会社やホテルにも出題可能性が高い。LMNOPQの6人の到着の前後遅刻者の数を推論する問題 STU3人のじゃんけんの拳の種類と勝敗を推論する問題 ものすごく時間がかかる。割り切って選択肢からしぼりこむしかない。		
12回	推論 WEBテスト	WEBテストはPC環境さえあれば、学校でも、自宅でもいつでも受験(能力検査試験なので受験ではなく、受験の字になります。)できます。計算機の使用が可能。とにかく短時間で多くの問題を解いていくので、電卓に慣れていなければ、問題をこなせない。問題によっては、暗算のほうが早い。方程式 推論 組み合わせなど 時間は非言語20分 言語12分 性格検査23分		
13回	推論 Web玉手箱 命題 平均算	論理命題 チューリップ パラ 7階建ての建物の位置関係(休憩所 奇数階と偶数階) VWXYZ5チームのレースの結果 PQRSの4つ支社の在庫量 KLMNの4人が100点満点の国語と算数の試験を受けた結果、平均算からの各自の得点を推理		
14回	推論 WEB 玉手箱 Aが正しければ、BまたはCも必ず正しい	赤いカード3枚青いカード4枚 緑のカード4枚 カードは少なくとも9枚 赤 青 緑のカードが少なくとも3枚ずつはいつているとき、以下の条件の下での推論 サイコロを3回ふった時の出た目の条件 Kから50		
15回	推論 最も少ない情報で正解にたどり着くには?	XYZの三つの容器に入れた食塩水の濃度の問題 P県内の10店舗のカレーショップの売り上げ?BPQRの4チームのトーナメント方式の試合結果 PQRSTUの6人の住んでいるアパートの号数の確定 8両編成の貸し切り列車にPQRST5組の団体が乗車している場合各団体の使用列車は? 12345の5枚のカードを使って二桁の整数を作る問題		

対象学年	2年	対象クラス	全科	全クラス
科目名	SPI言語対策			
担当講師(フルネーム)	前田恭子・山本真美			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 就職試験に合格できるように苦手分野を克服し得意分野を伸ばす Webテスト、適性検査、自問問題にも対応できるように実力を養成する。			
使用テキスト	・朝日キーワード就職2018最新時事問題&一般常識			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験80%、平常点(授業態度・提出物)20%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します。 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます。		
2回	漢検二級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう。 今年の漢検校内模試は6/15です。		
3回	新聞を読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に新聞のチェックは忘れずに。 普段から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。インターネットの各新聞社サイトも活用しましょう。		
4回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります。		
5回	はじめてにあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出る場合があります。例題を見て冷静に対応しましょう。		
6回	今日は中間テスト	・中間テスト(解答と解説)、時事問題用語解説		
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験時間は足りていますか？試験の問題量のチェックも忘れずに。		
8回	今日から始める	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定はスタート！です。『知ること』を常に心がけましょう。		
9回	みんながデキル問題	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率が高い問題は受験者のほとんどができている証拠。みんながデキル問題は間違えないように。		
10回	過去を振り返る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 自分がやってきたことは正しかったのか？振り返る作業も大事です。		
11回	ニュースを気にする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 自分の希望する業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく		
12回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 この世界はニュースであふれています。LINEニュースから一歩踏み込んでじっくり読んでみませんか。		
13回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースをじっくり読んだら自分の意見を考えてみましょう。		
14回	目標を持つ	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標は何ですか？目標達成に向けて頑張りましょう。		
15回	ゴールはスタート	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって、時代の流れを見ていきましょう。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・鉄道科	LNクラス
科目名	サービス接客検定対策			
担当講師(フルネーム)	榎本美和子・池田香織			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり サービス接客検定2級に合格する 社会人としての心構えを身につける			
使用テキスト	サービス接客検定実問題集			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 40% ・期末試験 60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	イントロダクション	サービス接客検定について、評価方法、授業の進め方を理解する		
2回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
3回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
4回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(揭示問題)		
5回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(揭示問題)		
6回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(敬語問題)		
7回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(敬語問題)		
8回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
9回	検定の答え合わせ	解答速報で自己採点をする		
10回	社会人としての心構え	ケース問題を使って行う		
11回	社会人としての心構え	ケース問題を使って行う		
12回	社会人としての心構え	マナー講座		
13回	社会人としての心構え	マナー講座		
14回	社会人としての心構え	マナー講座		
15回	期末試験対策	期末試験に向けての復習をする		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道・エアライン・エアポート科	N・R・Wクラス
科目名	手話			
担当講師(フルネーム)	鶴田由香			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり (希望者受験) 聴覚障害者に対する理解を深めながら、手話を使って日常会話ができる。 聴覚障害者のお客様への配慮とサービスを理解する			
使用テキスト	手話を学ぼう 手話で話そう			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・手話で話す			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	手話って何？ 伝え合ってみましょう	・聴覚障害者に対する理解を深め、手話の必要性を学ぶ ・身振り手振りで手話に慣れる		
2回	第1・2講座 伝え合ってみましょう	・コミュニケーションを豊かに ・物の形、特徴をとらえて表す		
3回	第3講座 自己紹介をしましょう	・手話で自己紹介 ・挨拶してみましょう		
4回	第4講座 家族を紹介しましょう	・人物の基礎となる表現		
5回	第5講座 数を使って話しましょう	・数字の表し方 ・接客手話で使う数字		
6回	第6講座 趣味について話しましょう	・趣味についての表現 ・ジェスチャーを含めた手話		
7回	第7講座 仕事について話しましょう	・仕事の表現 ・ろうあ者の仕事について		
8回	第8講座 住所を表しましょう	・地名の手話 ・道案内の仕方		
9回	第9講座 自己紹介のまとめ	・自己紹介ができる ・手話の読み取り		
10回	第10講座 一日のことを話しましょう	・時の表し方1 ・過去、未来、現在		
11回	第11講座 1ヶ月のことを話しましょう	・時の表し方2		
12回	第12講座 一年のことを話しましょう	・時の表し方3		
13回	第13講座 話してみましょう	・日常生活の中の会話		
14回	第14講座 話してみましょう	・旅行をテーマに話す		
15回	まとめ	前期の復習と補足		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	E.I クラス
科目名	ホテル英会話II			
担当講師(フルネーム)	青木岳・佐藤恵美子・中牟田登喜枝			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ① 1年時に学んだホテルで使う英語の基本的な表現を復習しながら応用表現を身に学ぶ ② 状況に応じて英語で対応できるようになる			
使用テキスト	ホテル英会話II 応用編			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	授業の進め方とホテルの英会話について	授業内容、評価方法、期末テストについて 自己紹介とホテル実習感想を英語でする 1年の復習		
2回	Lesson 1 Room reservation	D1 宿泊予約の手順と英語表現 ロールプレイで実際にやってみよう		
3回	Lesson 1 Room reservation	D2 予約の変更、取り消し D3 満室時の対応 言い換え練習をする		
4回	Lesson 2 Check In	レッスン1復習テスト D1チェックイン時の変更表現 ロールプレイで実際にやってみよう		
5回	Lesson 2 Check In	D2 ウォークイン D3 ルームチェンジ		
6回	Lesson 2 Check In	D4 カードキーの説明 D5 障がいをお持ちの方のチェックイン		
7回	Lesson 3 Hotel Service	レッスン2復習テスト D3&D4 メッセージ		
8回	Lesson 3 Hotel Service	D5&D6セーフティデポジットボックスの受け渡し		
9回	Lesson 3 Hotel Service	D 7, 8, &9 外貨両替		
10回	Lesson 3 Hotel Service	D10 & D11 遺失物の取り扱い D12 日本のみあげ		
11回	Lesson 4 Tour Information	レッスン3復習テスト D1 & D 2 市内ツアー 福岡の観光地案内		
12回	Lesson 5 Check out	レッスン4復習テスト 1年時の現金支払い復習 D1 クレジットカードでの支払い、ロールプレイで実際にやってみよう		
13回	Lesson 5 Check out	D2 & D3 クーポン、会社払い ロールプレイで実際にやってみよう		
14回	Lesson 5 Check out	D4請求間違いの対処方法		
15回	前期まとめ	レッスン5復習テスト まとめ		





# ホテル・ブライダル ホテル/ブライダル

\* 共通する科目は、ホテルにあります。

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル 科	AB クラス
科目名	レストラン&バンケットサービス			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・料飲サービスにおける基本動作を身に付ける ・レストランサービスの基礎知識を習得する ・企業実習にむけて準備を行う			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的と進め方、評価方法についての説明 ・身だしなみ、歩き方チェック、姿勢改善トレーニング		
2回	料飲部門の概要	・レストランの種類 ・FBについて ・テーブルクロスの扱い方(1)		
3回	フランス料理	・シルバーウェア基礎知識と取り扱い方 ・テーブルクロスの扱い方(2)		
4回	フランス料理	・グラスウェアの基礎知識と取り扱い方 ・トーション ・ウォーターピッチャーのサービス&グラスの拭き方		
5回	フランス料理	・フランス料理の歴史 ・フルコースの流れ(1) ・フルコースのテーブルセッティング		
6回	フランス料理	・フルコースの流れ(2) ・テーブルセッティング復習		
7回	その他西洋料理	・イタリア料理の話 ・トレーサービス		
8回	ドリンク	・コーヒー&紅茶&アンフュージョン ・トレーサービス		
9回	日本料理	・日本料理の種類 ・会席料理の流れ(1) ・和室の立居振る舞い		
10回	日本料理	・会席料理の流れ(2) ・セッティングと箸づかい		
11回	アルコールのサービス	・ビール、日本酒、焼酎のサービス ・サーバーサービス(1)		
12回	朝食サービス	・ABFとCBF ・朝食ならではの注意点 ・サーバーサービス(2)		
13回	実技練習	・期末試験に向けてトレーニング		
14回	期末試験	・実技試験(受験者はスーツ着用) ・制限時間内に課題ロールプレイングを行う		
15回	期末試験	・実技試験(受験者はスーツ着用) ・制限時間内に課題ロールプレイングを行う		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	Eクラス
科目名	ソムリエ&パーテンダー			
担当講師(フルネーム)	松尾 禎一郎			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 ・お酒類に興味を持ってもらい、FBの面白さを合わせて知ってもらうことで、レストラン・バー業務に活かせるようにする			
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ パーラウンジ編			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験と授業態度…… 試験 80% + 平常点 20%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	シラバスの説明 パーラウンジの概要	・自己紹介 ・授業内容の説明 ・成績評価説明と授業を行う上での注意点 ・ホテル内での料飲提供場所と役割(体験談含む)		
2回	種類の定義と分類	・お酒の種類 ・ワインはどのようなお酒か？ ・醸造酒とは？ ・日本におけるワイン消費の現状について		
3回	ワインの基礎知識	・ワインの歴史(いつ頃から飲まれたのか) ・ワインの種類(いろいろなタイプのワイン・どうして違いが生まれるのか)		
4回	ブドウの栽培	・ブドウが好む土地～栽培されている国について ・1年のサイクル又、栽培方法		
5回	スティルワインについて	・醸造工程 ・醸造法によるワインの分類		
6回	ワイン用ブドウ品種	・ワインに使用されるブドウの種類と特徴 ・ワインに使用されるブドウの先祖 ・ヴィンテージチャートについて		
7回	フランスワインについて	・フランスにおけるワインの特徴 (国、地域性など)		
8回	イタリアワインについて	・イタリアにおけるワインの特徴 (国、地域性など)		
9回	ドイツワインについて その他の国のワイン	・ドイツにおけるワインの特徴 (国、地域性など) ・その他の国についてのワインは？		
10回	ワインと料理の相性	・料理とのマリアージュ ・調和する組み合わせ～反発する組み合わせ		
11回	ソムリエの役割	・ソムリエとしての仕事…仕込みからお見送りまで、1日の流れを確認 ・ソムリエの仕事を模擬的に体験…ソムリエの楽しさ、厳しさの体感		
12回	ワイン抜栓練習(実技)	・抜栓するための道具 ・各テーブルにて抜栓練習		
13回	ワイン種類別サービス (実技)	・シャンパン、白ワイン、赤ワイン、それぞれのサービス方法 ・デカンタージュ(アエレーション)の方法と意味		
14回	前期のまとめ イン編	(ワ)	・11回までの内容の確認 ・第1章パーラウンジの概要・第4章ワインの基礎知識・第5章ソムリエ	
15回	前期のまとめ イン編	(ワ)	・期末試験のフォローアップ	

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	A・Bクラス
科目名	フロントサービス			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			
到達目標	□ 検定あり ホテル日常業務の基本的な知識を理解し、技術として習得する 他部門との連帯作業を学ぶ 企業実習に向けて演習に取り組む			
使用テキスト	「宿泊業務の基礎」日本ホテル教育センター発行			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点・演習 50% ・学期末試験 50%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション ホテルとは	授業スケジュール説明 成績評価説明 世界のトップ20ホテル		
2回	第2章宿泊部門 1. 宿泊部門の使命と役割	宿泊部門の3機能 商品特性、業務特性		
3回	2. 宿泊部門の業務の流れ	宿泊部門スタッフの心得 宿泊業務のオペレーションサイクルを理解する		
4回	3. 宿泊部門の組織体系と特徴	外資、一般都市型、宿泊特化型、リゾートホテルの組織図 今後求められるスタッフの能力と資質についての意見交換		
5回	第3章フロントサービス フロントサービスとは ドアマンの業務	フロントサービス業務全体概要と特徴の理解 ドアマンの基本業務内容を理解する		
6回	ドアマンの業務	ドアマン演習		
7回	ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容		
8回	ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容		
9回	ベルマンの業務	ベルマン演習～挨拶から客室までの案内		
10回	ベルマンの業務	ベルマン演習～挨拶から客室までの案内		
11回	ベルマンの業務	ベルマン演習～バゲッジダウンとお見送り ベルマンへの苦情と処理		
12回	クローク業務	荷物の預かりと引き渡し クロークへの苦情と処理		
13回	客室のタイプとレイアウト 客室設備と備品	基本の客室タイプと客室設備や備品名の理解		
14回	ゲストインフォメーション	対応の基準 プライバシー保護法に基づく情報規制		
15回	前期まとめと期末試験対策	まとめ 関連用語の復習		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	A・Bクラス
科目名	ホテル学入門			
担当講師(フルネーム)	生田光美			
到達目標	「 世界各地のホテルの特徴を掴み、日本のホテルと比較して長所と欠点を理解できるようになる。 海外で実施しているサービス等を参考に、今後のホテル業界に必要なホスピタリティ、自分にできることを検証する			
使用テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30% ik			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	講師自己紹介、生徒自己紹介(ホテルに対する興味、思いなどを一言ずつ発表) 前期の学習内容について説明 評価方法について説明		
2回	現代社会とホテル産業	現代の社会におけるホテル産業の役割、必要とされることを学ぶ 今後ホテル業界で自分が働くことの意義を認識する		
3回	世界におけるホテルの歴史と発展	世界の歴史の中で、いつホテルは生まれ、近代化への歩みに沿ってどう発展してきたかを学ぶ		
4回	日本のホテル産業の発展の歴史	日本のホテル産業の誕生、どう発展してきたかを学び、世界のホテル産業の歩みを比較検証する		
5回	ホテル基礎知識	現代のホテルに関する基礎知識を学ぶ 宿泊施設の種類、名称の違いや、宿泊部屋の種類名称の違いなど		
6回	世界のホテル文化比較	日本人と外国人のホテルに対する考え方や文化の比較 世界の休暇取得状況の違いから、文化の違いを検証		
7回	国内外の代表的なホテル	ホテルマンとしての一般常識として、国内外の代表的なホテルの名称、取り組み、どのようにしてトップホテルになったのかを学ぶ		
8回	五大陸のホテル①	ヨーロッパ大陸のホテル イギリスのホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する イギリスホテル界発展の歴史を学ぶ		
9回	五大陸のホテル②	北アメリカ大陸のホテル 代表的なアメリカの観光地のホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する カジノという娯楽文化を共通点に、ラスベガスのホテルとマカオのホテルとの比較、違いを検証		
10回	五大陸のホテル③	南アメリカ大陸のホテル 代表的な南アメリカの観光地のホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する(カンクンもしくは、マチュピチュ) 自然とホテルとの向き合い方、共存を学ぶ		
11回	五大陸のホテル④	オセアニア大陸のホテル 代表的なオセアニアの観光地のホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する(NZもしくは、オーストラリア) オセアニア観光で人気のキャンプやグランピングについて学ぶ		
12回	五大陸のホテル⑤	アフリカ大陸のホテル 代表的なアフリカの観光地のホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する(エジプト予定) ホテルの安全対策、セキュリティの違いについて学ぶ		
13回	研究発表(準備)	複数グループに分かれて、自分の好きなホテルや憧れのホテルの特色を研究し、クラスで発表を行う 発表準備		
14回	研究発表	複数グループに分かれて、自分の好きなホテルや憧れのホテルの特色を研究し、クラスで発表を行う 発表本番		
15回	前期まとめ	ホテル業界を取り巻く関連業界やホテルの仕事についての基礎知識を身につける 前期の学習内容についてのまとめ、振り返り		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	A・Bクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			
到達目標	〇 検定あり ・就職活動の重要性を認識させると同時に基本的な所作を体得させる。 ・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。			
使用テキスト	・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度…50% ・作成提出物による評価…50%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。		
2回	就職活動の心構えと準備	・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・企業が求める人材とはどのような人かを考えさせる。 ・就職するにあたってのみだしなみの重要性を再確認させる。		
3回	就職活動の流れ	・当学校における就活の一連の流れを説明する。 ・就職室の正しい活用法を教える。 ・就職活動のルールを認知させる。		
4回	履歴書の書き方	・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。		
5回	自分自身を知る	・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。 ・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。		
6回	自己分析	・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。 ・自分自身を棚卸しすることで自分を認知させる。 ・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。		
7回	自己分析	・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。 ・自分の能力や適性を把握させる。 ・具体的な目標設定による意識向上をはかる。		
8回	職業を知る	・業界の過去・現在・未来を知ることによって業界へのアプローチを行う。 ・業界が求める人を知り自分との接点を探す。 ・自分と業界の接点を認識させ、より現実的な就業体制へと近づける。		
9回	自己PRの作り方	・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・企業でどう活かすのかを考え、文章にする。 ・「長所編」を作成		
10回	自己PRの作り方	・様々なバリエーションの自己PRを考え、どのような変化球へも対応できるようにする。		
11回	自己PRの作り方	・面接用と履歴書用に書き分ける。		
12回	志望動機の作り方	・あるホテルをモデルケースとして、パンフレットや資料を駆使して志望動機の作り方を学ぶ。 ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 ・モデルケースの志望動機を作ってみる。		
13回	志望動機の作り方	・前週に引き続き、モデルケースの志望動機を完成させる。 ・個人の進捗状況に応じて履歴書用と面接用との使い分けをした志望動機を作成する。 ・個人別の添削で個人が持つ問題点がわかるようになる。		
14回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。		
15回	完成品のチェック	・前期提出物のチェック		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	A・Bクラス
科目名	ホテル・ブライダル業界研究			
担当講師(フルネーム)	橋口淳二			
到達目標	〇 検定あり ホテルやホスピタリティ産業にて活躍されている方々をお招きし、業種ごとの仕事内容のお話を聞きながら 目指すホテル業界との関連を学び仕事に対する意識を高める授業とする。 * 講話者のスケジュールにより変更になる場合があります *			
使用テキスト	講話者との打合せによるレジュメとレポート用紙を授業開始時に配布する。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・レポート提出 80% ・平常点 20%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	ホスピタリティとは？		
2回	業界で働く意義について	もてなす！ということ		
3回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
4回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
5回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
6回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
7回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
8回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
9回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
10回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
11回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
12回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
13回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
14回	業界で働く意義について	ホテル・ブライダル業界の動向		
15回	業界で働く意義について	前期の振り返りと実習に向けて		


対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	ABクラス
科目名	ブライダル総論			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・ブライダル業界の仕組みや成り立ちを理解する ・挙式、披露宴に必要な手配や役割、業務内容を理解する			
使用テキスト	・プリント適時			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験80% ・平常点20%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・評価方法、授業の進め方説明 ・結婚について考えてみよう		
2回	ブライダル業界とは	・ブライダル業界を構成するもの ・結婚式をどこで挙げる？		
3回	結婚の意味	・結婚式のはじまり ・法律で考える「結婚」		
4回	ブライダル業界で活躍する人々	・ブライダルに関わるスタッフを知る		
5回	プランナーとは？	・プランナーの仕事の概要を知る ・プランニングを体験してみよう		
6回	挙式①	・挙式の種類と流れを理解する ・キリスト教式		
7回	挙式②	・挙式の種類と流れを理解する ・神前式 ・人前式		
8回	披露宴①	・披露宴を構成するもの ・披露宴の流れ		
9回	披露宴②	・様々な演出について理解しよう		
10回	打ち合わせの流れ①	・一般的な打ち合わせ業務の流れを理解する ・必要な手配		
11回	打ち合わせの流れ②	・一般的な打ち合わせ業務の流れを理解する ・必要な手配		
12回	打ち合わせの流れ③	・本場を迎えるまで ・当日業務		
13回	プランニング演習①	・ブライダル業界の今後を考える ・グループワーク		
14回	プランニング演習②	・ブライダル業界の今後を考える ・グループワーク		
15回	まとめ	・グループワーク発表 ・期末試験にむけて		



対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	ホテルマーケティング			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ホテルマーケティングとは何かを理解し、説明できる。 ホスピタリティ産業に関するマーケティング知識を身に付ける。			
使用テキスト	ホテルマーケティング論			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	自己紹介と オリエンテーション	自己紹介(自身を売り込む) 授業の進め方について		
2回	マーケティングとは	マーケティングの歴史について		
3回	市場調査	物を売るための戦略 各企業の戦略を想像する		
4回	市場調査	先週の授業をもとに戦略を考える 各企業の「名刺」に秘められた戦略とは…		
5回	市場調査 マーケティングの基本概念	それぞれの市場調査結果を発表 マーケティングを構成する4つの「P」		
6回	商品開発	売れそうな商品とは 自分がほしい商品とは		
7回	商品開発	商品の価格はどのように決められるのか		
8回	売上を上げるための工夫	売れない物売れる物に変えるには…		
9回	広告	広告の種類・機能について		
10回	マーケティング ブランディング	マーケティング・ブランディング・広告・PR		
11回	商品を売り込む	売り先を区別する ⇒ 区別された売り先に商品を売り込む		
12回	商品を売り込む	ホテルを商品として消費者に売り込むには…		
13回	身近なマーケティング	日常に潜む各企業の戦略「セブンイレブン」の例		
14回	身近なマーケティング	日常に潜む各企業の戦略「きやりーばみゅばみゅ」の例		
15回	前期まとめ	前期授業のまとめと期末試験対策		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	フロントオフィス			
担当講師(フルネーム)	松本範子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する			
使用テキスト	「ホテルテキスト宿泊 1フロントオフィス編」ウイネット発行 配布プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点+実技 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 第1章 フロント・オフィスとは	授業内容、評価方法について フロント・オフィスとは 意義と役割 / 組織を業務		
2回	第2章 客室のタイプと料金	客室タイプ 料金システム		
3回	第3章 リザーベーション業務	予約業務の重要性		
4回	リザーベーション業務	客室予約の種類 宿泊予約システム概要		
5回	リザーベーション業務	予約受付の流れ		
6回	リザーベーション業務	電話予約 予約のキャンセルおよび変更 その他の業務		
7回	リザーベーション業務	予約システムの説明 予約作成		
8回	リザーベーション業務	予約業務のロールプレイ		
9回	第4章 レセプション業務	レセプション・サービス ルーム・アサインメント		
10回	レセプション業務	チェックインの業務 チェックイン前の仕事 チェックインの手順		
11回	レセプション業務	事前予約の無いウオークインのチェックイン 団体客のチェックイン VIPのチェックイン		
12回	レセプション業務	宿泊条件の変更 出立日の変更(アーリー・チェックアウト、滞在の延長) 部屋の変更(お客様都合・ホテル都合)・室料の変更		
13回	レセプション業務	チェックアウト業務 ナイト業務 デイリールーム・レポート		
14回	レセプション業務	ロールプレー:チェックイン業務		
15回	前期まとめ	期末試験について 前期の復習		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル 科	E クラス
科目名	HRS対策(筆記)			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 8月に実施されるレストランサービス技能検定の学科試験合格を目指す 衛生管理やプロトコルを学び、広い視野でサービスを行えるようになる			
使用テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% (2回の小テスト) ・期末テスト 50%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	食品の基礎知識 栄養素を覚える		
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	フルコース復習 オールドワールドからデセールまで		
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食事用具 銀器の名称と取扱い		
4回	第4章 食文化	食文化 プロトコル食卓作法		
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生 食中毒を引き起こす菌の名前		
6回	平成28年度過去問題	過去問を解く&解説		
7回	平成28年度過去問題	過去問を解く&解説		
8回	平成28年度過去問題	過去問を解く&解説		
9回	確認テスト100題①	平成28年度過去問題より	* 期末試験の評価となります	
10回	平成27年度過去問題	過去問を解く&解説		
11回	平成27年度過去問題	過去問を解く&解説		
12回	平成27年度過去問題	過去問を解く&解説		
13回	確認テスト100題②	平成27年度過去問題より	* 期末試験の評価となります	
14回	平成26年度過去問題	過去問を解く&解説		
15回	平成26年度過去問題	過去問を解く&解説		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	HRS対策(実技)			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標 <input checked="" type="checkbox"/> 検定あり	・レストランにおける基本的なサービス方法・事故対処方法・食事のマナーを学び、国家資格であるHRS検定3級合格を目指す			
使用テキスト	・プリント適時 ・103教室備品			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・確認実技テスト2回80% ・平常点(授業態度/出席/準備/片付け)20%			
期末試験		※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業内容、目的、スケジュール、評価方法、昨年度の試験内容、結果報告など ・ロールプレイに当たっての基本説明(テーブルセッティング) ・朝食のメニューについて		
2回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えから水、コーヒーサービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
3回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからパンサービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
4回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法説明 ・整理整頓		
5回	確認テストにむけて	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービス ロールプレイ復習 ・整理整頓		
6回	確認テスト①	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービスのロールプレイの内容で実技試験 ・整理整頓		
7回	確認テスト①	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービスのロールプレイの内容で実技試験 ・整理整頓		
8回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～メイン料理サービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
9回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ ・整理整頓		
10回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ		
11回	確認テストにむけて	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイ復習 ・整理整頓		
12回	確認テスト②	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて実技試験 ・整理整頓		
13回	確認テスト②	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて実技試験 ・整理整頓		
14回	確認テスト振り返り 事故対処方法	・テストでわかった弱点を克服 ・事故対処方法		
15回	前期振り返り	・前期のまとめ		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験する企業の絞り込みと企業研究を充実させる。</li> <li>・面接対策のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。</li> <li>・内定後の処し方と入社後に最低限必要な知識を身につける。</li> </ul>			
使用テキスト	「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度…50% ・作成提出物による評価…50%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション・自己PR	・現在の就職活動状況の報告 ・冬の実習を使った自己PRを作成する。 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明		
2回	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント		
3回	自由表現	・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。		
4回	論文・作文の書き方	・就職試験における論文・作文の書き方を学び、書くときのポイントを整理する。 ・400字詰め原稿用紙2枚を使い、与えられた課題で実際に書いてみる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。		
5回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。		
6回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させる。		
7回	企業研究・面接対策	・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。		
8回	企業研究・面接対策	・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。		
9回	内定後にすること	・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることを確認させ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。		
10回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
11回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
12回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
13回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
14回	入社後に必要なこと	・就業規則とは何か、どう守っていくかを知らしめる。 ・組織について最小限の知識を身に付ける。		
15回	入社後に必要なこと	・自分自身の給料を計算してみよう。		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	E① E② クラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 合格あり 1年次の自己分析をさらに掘り下げる内容を考えるとともにそれに伴う表現力を付ける 実際の面接で想定される質問への対応力を付ける			
使用テキスト	使用しません。配布するプリントをまとめておくパーファイルを各自ご用意ください(毎回持参すること)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 提出物 30% ・面接 50% (最終面接欠席の場合、それまでの面接を評価)			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施(コンピュータなど、オーラル)・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	面接に対する取り組み方 1年次の経験をふまえ目標設定と現状把握		
2回	自己PR①	企業でプレゼンする内容をビデオ撮影		
3回	自己PR②	撮影した姿を視聴し、自分を客観視する		
4回	志望動機①	志望動機の作り方		
5回	志望動機②	志望動機の作り方		
6回	志望動機③	自己PRをふまえた志望動機		
7回	グループディスカッション①	過去問・時事ネタをディスカッションする		
8回	グループディスカッション②	ディベート		
9回	現状自己分析	現時点の自分の到達点の確認及び目標の再設定		
10回	面接:質疑応答①	面接でよくある質問とその答えに対する追求		
11回	面接:質疑応答②	面接でよくある質問とその答えに対する追求		
12回	面接:質疑応答③	面接でよくある質問とその答えに対する追求		
13回	最終面接①	仕上げの面接		
14回	最終面接②	仕上げの面接		
15回	まとめ	就職に向けた意識づけ		

\* 小テスト以外の筆記試験は、期末試験中に実施。

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	ホテルブライダルマーケティング			
担当講師(フルネーム)	吉良 牧子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり マーケティングとは何かを理解し、ホテル、ブライダルのマーケティング戦略について意見が出来る。			
使用テキスト	プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 授業への参加度20%、テスト80%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	効果的な自己紹介の仕方 発表		
2回	コミュニケーション	サービス業からコミュニケーションを学ぶ 言葉の足りなさに気付くワーク		
3回	マーケティングとは	マーケティングとは何か 身近にあるマーケティング 歴史		
4回	サービスとマーケティング	サービスとマーケティングとの関係		
5回	サービスを受ける	する側、される側に分かれてのワーク		
6回	リサーチ	マーケティングにおける情報収集		
7回	発表	グループディスカッション 発表		
8回	セグメンテーション戦略	ホテル、ブライダルの対象となる顧客層絞り込みの戦略を学ぶ		
9回	ブランド戦略	ブランドの歴史 ホテル業界のブランド		
10回	ホスピタリティ	ホスピタリティ精神を学ぶ		
11回	PR戦略	広報活動の必要性 手段と効果		
12回	異業種マーケティング	広い視野をもち、日頃からアンテナをはる		
13回	発表	身近な飲食店からマーケティングを学ぶ		
14回	顧客満足について	お客様の声にて、戦略とそう結びついたかを知る		
15回	次の戦略 質疑応答	計画的な戦略をたてる これまでのまとめ		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	クラス
科目名	セレモニープロデュースⅠ			
担当講師(フルネーム)	船藏 大志			
到達目標	「 ・自らテーマを決め、企画立案し、建設的に考え実践する力を養う。 ・チームでプロジェクトを成功させるために、自分の役割を理解し全うする行動力を養う。 ・ブライダル業界の業態について理解する。			
使用テキスト	・授業毎に資料を配布します、A4用紙の入るファイルを準備してください。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・提出物評価80点 + 平常点20点			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・前期授業概要・評価方法の説明 ・後期演習スケジュールの共有・各担当の進捗状況確認		
2回	会場見学①	・演習で使用する会場の見学を予定しています		
3回	演習準備③	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
4回	演習準備⑤	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
5回	演習準備⑦	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
6回	会場見学②	これまでの演習準備を踏まえ、会場内の再確認を行います 現在の進捗状況と照らし合わせ、次回授業の際変更点について話し合います		
7回	演習準備⑩	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
8回	演習準備⑫	・各担当ごとに成果を合わせ、リハーサルを行う ・進捗状況を、クラス全員で共有		
9回	リハーサル②	・各担当ごとに成果を合わせ、リハーサルを行う ・進捗状況を、クラス全員で共有		
10回	リハーサル④	・各担当ごとに成果を合わせ、リハーサルを行う ・進捗状況を、クラス全員で共有		
11回	リハーサル⑥	・各担当ごとに成果を合わせ、リハーサルを行う ・進捗状況を、クラス全員で共有		
12回	演習の片づけ①	・演習で使用した資料の片づけ		
13回	演習の片づけ③	・演習で使用した資料の片づけ		
14回	これからのブライダル業界①	・現在のブライダル業界のトレンドをもとに、今後のブライダル業界について理解		
15回	これからのブライダル業界③	・現在のブライダル業界のトレンドをもとに、今後のブライダル業界について理解		



対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	セレモニープロデュースⅡ			
担当講師(フルネーム)	船藏 大志			
到達目標	「 ・自らテーマを決め、企画立案し、建設的に考え実践する力を養う。 ・チームでプロジェクトを成功させるために、自分の役割を理解し全うする行動力を養う。 ・ブライダル業界の業態について理解する。			
使用テキスト	・授業毎に資料を配布します、A4用紙の入るファイルを準備してください。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・提出物評価80点 + 平常点20点			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	演習準備①	・演習テーマの作成 ・テーマに基づいた演出内容の検討		
2回	演習準備②	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
3回	演習準備④	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
4回	演習準備⑥	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
5回	演習準備⑧	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
6回	演習準備⑨	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
7回	演習準備⑪	・各担当ごとに制作作業 ・進捗状況を、クラス全員で共有		
8回	リハーサル①	・各担当ごとに成果を合わせ、リハーサルを行う ・進捗状況を、クラス全員で共有		
9回	リハーサル③	・各担当ごとに成果を合わせ、リハーサルを行う ・進捗状況を、クラス全員で共有		
10回	リハーサル⑤	・各担当ごとに成果を合わせ、リハーサルを行う ・進捗状況を、クラス全員で共有		
11回	リハーサル⑦	・各担当ごとに成果を合わせ、リハーサルを行う ・進捗状況を、クラス全員で共有		
12回	演習の片づけ②	・演習で使用した資料の片づけ		
13回	演習の片づけ④	・演習で使用した資料の片づけ		
14回	これからのブライダル業界②	・現在のブライダル業界のトレンドをもとに、今後のブライダル業界について理解		
15回	これからのブライダル業界④	・現在のブライダル業界のトレンドをもとに、今後のブライダル業界について理解		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	プランナー実務			
担当講師(フルネーム)	田中香利			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・ブライダル業界の集客戦略の取得 (ブライダルフェア企画・プラン作成・ゼクシィ誌面作成) ・新規接客 ロールプレイング			
使用テキスト	・リアルウェディングアカデミー(RWA A-B) ・ブライダル広告媒体ゼクシィ ・ハサミ・のり等 (制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参・プリントアウト後ファイリング用クリアファイル持参)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
第1週	ブライダル広告戦略とは	■ブライダル広告戦略とその目的		
第2週	ブライダル広告戦略と費用の成り立ち	■ブライダル広告の詳細とその費用		
第3週	ゼクシィネットからの集客とその効果・対策	■ゼクシィネットからの集客方法 ■効果検証と対策		
第4週	ゼクシィ広告を作成①	■ゼクシィ広告掲載の時期 ■広告年間スケジュール ■年間広告宣伝費用予算		
第5週	ゼクシィ広告を作成②	■掲載用トップタイトル選定 ・集客目的・集客時期		
第6週	ゼクシィ広告を作成③	■掲載用画像選定 ・メインビジュアル ・衣食住別ビジュアル		
第7週	ゼクシィ広告を作成④	■掲載用プラン選定／画像選定		
第8週	ゼクシィ広告を作成⑤	■掲載用フェア選定／画像選定 ・フェア日程 ・フェア詳細		
第9週	ゼクシィ広告を作成⑥	■掲載用特典選定／画像選定 ・来館特典 ・成約特典		
第10週	ゼクシィ広告を作成⑦	■掲載用特典選定／画像選定 ・発表		
第11週	新規接客ロールプレイング	■新規接客手順 ・名刺交換～挨拶～アイスブレイク ・アンケートヒアリング		
第12週	新規接客ロールプレイング	■新規接客手順 婚礼会場説明 ・ウェディングスタイル～チャペル		
第13週	新規接客ロールプレイング	■新規接客手順 婚礼会場・プラン説明 ・パンケット～料理～プラン		
第14週	新規接客ロールプレイング	■新規接客手順 仮予約 ・日取り決定		
第15週	新規接客ロールプレイング	■新規接客手順 本予約 ・内金手続き ・規約説明		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	I クラス
科目名	ブライダルデザイン			
担当講師(フルネーム)	小川智子			
到達目標	「 検定あり ブライダルプランナーとしてのイメージ造りから、創作能力、プレゼンテーション能力の向上を目指す 模擬披露宴の空間コーディネートに関する計画立案と制作を実施する			
使用テキスト	ファッション&ビューティーの色彩			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 作品評価と授業態度 … 50% 提出物による評価 … 50%			
期末試験	X			
	テーマ	授業内容		
1回	イメージ戦略 実習	ファッションとビューティーにおける色彩の役割 ブライダルフェアのプランニング 顧客の目を引くデザインとは		
2回	カラーコーディネート応用	色の表し方 ブライダルフェアのプランニング ディスプレイのプランニングと制作		
3回	カラーコーディネート応用	色の見え方とイメージ① ブライダルフェアのプランニング ディスプレイのプランニングと制作		
4回	カラーコーディネート応用	色の見え方とイメージ② イメージ通りのスタイルを提案するには…		
5回	カラーコーディネート応用	配色の基本① トータルコーディネート提案		
6回	カラーコーディネート応用	配色の基本② トータルコーディネート提案		
7回	カラーコーディネート応用	配色の基本③ オリジナルウエディングの計画立案		
8回	空間演出実習①	プランニングと役割分担		
9回	空間演出実習②	プランニングと役割分担		
10回	空間演出実習③	制作と確認		
11回	空間演出実習④	制作と確認		
12回	空間演出実習⑤	中間発表と再計画		
13回	空間演出実習⑥	制作と確認		
14回	空間演出実習⑦	制作と確認		
15回	空間演出実習⑧	プレゼンテーションと最終確認		

対象学年	2年	対象クラス	プライダグ科	1クラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・受験する企業の絞り込みと企業研究を充実させる。 ・面接対策のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。 ・内定後の処し方と入社後に最低限必要な知識を身につける。			
使用テキスト	・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション・自己PR	・現在の就職活動状況の報告 ・冬の実習を使った自己PRを作成する。 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明		
2回	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント		
3回	自由表現	・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。		
4回	論文・作文の書き方	・就職試験における論文・作文の書き方を学び、書くときのポイントを整理する。 ・400字詰め原稿用紙2枚を使い、与えられた課題で実際に書いてみる。 ・個人別の添削で個人が持つ問題点がわかるようになる。		
5回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。		
6回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させる。		
7回	企業研究・面接対策	・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個人々の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。		
8回	企業研究・面接対策	・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。		
9回	内定後にすること	・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることを確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。		
10回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
11回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
12回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
13回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
14回	入社後に必要なこと	・就業規則とは何か、どう守っていくかを知らしめる。 ・組織について最小限の知識を身に付ける。		
15回	入社後に必要なこと	・自分自身の給料を計算してみよう。		

対象学年	2年	対象クラス	プライダクル科	1クラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・模擬面接によって就職面接試験に通用する、自己表現力を身につける			
使用テキスト	・プリント適時			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・授業内確認テスト50% ・レポート作成30% ・平常点20%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の進め方、評価方法説明 ・各自の就職活動の進捗状況の整理・把握 ・課題①		
2回	集団面接 I	・過去出題例をもとに、集団面接演習 ・演習の振り返りを行い、自分の強みと課題を確認 ・課題②		
3回	集団面接 II	・過去出題例をもとに、集団面接演習 ・演習の振り返りを行い、自分の強みと課題を確認 ・課題③		
4回	2次面接対策 I	・一次面接との違いを理解する ・個別質問の意図を掴み、回答する ・課題④		
5回	2次面接対策 II	・個別質問の意図を掴み、回答する(ビデオ撮影) ・課題⑤		
6回	個人面接演習	・最終面接の意図、目的について理解する ・最終面接を想定し、個人面接演習、フィードバック		
7回	個人面接演習	・最終面接の意図、目的について理解する ・最終面接を想定し、個人面接演習、フィードバック		
8回	グループディスカッション	・GDの実践 ・振り返り		
9回	グループディスカッション	・GDの実践 ・振り返り		
10回	個別対策	・各自の就職活動状況に応じた対策、練習		
11回	個別対策	・各自の就職活動状況に応じた対策、練習		
12回	就職活動の振り返り	・自分自身の就職活動を振り返り、 働くうえでの強みや弱みを洗い出す ・先輩へのアドバイス作成		
13回	実技テスト① 個人面接	・個人面接の形でテスト ※待機中はレポート作成		
14回	実技テスト① 個人面接	・個人面接の形でテスト ※待機中はレポート作成		
15回	実技テスト② グループディスカッション	・グループディスカッションの形で実技テスト		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル 科	I 選択 クラス
科目名	HRS対策(筆記)			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 8月に実施されるレストランサービス技能検定の学科試験合格を目指す 衛生管理やプロトコルを学び、広い視野でサービスを行えるようになる			
使用テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% (2回の小テスト) ・期末テスト 50%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	食品の基礎知識 栄養素を覚える		
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	フルコース復習 オールドウーブルからデセールまで		
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食事用具 銀器の名称と取扱い		
4回	第4章 食文化	食文化 プロトコル食卓作法		
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生 食中毒を引き起こす菌の名前		
6回	平成28年度過去問題	過去問を解く&解説		
7回	平成28年度過去問題	過去問を解く&解説		
8回	平成28年度過去問題	過去問を解く&解説		
9回	確認テスト100題①	平成28年度過去問題より	* 期末試験の評価となります	
10回	平成27年度過去問題	過去問を解く&解説		
11回	平成27年度過去問題	過去問を解く&解説		
12回	平成27年度過去問題	過去問を解く&解説		
13回	確認テスト100題②	平成27年度過去問題より	* 期末試験の評価となります	
14回	平成26年度過去問題	過去問を解く&解説		
15回	平成26年度過去問題	過去問を解く&解説		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	(選択)クラス
科目名	HRS対策(実技)			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり ・レストランにおける基本的なサービス方法・事故対処方法・食事のマナーを学び、国家資格であるHRS検定3級合格を目指す			
使用テキスト	・プリント適時 ・103教室備品			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・確認実技テスト2回80% ・平常点(授業態度/出席/準備/片付け)20%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業内容、目的、スケジュール、評価方法、昨年度の試験内容、結果報告など ・ロールプレイに当たっての基本説明(テーブルセッティング) ・朝食のメニューについて		
2回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えから水、コーヒーサービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
3回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからパンサービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
4回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからパッシング・リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法説明 ・整理整頓		
5回	確認テストにむけて	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービス ロールプレイ復習 ・整理整頓		
6回	確認テスト①	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービスのロールプレイの内容で実技試験 ・整理整頓		
7回	確認テスト①	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービスのロールプレイの内容で実技試験 ・整理整頓		
8回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～メイン料理サービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
9回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～パッシング・リセットまでのロールプレイ ・整理整頓		
10回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～パッシング・リセットまでのロールプレイ		
11回	確認テストにむけて	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイ復習 ・整理整頓		
12回	確認テスト②	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて実技試験 ・整理整頓		
13回	確認テスト②	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて実技試験 ・整理整頓		
14回	確認テスト振り返り 事故対処方法	・テストでわかった弱点を克服 ・事故対処方法		
15回	前期振り返り	・前期のまとめ		





# トラベル 鉄道

\* 共通する科目は、トラベルにあります。

対象学年	1年	対象クラス	トラベル・鉄道科	KMクラス
科目名	国内観光地理 I			
担当講師(フルネーム)	友納真 挽田雅子			
到達目標 <input checked="" type="checkbox"/> 検定あり	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す。			
国内実務科目のうち国内観光地理の知識を身につける。 観光箇所の名称・観光地の所在地、特徴・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点を取れるようにする。				
使用テキスト	国内旅行地理ベーシック300 旅に出たくなる地図 国内観光資源 国内観光地理サブノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30%(授業参画度10%・小テスト10%・課題提出10%) ・期末試験 70%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 旅に出たくなる地図を読む 白地図に記入する		
2回	島・半島	旅情イメージにあふれる島・半島 ツアータイトルに使われる島・半島 全国33の地域・特徴を覚える		
3回	湖・川・滝・鍾乳洞	日本三大湖沼、三大急流など 三大瀑布など 三大鍾乳洞など全国38の観光スポットを覚える		
4回	温泉	温泉を覚える 北海道・東北・関東 人気のある旅先		
5回	主な観光地	歴史ある街並みや建造物が残る観光都市 名園、花の名所 テーマパーク		
6回	地理検定問題	第42回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
7回	地理検定問題	第44回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
8回	青森・岩手	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する ねぶた祭り、陸中海岸、中尊寺		
9回	山形	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 出羽三山、最上川、酒田		
10回	栃木・群馬	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 日光東照宮、華厳滝、草津温泉、白根山		
11回	東京・神奈川	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 浅草寺、小笠原諸島、箱根、鎌倉		
12回	石川・福井	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 兼六園、輪島、東尋坊、永平寺		
13回	長野・岐阜	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 善光寺、妻籠、白川郷、高山		
14回	愛知・三重	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 犬山城、熱田神社、英虞湾、伊勢神宮		
15回	大阪・兵庫	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 天神祭、姫路城、城崎温泉		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル・鉄道科	KMクラス
科目名	国内観光地理Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	友納真 挽田雅子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す。 国内実務科目のうち国内観光地理の知識を身につける。 観光箇所の名称・観光地の所在地、特徴・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点を取れるようにする。			
使用テキスト	国内旅行地理ベースブック300 旅に出たくなる地図 国内観光資源 国内観光地理サブノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30%(授業参画度10%・小テスト10%・課題提出10%) ・期末試験 70%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	山・高原・渓谷	必須59の山を覚える 新緑や紅葉の名所 眺望、夜景の素晴らしい峠や山々		
2回	海岸・岬	必須27の海岸・岬を覚える 日本三景など 断崖、奇岩、遊覧船巡り		
3回	寺社・城跡	必須30の寺社、城跡 世界遺産の寺院・神社 歴史的、芸術的、観光的に名高い寺社、城跡		
4回	温泉	温泉を覚える 中部・関西・中国・四国・九州 人気のある旅先		
5回	地理検定問題	第41回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
6回	地理検定問題	第43回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
7回	北海道	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 知床、函館、大雪山		
8回	宮城・秋田	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 松島、田沢湖、角館		
9回	福島・茨城	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 磐梯山、飯坂温泉、筑波山		
10回	埼玉・千葉	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 川越、長瀬、成田山新勝寺		
11回	新潟・富山	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 妙高山、佐渡島、立山黒部アルペンルート		
12回	山梨・長野	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 富士山、猿橋、上高地、御嶽山		
13回	静岡	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 伊豆、三保松原、浜名湖		
14回	滋賀・京都	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 竹生島、比叡山、天橋立、二条城		
15回	まとめと復習	前期のまとめ 北海道～兵庫の復習		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	K クラス
科目名	海外観光地理			
担当講師(フルネーム)	宮原英利			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 10月の総合旅行業務取扱管理者試験に向け、「主要国の観光地」を広く学びます。観光で巡る観光地名、山、川、湖及び特産品、美術品、名物料理、祭りなどを学び、平日頃からメディアの番組や海外旅行のパンフレットなどに目を通すなど、興味を持って情報収集に努めてください。			
使用テキスト	旅行業実務シリーズ:海外観光資源			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・定期試験80%、平常点 20%(特に授業への取り組み姿勢を評価します)			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	・オリエンテーション ・中国(1回目)	最初に学習方法、試験の傾向などを説明します。 観光資源の多い中国を学びます。		
2回	中国(2回目)	有名な観光都市、遺跡、自然景観など、歴史的係わりを理解しながら学びます。 特に、中国の都市の発達過程を歴史に注目しながら学びます。		
3回	韓国	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
4回	東南アジア1回目	ベトナム、タイ、カンボジアの観光地を習得します。		
5回	東南アジア2回目	マレーシア、シンガポール、インドネシアの主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
6回	イギリス	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
7回	ドイツ	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
8回	フランス	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
9回	イタリア	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
10回	スペイン	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
11回	ヨーロッパ	東欧、北欧の主要国の自然、主要都市、文化、名物料理などを習得します。		
12回	アメリカ	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
13回	ハワイ・カナダ	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
14回	オセアニア	自然、主要都市、名物料理、文化等を習得します。		
15回	まとめ	期末テスト対策を含め、復習を行う。		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル 科	K クラス
科目名	旅行実務(鉄道・航空)			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり <input checked="" type="checkbox"/> 国内旅行業務取扱管理者(9月)／総合旅行業務取扱管理者(10月)実施 国内・総合管理者試験の合格を目指すとともに、JR・航空について知識を深める。			
使用テキスト	国内運賃・料金 / JR時刻表 / 講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(60%)＋小テスト(20%)＋平常点(授業態度・提出物)(20%)で成績評価する。			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	旅客鉄道会社(JR)①	旅客鉄道会社(JR)とは 旅客営業規則・JR6社・JR旅客会社路線図 乗車券類販売の概要・年齢区分・運賃と料金の違い		
2回	旅客鉄道会社(JR)②	運賃① 運賃計算の原則・普通乗車券の種類		
3回	旅客鉄道会社(JR)③	運賃② 運賃計算の特例		
4回	旅客鉄道会社(JR)④	運賃③ 普通乗車券の効力 運賃の割引		
5回	旅客鉄道会社(JR)⑤	料金① 料金計算(種類と基本)		
6回	旅客鉄道会社(JR)⑥	料金② 乗継割引		
7回	旅客鉄道会社(JR)⑦	料金③ 山形新幹線と秋田新幹線の取扱い		
8回	旅客鉄道会社(JR)⑧	料金④ 新幹線の相互間を利用する場合の取扱い 東海道・山陽新幹線と九州新幹線の相互利用／東北新幹線と北海道新幹線の相互利用		
9回	旅客鉄道会社(JR)⑨	変更・取り消し・払い戻し		
10回	旅客鉄道会社(JR)⑩	普通回数乗車券の取扱い 団体乗車券の取扱い		
11回	旅客鉄道会社(JR)⑪	特別企画乗車券の取扱い JR時刻表の読み方		
12回	航空①	国内航空について 航空券販売の概要(航空会社・空港コード・予約開始日／発売日・購入期限・有効期間・予約時の注意事項・運賃の種類)		
13回	航空②	運賃・料金 変更・取り消し・払い戻し		
14回	貸切バス・フェリー・宿泊	貸切バスの運賃・料金／フェリーの運賃・料金 宿泊料金・変更・取り消し・払い戻し		
15回	まとめ	前期授業のまとめ 期末試験・夏の管理者セミナーに向けての対策。		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル 科	K クラス
科目名	就職活動講座・筆記試験対策			
担当講師(フルネーム)	友納真(就職活動講座)・北村正雄(筆記試験対策)			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり <b>【就職活動講座】</b> 専門学校において、就職する事が最大目標。1年前期のうちから就職活動の流れを掴み、1年後期からの就職行事・就職活動へ突入する準備をしていきます。 <b>【筆記試験対策】</b> 希望する旅行会社に就職するために必要な能力検査試験に合格して面接に進むための能力の習得を目標としています。旅行会社の採用試験は以前はペーパー形式でしたが最近ではSPIテストセンターの会場受検(検査を受けるので受験ではありません。)が学校・自宅のWEBテストが主流です。SPIIは非言語・数学と言語国語に分かれています。講義は、わかりやすく、楽しく進めていきます。旅行会社によっては一般常識社会(政治経済・歴史・地理・時事)が出題されることもあるのでこの分野も講義していきます。夢の実現に向けて全力でサポートします。			
使用テキスト	<b>【就職活動講座】</b> 就職ノート・SUCCESS・講師作成プリント ※指定する日は制服着用の上、講義を受けること。 <b>【筆記試験対策】</b> 講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 <b>【就職活動講座】</b> 提出物・出席率・授業態度により成績評価する。就職活動講座と筆記試験対策の評価を合算して成績評価(期末試験は【筆記試験対策】の部分のみ実施) <b>【筆記試験対策】</b> 期末試験(60%)＋平常点(20%)で成績評価する。			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ ※筆記試験対策のみ実施。 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回 4/11(水) 友納	オリエンテーション	シラバス・テキストを使って、授業の進め方を説明。 自己紹介 (業界を志望する理由、目指す職業など、自己PRの準備・練習)		
2回 4/18(水) 北村	鶴亀算1 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方として正解にたどり着ければよいのです。		
3回 4/25(水) 友納	就職活動の心構え・準備	就職とは? 自分なりの就職の目標を考える。 身だしなみはなぜ大切かを考える。 「学生と社会人の違いは?」を考える。		
4回 5/2(水) 北村	鶴亀算2 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONNDAのバイクとヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならない。バイトの学生が20個仕上げ、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか。		
5回 5/9(水) 友納	就職活動の流れ	IBCの就職活動の流れを説明。 就職閲覧室の利用方法、就職活動のルールを説明。		
6回 5/16(水) 北村	速さ・時間・距離 旅人算	この問題は小学校では旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後Bが分速80mで追いつけた。Bは何分後駅から何mの地点でAに追いつけますか? またAとBの通過算もあります。時速と列車と鉄道の長さが与えられている場合、列車がこの鉄道を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。		
7回 5/30(水) 友納	自己分析①	自分自身を知る。 ライフスタイルや将来の夢や目標を考える。 過去・現在の自分を掘り起こし、自身を分析する。		
8回 6/6(水) 北村	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率のトップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?		
9回 6/13(水) 友納	自己分析②	自分で考える自身の性格・能力・適性を考える。 総合し、自身のPRにつなげていく。		
10回 6/20(水) 北村	玉手箱計数理解	(38-□)÷7=5 □÷4=20+30 36÷2=□÷3 410+□=740-(400-130) □÷3+7=21、この一次方程式の問題は制限時間7~8分で、問題数は50問 合格ライン40点以上 1問7秒で正解しないと不合格 時間との戦いで、すべての受験生が、時間が足りなかった、難しかったと報告しています。虫食い算と呼ばれる桁数の多い割り算の商計算の過程で数字の一部の□の値を求める問題も慣れないと時間がかかる。短時間で解答できるテクニックは講義の中で。		
11回 6/27(水) 友納	自己PR	自己分析をもとに、自身のPRできる部分をピックアップしていく。 PRを文章にして、表現できるようにする。 表現したら、フィードバックしこれからの就職活動に向けて、仕上げていく。		
12回 7/4(水) 北村	国語分野①	SPI SCOA 玉手箱における国語分野の最新傾向 二語の関係 この問題はSPI独特の問題 慣れると簡単 ①類似語の関係(熟読・精読・通読 啓発・啓蒙・開発 歴然・当然・泰然 性急・短慮・緊急・短期) 反対の関係(理論・実践・実技・挫折・努力・貫徹 多弁・能弁・寡黙)		
13回 7/11(水) 友納	業界研究(旅行)	旅行業界について学ぶ。 職種・業種を理解し、自分がどんな仕事をしたいかを確認する。 どんな旅行会社があるのか。旅行会社の特徴などを解説し、過去の求人などと対比していく。		
14回 7/18(水) 北村	国語分野②	二語の関係② 包含関係(名古屋・日本、化粧品・口紅、塩・調味料、枕・寝具、パレエ・舞踏、暖房器具・ストーブ) 原料製品関係(米・せんべい、コート・毛皮、陶器・粘土、セメント・石灰、ハム・肉、青カビ・ペニシリン、豆腐・大豆)		
15回 7/25(水) 友納	前期の振り返り	夏季休暇前に、前期でやってきたことを振り返る。 1年夏季休暇の時にするべき「就職活動」を指導。		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	旅行業法			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格			
使用テキスト	旅行業実務1(旅行業法)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施...○ 授業中に実施...△ 期末試験なし...× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	・「旅行管理者試験」概要 ・旅行業法とは	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・国家試験の概要、学習方法 ・旅行業法の条文の見方		
2回	第1章 総則	・旅行業の3つの収入 ・旅行業法の目的と定義(第1条～第2条)		
3回	第1章 総則	・旅行業の定義(代理、媒介、取次、利用) ・旅行業と旅行業者代理業 ・旅行の形態		
4回	第2章 旅行業等(1)	・登録制度、旅行業の種類と業務の範囲(第3条～第5条) ・旅行業法施行規則(第1条～第4条)		
5回	第2章 旅行業等(2)	・登録拒否(第6条) ・有効期間、更新、変更(第6条2～4) ・旅行業法施行規則(第4条～第5条)		
6回	小テスト・解説			
7回	営業保証金制度(1)	・営業保証金の供託と供託額(第7条～第8条)		
8回	営業保証金制度(2)	・営業保証金の追加供託、取戻し、保管替え等(第9条) ・取引額の報告(第10条)		
9回	旅行業務取扱管理者	・旅程管理(第12条の10～第12条の11) ・取扱管理者の選任、証明書の提示等(第11条～第12条の5の2) ・取扱管理者の職務(施行規則10条)		
10回	取扱料金、旅行業約款	・取扱料金の揭示(第12条) ・旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款(第12条の3)、施行規則 ・標識の揭示(第12条の9)		
11回	取引条件の説明、 書面の交付	・取引条件の説明、書面の交付(第12条の4～第12条の5) (共同規則8条～9条)		
12回	小テスト・解説			
13回	広告、禁止行為	・受託契約(第14条の2) ・外務員証の携帯(第12条の6) ・企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8)、(共同規則12条～14条) ・禁止行為、名義利用の禁止(第13条～第14条)、施行規則		
14回	旅行業協会制度	・旅行業協会の法定業務 ・弁済業務保証金制度(第22条の2～第22条の16)		
15回	まとめ、問題			

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	約款			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格			
使用テキスト	旅行業実務2(約款)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	約款とは	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・約款とは、標準旅行業約款とは ・旅行契約の種類 ・国内管理者と総合管理者の出題範囲		
2回	募集型企画旅行(1)	・総則(定義、契約の内容) ・手配代行者 ・契約の締結		
3回	募集型企画旅行(2)	・契約の変更		
4回	募集型企画旅行(3)	・契約の解除		
5回	募集型企画旅行(4)	・団体、グループ契約 ・旅程管理 ・責任		
6回	募集型企画旅行(5) 小テスト・解説	・旅程保証、変更補償金 ・小テスト		
7回	特別補償規程(1)	・補償金等の支払い(責任、定義) ・補償金等を支払わない場合 ・補償金等の種類及び支払額		
8回	特別補償規程(2)	・補償金等(身体の傷害)と損害補償金(携帯品)の相違点 ・携帯品損害補償金の支払い		
9回	受注型企画旅行	・募集型企画旅行契約との相違点 ・総則(定義、契約の内容) ・手配代行者 ・契約の締結 ・契約の変更 ・契約の解除		
10回	手配旅行	・企画旅行契約との相違点 ・総則 ・契約の成立 ・契約の変更及び解除 ・旅行代金 ・団体、グループ手配 ・責任		
11回	旅行相談契約 渡航手続き代行契約	・契約の内容 ・責任		
12回	小テスト・解説			
13回	モデル宿泊約款 国内航空運送約款	・モデル宿泊約款 ・国内航空運送約款		
14回	貸切バス約款 フェリー約款	・貸切バス約款 ・フェリー約款		
15回	JR営業規則	・JR営業規則		



対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	旅行業英語			
担当講師(フルネーム)	秋満陽子			
到達目標	<p>航空機による旅行・出入国審査・市内観光・ホテル滞在など、海外旅行の様々な場面で必要な英語を、実際の旅行の流れに沿って学ぶ。 海外旅行で起こりうる様々なケースに対応できる英語の言い回しを会話パターンとして身につける。</p>			
使用テキスト	Practical English for the Travel Industry			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スケジュール・到達目標・成績評価方法の説明</li> <li>・プロローグ</li> <li>・機内アナウンスを理解する(離陸前)</li> </ul>		
2回	Chapter 1 航空機による旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・機内アナウンスを理解する(離陸時)</li> <li>・機内食メニューの見方</li> </ul>		
3回	Chapter 1 航空機による旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・機内サービス・飲み物の注文</li> <li>・手荷物・空港のセキュリティーチェック</li> </ul>		
4回	Chapter 1 航空機による旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・機内アナウンスを理解する(着陸時)</li> <li>・手荷物の破損や紛失時の英語</li> </ul>		
5回	Chapter 2 入国手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・入国審査・税関</li> <li>・ポーターを頼む・両替をする</li> </ul>		
6回	Chapter 2 入国手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・免税品・持ち込み制限品に関する英語表現</li> <li>・空港から市内・ホテルまでの移動を確認する</li> </ul>		
7回	Chapter 3 ホテルにて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・チェックイン・モーニングコール、クリーニングを頼む</li> <li>・客室のトラブル</li> </ul>		
8回	Chapter 3 ホテルにて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・ホテルのサービスに関する英語</li> <li>・客室のトラブル・コンシェルジュとの会話</li> </ul>		
9回	Chapter 4 バスでの市内見物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・バスに乗る</li> <li>・道のりを尋ねる</li> </ul>		
10回	Chapter 4 バスでの市内見物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・劇場の予約と入場券の購入</li> </ul>		
11回	Chapter 4 バスでの市内見物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・観光地での会話</li> <li>・Words &amp; Phrases</li> </ul>		
12回	Chapter 5 ロンドンの一日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・レストランでの食事</li> <li>・小旅行の手配とホテル予約</li> </ul>		
13回	Chapter 5 ロンドンの一日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習</li> <li>・予約を変更する・レンタカーを手配する</li> <li>・地下鉄に乗る</li> </ul>		
14回	総まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期のまとめと期末テスト対策</li> </ul>		
15回	期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末テスト</li> </ul>		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	K クラス
科目名	観光学基礎			
担当講師(フルネーム)	宮原英利			
到達目標	〇 検定あり ・観光が地域社会にもたらす効果を知る。 ・観光を構成する要素を説明できるようにする。 ・観光事業の意味と仕組みを説明出来るようにする。			
使用テキスト	特に指定しません。適宜、プリントを配布します。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・定期試験80%、平常点 20%(特に授業への取り組み姿勢を評価します)			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	イントロダクション	観光と旅行に関する全体を知る		
2回	観光産業(1回目)	観光産業とその経営		
3回	観光産業(2回目)	観光ビジネス関連産業におけるサービスの意味、及び人材育成		
4回	観光産業(3回目)	ホスピタリティの意味と、ホスピタリティが観光にかかわる産業にとって重要視される理由		
5回	旅行業(1回目)	旅行業の成り立ち		
6回	旅行業(2回目)	旅行業の仕事		
7回	宿泊業(1回目)	ホテル/旅館の歴史、分類、及び地域における役割		
8回	宿泊業(2回目)	経営と組織		
9回	航空業(1回目)	航空業の始まりとその歴史		
10回	航空業(2回目)	航空業の現状、グローバル・アライアンスのメリットとは		
11回	航空業(3回目)	Low Cost Carrier(LCC)のもたらすメリットと今後を考える		
12回	観光施設	テーマパーク. その質とサービスの本質を探る		
13回	関連観光産業	土産物屋の存在、業者の立場と客の立場		
14回	観光行政と観光政策(1回目)	インパウンドのとらえ方、各国はなぜインパウンドに力を入れるのか		
15回	観光行政と観光政策(2回目)	観光業は平和産業		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	海外旅行実務			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 10月に実施される「総合旅行業務取扱管理者」の資格試験の合格を目指し、海外実務の知識を身につける。 海外実務の範囲の中の「出入国法令と実務」「海外旅行実務」について、試験合格のための得点を取れるようにする。			
使用テキスト	旅行業実務シリーズ5「出入国法令と実務」 旅行業実務シリーズ9「海外旅行実務」			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	旅券・新規申請	旅券の種類を学ぶ。 一般旅券の発給申請について理解する。 必要書類を知る。省略できる提出書類を覚える。		
2回	旅券・例外的取扱い	代理申請について学ぶ。 未成年の申請の仕方を知る。 居所申請の条件と方法を調べる。		
3回	旅券・その他の申請	新規発給以外の申請について学ぶ。 旅券の失効について理解する。 旅券の受領のしかたを知る。		
4回	査証手続	査証について学ぶ。 査証の必要な国を調べる。 米国との査証相互免除について学ぶ。		
5回	日本人の出国手続	出国手続の順序を知る。 搭乗手続・検査手続・税関手続について学ぶ。 出国審査に必要な書類を調べる。		
6回	外国での入・出国手続	入国手続について知る。 税関検査の内容を理解する。 出入国手続の特殊な取扱いを学ぶ。		
7回	日本の入国手続	動物検査・植物検査について学ぶ。 税関手続きについて、携行品等の免税範囲を知る。 ワシントン条約について理解する。		
8回	外国人の日本出入国	外国人の入国について学ぶ。 外国人の出国と再入国許可の手続きについて理解する。 在留資格と在留カードについて知る。		
9回	時差	時差表の見方を学ぶ。 GMTへの換算を理解する。 2地点の時差・相手の現地時間を計算する。		
10回	航空	航空会社コードを覚える。 都市コード・空港コードを覚える。 航空機の機種を学ぶ。		
11回	OAG 航空時刻表	OAGの記載事項を知る。 OAG航空時刻表の見方を学ぶ。 所要時間を計算する。		
12回	鉄道・船舶	ヨーロッパの鉄道について学ぶ。 米国・カナダ・オーストラリア・アジアの鉄道を知る。 クルーズ関連の専門用語を覚える。		
13回	ホテル・食事	ホテルの種類・等級・タイプ・設備・眺望・料金について学ぶ。 ホテル関連の専門用語を覚える。 名物料理を知る。		
14回	その他実務	レンタカーについて知る。 海外旅行保険について学ぶ。 外国通貨を調べる。		
15回	まとめ	まとめと総復習 「出入国法令と実務」理解度チェック 「海外旅行実務」理解度チェック		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	国際航空運賃			
担当講師(フルネーム)	宮原英利			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 10月の総合旅行業務取扱管理者試験に向け、国際航空運賃計算を習得を目標とする。			
使用テキスト	旅行業実務シリーズ:国際航空運賃・料金			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・定期試験80%、平常点 20%(特に授業への取り組み姿勢を評価します)			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション IATAと国際航空運賃	・IATAとは何か。 ・IATA運賃とキャリア運賃の違い。 ・IATAにおける地理区分		
2回	IATAと国際航空運賃	・旅行経路 ・IATAコード ・運賃(小幼児運賃)		
3回	国際航空運賃(1回目)	・曜日運賃 ・シーズンリティ ・有効期間		
4回	国際航空運賃(2回目)	・必要旅行日数 ・変更・取り消し・払い戻し		
5回	国際航空運賃(3回目)	・出発地国通貨建て運賃、中立通貨単位、IATA換算レート ・タリフ ・アドオン運賃		
6回	国際航空運賃(4回目)	・付加運賃、税金、諸料金 ・航空券の記載内容(eチケットお客様控え)		
7回	国際航空運賃(5回目)	・運賃計算上の各地点 ・通し運賃 ・フェアコンポーネント(Fare Component)		
8回	国際航空運賃(6回目)	・マイルージ計算 ・経路(経由)と旅程の制限 ・旅行形態		
9回	国際航空運賃(7回目)	・運賃計算(マイルージ計算と運賃計算) ・運賃計算例-1 ・運賃計算例-2/3		
10回	国際航空運賃(8回目)	・適用運賃のチェック HIPチェック(Higher Intermediate Point Check) ・CTMチェック(Circle Trip Minimum Fare Check)		
11回	国際航空運賃(9回目) (キャリア運賃)	・名称・運賃種別 ・目的地 ・適用旅客・人数		
12回	国際航空運賃(10回目) (キャリア運賃)	・クラス・旅行形態 ・適用期間・運賃(シーズンリティ、週末運賃・平日運賃、追加運賃等) ・予約・発券		
13回	国際航空運賃(11回目) (キャリア運賃)	・必要旅行日数 ・有効期間 ・途中降機・乗り換え		
14回	国際航空運賃(12回目) (キャリア運賃)	・経路規定、運賃計算例外規定 ・小幼児運賃 ・取り消し・払い戻し		
15回	国際航空運賃(13回目) (キャリア運賃)	キャリア運賃の適用例 (規則の適用と運賃の計算例)		


対象学年	2年	対象クラス	トラベル 科	L クラス
科目名	国内観光地理			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 1年次の国内観光地理の学習内容を踏まえ、さらに詳しく学習する。			
使用テキスト	国内観光地理・国内観光地理サブノート・旅に出たくなる地図(日本)・国内観光資源・講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(60%)＋小テスト(20%)＋課題(10%)＋平常点(授業態度・提出物)(10%)で成績評価する。			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	長崎県・熊本県	各都道府県を学ぶ。(※国内観光地理サブノート) 長崎県・熊本県		
2回	大分県・宮崎県	各都道府県を学ぶ。(※国内観光地理サブノート) 大分県・宮崎県		
3回	鹿児島県・沖縄県	各都道府県を学ぶ。(※国内観光地理サブノート) 鹿児島県・沖縄県		
4回	北海道①	北海道の観光地・祭り・イベント・お土産を学ぶ。(※国内観光地理テキスト)		
5回	北海道②	北海道の宿泊地(温泉・スキー場・街)を学ぶ。(※国内観光地理テキスト) 道内の交通機関(列車・航空)を学ぶ。		
6回	東北	東北地方の観光地・祭り・イベント・お土産を学ぶ。(※国内観光地理テキスト) 東北地方の宿泊地(温泉)を学ぶ。		
7回	関東	関東地方の観光地・イベント・お土産を学ぶ。(※国内観光地理テキスト) 東京・横浜の見どころ、宿泊を学ぶ。		
8回	中部	中部地方の観光地・イベント・お土産を学ぶ。(※国内観光地理テキスト) 中部地方の見どころ、宿泊地(温泉)を学ぶ。		
9回	立山黒部アルペンルート・黒部峡谷鉄道	中部山岳国立公園の観光のハイライト「立山黒部アルペンルート」「黒部峡谷鉄道」について学ぶ。 周辺観光地(上高地・高山・白川郷)について学ぶ。(※国内観光地理テキスト)		
10回	北陸	北陸地方の観光地・イベント・お土産を学ぶ。(※国内観光地理テキスト) 北陸地方の見どころ、宿泊地(温泉)を学ぶ。		
11回	京都	京都の観光地・祭り・イベント・お土産を学ぶ。(※国内観光地理テキスト) 京都の見どころ、宿泊地を学ぶ。		
12回	奈良	奈良の観光地・祭り・イベント・お土産を学ぶ。(※国内観光地理テキスト) 奈良の見どころ、宿泊地を学ぶ。		
13回	課題作成	課題:「私のオススメ」(観光地・グルメなどテーマを決めて)作成。		
14回	課題発表	課題:「私のオススメ」(観光地・グルメなどテーマを決めて)発表。		
15回	まとめ	前期授業のまとめ、期末試験対策。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	海外観光地理			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 海外の観光都市・観光地・観光個所の名前と場所を覚え海外旅行を楽しむための基礎知識を学ぶ。 白地図上に書き込んだり、地図を参照して、知識を身につける。 観光地の写真や映像を見て目と耳から学習する。			
使用テキスト	海外観光資源、旅に出たくなる地図(世界)、海外観光地理サブノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	マレーシア	授業の進め方、評価方法の説明 首都クアラルンプール、アイランドリゾート、東西貿易の拠点であったマラッカなどを見ていく。 多民族多文化の国の面白さを知る。		
2回	グアム・サイパン	ミクロネシアは西太平洋の赤道以北に浮かぶ島々。 日本から近い魅力的なリゾートとして人気がある。 初めての海外旅行地にも選ばれることも多く、家族連れにも人気のグアム・サイパンの観光地を学ぶ。		
3回	インド	インドは仏教発祥の地であると同時にヒンドゥー教がこの国の文化の底流に流れている。 インドの特質を踏まえたくえ各地の遺跡をはじめとする観光地を覚える。 サブノート記入		
4回	インド・ネパール	先週に引き続きインドの観光地を学ぶ。 ネパールでは、ヒマラヤとのかかわりや宗教施設をポイントとして知識を深める。 サブノート記入		
5回	ハワイ	日本人観光客が最も多く訪れる島でリピーター率も高い。 ホノルルがあるオアフ島から観光地や人気スポットを学ぶ。 サブノート記入		
6回	ハワイ	ハワイ諸島の最大の島であるハワイ島、ハレアカラ火山のあるマウイ島、庭園の島と呼ばれるカウアイ島を見ていく。 オアフ島以外の島に滞在するツアーも多く、それぞれの島の特徴を説明できるようになる。 サブノート記入		
7回	ニュージーランド	北島・南島の2つの島からなるニュージーランドの観光の魅力はスケールの大きな自然である。 また、先住民マオリの文化や温泉地ロトルア、経済の中心地オークランドなどの観光地もみていく。 サブノート記入		
8回	オーストラリア	広大な国土を持つオーストラリアであるが、その大半は砂漠であり都市は太平洋やインド洋に面した海岸線に集まっている。 オーストラリアの地勢の特徴を理解する。 サブノート記入		
9回	オーストラリア	太古のままの自然、固有の動植物、移民からなる多文化などオーストラリアの魅力を知る。 先住民アボリジニの文化や、数多くの世界遺産を見ていく。 サブノート記入		
10回	カナダ	カナダは世界で2番目に広い国で雪山、氷河、森、湖などの美しい自然に恵まれている。 太平洋側の西海岸とカナディアンロッキーの観光地を学ぶ。 サブノート記入		
11回	カナダ	東部の五大湖から大西洋に向かうセントローレンス川の流域の街を見ていく。 フランスの影響が残っている都市や、メープル街道について学ぶ。 サブノート記入		
12回	アメリカ合衆国	東西、南北と大きな広がりを持つアメリカ合衆国を、気候・風土・歴史の違いを通して地域の特徴を見ていく。 ロサンゼルス、サンフランシスコを起点とする西海岸の観光地を学ぶ。 サブノート記入		
13回	アメリカ合衆国	ニューヨーク、ワシントンを起点とする東海岸やニューオーリンズなどの魅力的な南部の観光地を学ぶ。 オーランド周辺のテーマパークについて調べる。 サブノート記入		
14回	西インド諸島	カリブ海の国々のイメージは明るい太陽と青い海、陽気な人々。 リゾートライフとクルーズが観光のポイントだが、15世紀以来の西欧諸国による征服、先住民の激減、奴隷労働などについても学ぶ。 サブノート記入		
15回	まとめ	まとめと総復習 アジア・オセアニア・北アメリカの国々について知識を整理する。 サブノートを完成させる。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	旅行業英語			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標	〇 検定あり 海外旅行の添乗業務をする際に必要な英語を、実際の旅行の流れに沿って学び、海外添乗業務を遂行できる力を身につける。 海外添乗の基本的業務に必要な英語力を獲得するため、添乗で遭遇するさまざまなケースでの言い回しを会話パターンとしてマスターする。 旅行業務に必要な英語を学び、情報・資料・手配書などを読み取れるようになる。			
使用テキスト	ツアーコンダクターの英語			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	第4章ホテル2	1年時の復習 朝食のメニュー・語彙を知る 国際電話やルームサービスを利用するための表現を学ぶ		
2回	第4章ホテル2	復習テスト 洗濯物やモーニングコールを頼む際の英語表現を学ぶ 貴重品を預けるときの英語表現を学ぶ		
3回	第5章自由行動の案内1	復習テスト 自由行動中の業務の基本を理解する 情報を得るための英語表現を学ぶ		
4回	第5章自由行動の案内1	復習テスト ショーやゴルフの情報を読み取る ホテルから情報を得るための表現を学ぶ		
5回	第5章自由行動の案内1	復習テスト 切符の予約をする レンタカーを借りるときの表現を学ぶ		
6回	第6章自由行動の案内2	復習テスト バスの運転手に行き先を聞く表現を学ぶ 道を聞くための英語の語彙を知る		
7回	第6章自由行動の案内2	復習テスト 買物をするための英語表現を学ぶ 試着をする際の表現を学ぶ		
8回	第7章レストランで	復習テスト 昼食の注文の仕方を学ぶ 夕食のレストランの予約の仕方を学ぶ		
9回	第7章レストランで	復習テスト 夕食のレストランでの注文の仕方を学ぶ メニューを読む		
10回	第8章観光・視察	復習テスト ガイドが来ない場合の対処について学ぶ コースの確認の仕方を学ぶ		
11回	第9章事故処理	復習テスト 病気の際の表現を学ぶ 病気やケガへの対応の仕方を学ぶ		
12回	第9章事故処理	復習テスト 手荷物の紛失・盗難・破損などの際の英語表現を学ぶ 空港での手荷物の紛失への対応の仕方を学ぶ		
13回	第10章移動と帰国	復習テスト 航空機の予約の確認や変更の際の英語表現を学ぶ 鉄道に関する英語表現を知る		
14回	第10章移動と帰国	復習テスト 帰国の際の準備と段取りを考える ホテルのチェックアウト・空港のチェックインの英語表現を学ぶ		
15回	まとめ	まとめと総復習 旅行業英語でよく使われる用語・表現を確認する 情報・資料を読む		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	旅行業概論			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・マーケティングの重要性ができるようになる ・観光産業における成功事例を学び、理解を深める ・我が国の観光政策の歴史を学ぶとともに、現代の観光の動向を理解する			
使用テキスト	観光のマーケティング・マネジメント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業概要 ・成績評価、諸注意 ・マーケティングとは		
2回	マーケティング・マネジメント	・消費者志向の経営 ・ビジネス・トラベル・マネジメント ・ニーズへの対応		
3回	サービスによる価値創造	・ザ・リッツ・カールトンの感動のサービス ・顧客価値創造のサービス・メカニズム ・サービスの定義と特性		
4回	インバウンド	・インバウンド ・MICE ・IR法		
5回	観光マーケットと購買行動	・沖縄観光の魅力 ・個人マーケット ・団体マーケット		
6回	我が国の観光政策	・テンミリオン計画 ・ツーウェイ・ツーリズム21 ・観光立国推進基本法		
7回	観光マーケティングの環境分析	・情報収集とSWOT分析 ・エキナカ・ビジネス ・環境分析手法		
8回	競争の分析	・スターフライヤーの戦略 ・マーケティング基本戦略 ・市場に対する考え方		
9回	祝祭日と観光	・オリンピックの歴史 ・ハッピーマンデー ・世界の休暇消化率		
10回	観光商品のマネジメント	・ジャルパック ・観光商品の管理 ・ブランド・エクイティ		
11回	価格のマネジメント	・国内航空運賃の価格設定 ・価格設定と企業戦略 ・プライシングに影響する要因		
12回	流通チャネルのマネジメント	・観光市場と流通機能 ・海外パッケージツアーの流通チャネル ・チャネル・コンフリクト		
13回	プロモーションのマネジメント	・フィリピン政府観光省のプロモーション ・プロモーションのマネジメント ・プロモーションのプッシュとプル		
14回	インターネットのマーケティング	・楽天トラベル ・観光マーケティングとインターネット ・AIDMAからAISASへ		
15回	現代ツーリズム	・エコ・ツーリズム ・グリーン・ツーリズム ・メディカル・ツーリズム		



対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	INFINI (国際予約)			
担当講師(フルネーム)	秋満陽子			
到達目標	到達目標 <input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国際線端末操作の内、空席照会、PNR作成、変更、座席指定、SSRリクエストの入力など、基本的な予約操作の習得、 また、自動運賃計算基礎、ルールの見方などを習得し、課程終了後には、INFINI検定予約運賃中級検定の資格取得を目指します。			
使用テキスト	専用テキスト(INFINI Reservation and Fare Pricing)その他、練習問題			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末テスト 80%			
期末試験		※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	前期の復習	前期の復習 空席照会・PNRの作成・変更 OSI SSRによる旅客情報入力、APISの入力		
2回	前期の復習	前期の復習 座席指定・マイレージ登録		
3回	運賃①	前回の復習 国際航空運賃概要 INFINI運賃システム概要		
4回	運賃②	前回の復習 LowFareSearchとは？ Low Fare search GUIを使った運賃の確認、PNRの作成		
5回	運賃③	前回の復習 LowFareSearchとは？ コマンドを使った運賃の確認		
6回	運賃④	前回の復習 自動運賃計算① 公示運賃：基本入力・運賃データファイル・運賃詳細・TAX		
7回	運賃⑤	前回の復習 自動運賃計算② 特別運賃：ベックス運賃・小児運賃・幼児運賃・その他割引運賃、オプション入力		
8回	運賃⑥	前回の復習 自動運賃計算③ その他のオプション入力・FARE ASIS指定・セグメント指定		
9回	運賃⑦	前回の復習 PNRからの運賃規則確認 マイレージ・通貨換算		
10回	運賃⑧	前回の復習 運賃表示 基本入力・オプション入力・運賃規則		
11回	運賃総復習	運賃復習		
12回	模擬テスト	運賃模擬テスト		
13回	INFINI機能	INFINIのツール活用 Low Cost Carrierの予約(LCC Search)、旅程表(Trippl)、航空運賃見積 簡単発券(Ticket Master) 情報検索サイト(ポータルサイト)		
14回	総復習	総復習(予約・運賃)		
15回	期末テスト	期末テスト		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル 科	L クラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 就職活動をするにあたり、個人個人に、また受験する企業ごとに指導をしていきます。			
使用テキスト	就職ノート・SUCCESS・講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・出席率・授業態度により成績評価する。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回 4/9(月)	オリエンテーション	就職活動のピークは4月～6月！ 求人情報の現状、求人の方、これからの就職活動の進め方を再度確認。 4月14日(土)実施の最終模擬試験に向けて、エントリーシートを作成。		
2回 4/16(月)	就職活動対策	最終模擬試験のフィードバック。 これからの就職活動の進め方を再度確認し、実践。 受験企業に合わせて、自己PR・志望動機を作成。		
3回 4/23(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
4回 5/7(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
5回 5/14(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
6回 5/21(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
7回 5/28(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
8回 6/4(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
9回 6/11(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
10回 6/18(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
11回 6/25(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
12回 7/2(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
13回 7/9(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
14回 7/16(月)	就職活動対策	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。		
15回 7/23(月)	就職活動対策・ 就業体験前教育	就職活動対策。 学生ごとの対策・確認(履歴書・面接対策)を個別に行います。 就業体験対象者には就業前の準備・指導を行います。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	L①L②クラス
科目名	就職活動講座(面接)			
担当講師(フルネーム)	山田 邦幸			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり * 2018年度における企業からの求人スケジュールに沿った授業運営を行い、企業が求める面接内容、コミュニケーション能力及び業界に必要な知識を育成することで、各学生が希望する企業の内定を勝ち取る。同時に前年度以上の月別就職内定率の達成を目指す。 * 内定学生は就業までに社会人としての自覚を持つよう指導(課題提示)するとともに業務に必要な知識アップ(小テスト等を実施)を行う。			
使用テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% * 面接実技・出席率・提出物(内容・提出期限等)・小テスト得点・授業態度・身だしなみにより評価。(スーツ着用・規定通り着用すること。)			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーショ 最終模擬面接対策	* 授業の進め方・評価方法について * 就職活動について(前年度及び今年度の求人環境・求人状況・企業研究・企業リスト・就職閲覧室の活用等) * 最終模擬面接に向けての用意		
2回	受験対策	* 最終模擬面接の振り返り * 就職活動について(学校の規則・手続き等) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等		
3回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習①(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等)		
4回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習②(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等)		
5回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習③(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
6回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習④(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
7回	受験対策 (求人状況に応じて)	* グループディスカッション練習(受験報告書&レジュメをもとに受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等) * 就職内定率50%以上目標		
8回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑤(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
9回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑥(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
10回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑦(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
11回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑧(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等) * 就職内定率70%以上目標		
12回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑨(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
13回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑩(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
14回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑪(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等) * 就職内定率80%以上目標		
15回	まとめ	* 前期のまとめ・就業までの過ごし方 * 未内定学生の個別指導 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科・鉄道科 混合クラス	L・Nクラス
科目名	国内管理者対策 I			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格			
使用テキスト	旅行業実務1(旅行業法)・旅行業実務2(約款)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	・「旅行管理者試験」概要 ・旅行業法とは	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・国家試験の概要、学習方法 ・旅行業法の条文の見方		
2回	旅行業法(1)	・旅行業の3つの収入 ・旅行業法の目的と定義 ・旅行業の定義 ・旅行業と旅行者代理業 ・旅行の形態		
3回	旅行業法(2)	・登録制度、旅行業の種類と業務の範囲 ・登録拒否 ・有効期間、更新、変更		
4回	旅行業法(3)	・営業保証金の供託と供託額 ・営業保証金の追加供託、取戻し、保管替え等 ・取引額の報告		
5回	旅行業法(4)	・旅行業務取扱管理者 ・取扱料金の揭示 ・標準旅行業約款 ・標識の揭示 ・旅程管理		
6回	旅行業法(5)	・取引条件の説明、書面の交付 ・企画旅行の広告、誇大広告の禁止 ・受託契約 ・外務員		
7回	旅行業法(6)	・旅行業協会の法定業務 ・弁済業務保証金 ・禁止行為		
8回	小テスト(旅行業法)・解説	小テスト(業法)・解説		
9回	標準旅行業約款(1)	・総則(定義、契約の内容) ・手配代行者 ・契約の締結		
10回	標準旅行業約款(2)	・契約の変更 ・契約の解除		
11回	標準旅行業約款(3)	・団体、グループ契約 ・旅程管理 ・責任		
12回	標準旅行業約款(4)	旅程保証(変更補償金)		
13回	標準旅行業約款(5)	特別補償規程		
14回	標準旅行業約款(6)	・受注型企画旅行 ・手配旅行		
15回	標準旅行業約款(7) 小テスト(約款)・解説	・旅行相談契約 ・小テスト(約款)・解説		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科(選択)	Lクラス
科目名	総合管理者対策 I			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 10月に実施される「総合旅行業務取扱管理者」の資格試験の合格を目指し、海外実務の知識を身につける。 海外実務の範囲の中の「出入国法令と実務」「海外旅行実務」について、試験合格のための得点を取れるようにする。			
使用テキスト	旅行業実務シリーズ5「出入国法令と実務」 旅行業実務シリーズ9「海外旅行実務」			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	旅券・新規申請	旅券の種類を学ぶ。 一般旅券の発給申請について理解する。 必要書類を知る。省略できる提出書類を覚える。		
2回	旅券・例外的取扱い	代理申請について学ぶ。 未成年の申請の仕方を知る。 居所申請の条件と方法を調べる。		
3回	旅券・その他の申請	新規発給以外の申請について学ぶ。 旅券の失効について理解する。 旅券の受領のしかたを知る。		
4回	査証手続	査証について学ぶ。 査証の必要な国を調べる。 米国との査証相互免除について学ぶ。		
5回	日本人の出国手続	出国手続の順序を知る。 搭乗手続・検疫手続・税関手続について学ぶ。 出国審査に必要な書類を調べる。		
6回	外国での入・出国手続	入国手続について知る。 税関検査の内容を理解する。 出入国手続の特殊な取扱いを学ぶ。		
7回	日本の入国手続	動物検疫・植物検疫について学ぶ。 税関手続きについて、携行品等の免税範囲を知る。 ワシントン条約について理解する。		
8回	外国人の日本出入国	外国人の入国について学ぶ。 外国人の出国と再入国許可の手続きについて理解する。 在留資格と在留カードについて知る。		
9回	時差	時差表の見方を学ぶ。 GMTへの換算を理解する。 2地点の時差・相手の現地時間を計算する。		
10回	OAG航空時刻表	航空会社コードを覚える。 都市コード・空港コードを覚える。 航空機の機種を学ぶ。		
11回	OAG 航空時刻表	OAGの記載事項を知る。 OAG航空時刻表の見方を学ぶ。 所要時間を計算する。		
12回	鉄道・船舶	ヨーロッパの鉄道について学ぶ。 米国・カナダ・オーストラリア・アジアの鉄道を知る。 クルーズ関連の専門用語を覚える。		
13回	ホテル・食事	ホテルの種類・等級・タイプ・設備・眺望・料金について学ぶ。 ホテル関連の専門用語を覚える。 名物料理を知る。		
14回	その他実務	レンタカーについて知る。 海外旅行保険について学ぶ。 外国通貨を調べる。		
15回	まとめ	まとめと総復習 「出入国法令と実務」理解度チェック 「海外旅行実務」理解度チェック		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科・鉄道科 混合クラス	L・Nクラス
科目名	国内管理者対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格			
使用テキスト	旅行業実務3(運賃料金)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	JR運賃料金(1)	・授業の進め方 ・JR運賃(1)幹線と地方交通線		
2回	JR運賃料金(2)	・JR運賃(2)本州3社と3島会社 ・(観光地理)北海道の世界遺産・国立公園		
3回	JR運賃料金(3)	・JR料金 ・(観光地理)東北の世界遺産・国立公園		
4回	JR運賃料金(4)	・JR新幹線 ・(観光地理)関東・甲信の世界遺産・国立公園		
5回	小テスト(JR)・解説	・小テスト(JR) ・(観光地理)北陸・東海の世界遺産・国立公園		
6回	JR運賃料金(5)	・JR団体料金 ・(観光地理)近畿の世界遺産・国立公園		
7回	JR運賃料金(6)	・JR取消料、その他規則 ・(観光地理)中国・四国の世界遺産・国立公園		
8回	JR運賃料金(7)	・JR営業規則 ・(観光地理)九州・沖縄の世界遺産・国立公園		
9回	練習問題・解説	・JR練習問題 ・国内地理練習問題		
10回	小テスト(JR)・解説	・小テスト(JR) ・解説		
11回	宿泊料金・宿泊約款	・宿泊料金 ・取消料 ・モデル宿泊約款		
12回	国内航空運賃・約款	・国内航空運賃 ・取消料 ・国内航空約款		
13回	貸切バス運賃・約款	・貸切バス運賃料金 ・取消料 ・貸切バス約款		
14回	フェリー運賃・約款	・フェリー運賃料金 ・取消料 ・フェリー約款		
15回	小テスト(各種料金)・解説	・小テスト(各種運賃料金・各種約款) ・解説		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	総合管理者対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	宮原英利			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 10月上旬に実施される「総合旅行業務取扱管理者」試験に向けて、海外実務の科目の習得を目指す。特に、航空運賃は満点を目指す。			
使用テキスト	旅行業実務シリーズ「国際航空運賃・料金」「出入国法令と実務」「旅行業約款 運送・宿泊約款」			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・定期試験80%、平常点 20%(特に授業への取り組み姿勢を評価します)			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	国際航空運賃(1回目)	国際航空運賃の基礎(IATA、GIとは、各種運賃、都市コード、空港コード)		
2回	国際航空運賃(2回目)	運賃の適用、小幼児運賃、曜日運賃とシーズンリティ、有効期間、変更・取り消し・払い戻し等		
3回	国際航空運賃(3回目)	運賃の通貨単位、IATAレート(NUCとROE)、端数処理		
4回	国際航空運賃(4回目)	タリフとは、タリフの見方、アドオン運賃、諸税、Eチケット		
5回	国際航空運賃(5回目)	運賃計算の基礎(コンポーネントの運賃算出、マイルージ計算)、計算例1-マイルージ計算が不要な旅程		
6回	国際航空運賃(6回目)	運賃計算の例2-マイルージ計算が必要な旅程		
7回	国際航空運賃(7回目)	運賃計算の例3-運賃の割り増しが必要な旅程		
8回	国際航空運賃(8回目)	適用運賃のチェック(HIPチェック、CTMチェック等)、キャリア運賃		
9回	旅行業約款 募集型企画旅行	用語の定義、契約の成立、変更・解除・責任、旅程保証等		
10回	旅行業約款 受注型/手配企画旅行	用語の定義、企画書面、企画料金、団体・グループ契約、募集型との相違点 手配旅行のみにある規定		
11回	出入国法令・実務(1回目)	旅券の種類、旅券申請、必要書類等		
12回	出入国法令・実務(2回目)	代理申請等、申請方法の違いと条件		
13回	出入国法令・実務(3回目)	旅券の失効、新規発行以外の申請等		
14回	出入国法令・実務(4回目)	時差、時差表の見方、時差の計算方法		
15回	出入国法令・実務(5回目)	OAGの見方、飛行時間の計算方法等		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道基礎			
担当講師(フルネーム)	田島義章			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 鉄道の基本や仕組みについての専門知識を身に付ける。			
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術 [ 運転編・電気編・土木編 ]			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施(コンピュータなど、オーラル)・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	鉄道とは	授業の目的・進め方・成績評価方法について理解する。 鉄道の定義や歴史、性質や種類について知る。 鉄道システムを理解する。		
2回	鉄道法規	鉄道に關係する法律について学ぶ。 鉄道に関する技術上の基準を定める省令について知る。 運転安全規範 綱領・一般準則を知る。		
3回	鉄道用語	基本的な鉄道の用語を知り専門用語が使えるようにする。 鉄道用語の意味を理解する。 運転安全規範 綱領・一般準則を理解する。		
4回	鉄道信号	交通信号と鉄道信号の違いを考える。 常置信号機・臨時信号機の種類と役割について理解する。 手信号の種類と現示方式を知る。		
5回	鉄道事故	過去の鉄道事故を振り返る。 列車防護を行なう場合を考える。 列車防護の省略や解除を知る。		
6回	閉そく方式	列車間の安全を確保する方法について考える。 通常時の閉そく方式を知る。 異常時の閉そく方式を知る。		
7回	列車の運転	原則的な運転ルールを理解する。 推進運転と退行運転を知る。 列車の過走防護について考える。		
8回	作業安全	ヒューマンエラーを知る。 ハインリッヒの法則について考える。 指差確認呼称について理解する。		
9回	電車のメカニズム	電車の走る原理(発電所から走行まで)を知る。 電車の止まる原理について理解する。 集電装置・制御装置・主電動機の役割について学ぶ。		
10回	自動列車停止装置	ATSの設備と運転上の注意について学ぶ。 地上装置と車上装置について理解する。 ATS故障時の取扱いを知る。		
11回	鉄道営業	乗車券の種類を知る。 企画乗車券について学ぶ。 フェアトリップシステムを理解する。		
12回	鉄道と自然災害	鉄道における自然災害の関わりについて考える。 過去の事故事例を振り返る。 気象観測システムにおける運行規制を知る。		
13回	運転保安装置①	転てつ装置について学ぶ。 標識の種類を知る。 信号装置に対する理解を深める。		
14回	運転保安装置②	踏切保安装置について学ぶ。 踏切緩急選別を知る。 列車無線・列車防護無線の機能および取扱いを理解する。		
15回	前期のまとめ	前期の振り返り 全体質疑		



対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道係員			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 鉄道運行に携わる各係員の概要を学ぶ。 鉄道運行の仕組みについて学ぶ。 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ。			
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施(コンピュータなど、オーラル)・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の分類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ		
2回	駅員の業務	1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ		
3回	鉄道乗務員	1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する		
4回	運行の仕事(車掌)	1.運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2.車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3.車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ		
5回	鉄道運転士への道	1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る		
6回	運転士養成のカリキュラムと国家試験	1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」による受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する		
7回	動力車操縦者養成所	1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ		
8回	鉄道運転士の使命	1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ		
9回	鉄道運転士の事故について	1.事故の分類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追究し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る		
10回	運転区所の組織	1.習熟度確認を行い現在までの理解度を確認する 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ		
11回	鉄道乗務員②	1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける		
12回	鉄道運行に関わる係員	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ		
13回	鉄道ダイヤに関わる係員①	1.ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ		
14回	期末試験対策	1.ダイヤグラムを把握する ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ		
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M クラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	三石佳代子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。 鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から内定を得ることを目標とする。 前期終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物になることを目指す。			
使用テキスト	・「SUCCES 勝つための就職ガイド」・就職ノート ・「鉄道業界の動向とカラクリがよくわかる本」・講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明		
2回	講師JR九州での経験①	工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで		
3回	講師JR九州での経験②	本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師		
4回	就職活動の流れ	就職室の利用方法 IBCでの就職活動ルール		
5回	自己分析①	自分自身をどれだけわかっているか 自分のライフスタイルを振り返り、将来の夢や目標を明確にする 自己分析の意義を知り、過去・現在の自分を振り返り起こしながら自分史を作成する		
6回	自己分析②	自分史、自己分析シートから、自分自身の強み・弱みを明確にする		
7回	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する		
8回	自己分析③	自己分析まとめ		
9回	自己PR作成①	自己分析、他己分析からPRできるものをピックアップして、肉付けする 企業でどう活かすのかを考え文章にする		
10回	自己PR作成②	300字以内で書いてみよう 自分自身の強み、長所短所について		
11回	職種研究 乗務員 (運転士・車掌)	運転士・車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる		
12回	職種研究 (駅員・パーサー)	駅員・パーサーの仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる		
13回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)	個人別志望動機を自己分析から抽出する 鉄道業界の求める人物像と自分の強みをどのように関連付けて表現するか 志望と根拠の確認		
14回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)	300字以内で書いてみよう		
15回	前期の振り返り	自分自身をどれだけ分析できたかを確認する これまでのまとめ		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	就職筆記試験対策 I			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	□ 検定なし			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ガイダンス四則計算	SPI非言語は(株)リクルートキャリア社が作成している能力検査試験です。従来的一般常識試験と何が違うの？何が狙いなの？講義で詳しく説明していきます。初回は、加減乗除と分数少数の考え方を確認していきましょう。専門学校の学生や大学生にとってSPI攻略のキモはこの非言語分野にあると思います。数学＝計算ではありません。計算なら電卓で済むことです。数学は論理と推理の学問です。論理を組み立て、そこから正解にたどり着いたときのうれしさは数学ならではのものです。できるだけわかりやすく、たのしい講義にしていきます。		
2回	鶴亀算	基本的には連立方程式を立てて解きます。鶴亀算は約1300年前の奈良時代に中国から伝わったもので和算の一つ。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀を合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹？連立方程式の解 ①式 $x+y=20$ ②式 $2x+4y=70$ ③式 $y=20-x$ を②式に代入④ $2x+4(20-x)=70$ ⑤ $-2x=-10$ ⑥ $x=5$ 鶴亀算はこうにして解きません。最近ではテストセンター試験でも鶴亀算が可能な条件も出題されています。		
3回	旅人算①	鉄道会社好みの問題・小学生の半分は理解できていないと言われている。その結果中学生の何割かも理解できていないのでは？ 速さ・距離・時間を求める公式距離＝速さ(時速・分速・秒速)×時間(時・分・秒)追いかかけ算(分速の遅いAが先に出発したx分後分速の早いBが出発した時、何分後何mの地点で追いつく？		
4回	旅人算②	鉄道会社好みの問題・有名な列車通過算・列車がある鉄橋に差し掛かってから完全に通過するまでの時間(時速80km長さ45mの普通列車と時速125km長さ100mの特急つばめ号が出会ってすれ違うまで何秒？)この特急つばめ号が長さ900mの鉄橋を完全に通過するのに何秒？キモは、時速を秒速に変換し、列車の長さに鉄橋の長さを加えたものが距離。列車の最後尾が完全に鉄橋を渡りきるには鉄橋の長さが加えられるから。		
5回	年齢算	年齢算の考え 方程式を用いないで解く・年齢算の本質は差一定算 現在父の年齢39歳、子Aの年齢12歳、年齢差27歳は何年後でも、ひろくとも、縮まることもない、常に一定・父の年齢が子Aの年齢の3倍になるのは何年後？子Bが現在9歳ならA+Bの年齢が父の年齢と同じになるのは何年後？もちろん方程式を用いても全く問題ありません。大切なことは短時間で正解を導くことです。		
6回	流水算	流水算 旅人算の応用問題です。ある川を航行する船の下り上りの速度と時間 流水の速度を求める(ある川を船が下りは時速9km上りは時速7.6kmで航行する場合？この川の流れの速さ=(下りの船の速さ-上りの船の速さ)÷2 この船の静水時の速さこの船の静水時の航行速度=(下りの船の速さ+上りの船の速さ)÷2		
7回	食塩水の濃度①	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率2トップのうちの一つです。毎年鉄道会社に限らず航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているため、出題頻度が高いのだと思います。①食塩水Aに水または、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%？②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%？		
8回	食塩水の濃度②	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率2トップのうちの一つです。毎年鉄道会社に限らず航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。③食塩水Aに食塩を混ぜて濃度が、より濃い食塩水Bにするには食塩は何g必要？④食塩水A(濃度17%重さ250g)を煮詰めて200gにした時の食塩量と水の重さ？		
9回	玉手箱 SCOA	(38-□)÷7=5 □÷4=20+30 36÷2=□÷3 410+□=740-(400-130) □÷3+7=21、この一次方程式の問題は制限時間7～8分で、問題数は50問 合格ライン40点以上 1問7秒で正解しないと不合格 時間との戦いで、すべての受験生が、時間が足りなかった、難しかったと報告しています。この問題はSPI・SCOA・玉手箱共通の問題です。		
10回	仕事算①	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量=1÷かかった日数(時数分秒数) Aが鉄道会社のある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1		
11回	仕事算②	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか？ ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する？など		
12回	SCOA対策	SCOAの特色は数列問題が必ず出題される点。等差数列と等比数列 規則性を伴った数字の一部が空白になっている問題 規則性を見つける 割合と比の問題 ルート計算 他		
13回	損益算①	損益算は普通高校卒業の学生にとっては馴染みが薄く、難しく感じられますが基本からじっくり学習していきます。利益 利益率 割引率 割引額 原価(仕入れ値) 定価 売価などの言葉は、商業高校を卒業した学生には、なじみがあり、難しく感じられません。一次方程式を使って問題を処理していきますが、損益算の公式を知らなければ、方程式を立てることができません。普通高校を卒業した学生にとっては言葉の意味から理解していかなければなりません。しかしこの分野も超頻出分野です。得意科目になるよう一緒に頑張りましょう。		
14回	損益算②	損益算の応用問題SPI WEBSPI SCOAなどの問題の他鉄道会社の採用試験過去問題を解くことで本試験の傾向を知ることができます。SPIテストセンター・WEBテストの問題		
15回	推論分野①	1年前期の分野(鶴亀・追いかかけ算・出会い算・数列・食塩水の濃度・仕事算・損益算他)の総復習 1年後期はSPI非言語の最重要分野・推論がメインになります。		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	就職筆記試験対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	「 検定あり 鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。JR九州、JR九州みどりの窓口JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った講義なので出題傾向とレベルを知ることができます。各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も解いていきます。鉄道会社が採用している試験形式は、SCOAと言われれています。最近では、テスト会場、学校、自宅などで自分の都合の良い時間帯に受験(能力検査試験を受けるので、受験。受験ではありません)可能なSPIのWEBテストと玉手箱が目立ちます。国語分野では従来の漢字四字熟語から、漢字の構成、適語補充など、理解を問う問題が増加しています。SCOAは一般常識として社会と理科が出題されるので11回日から14回目で講義します。夢の実現のため、全力でサポートしていきます。			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	国語分野①	SPI SCOA 玉手箱における国語分野の最新傾向 二語の関係 この問題はSPI独特の問題 慣れると簡単 ① 類似語の関係(熟読・精読・通読 啓発・啓蒙・開発 歴然・当然・泰然 性急・短慮・緊急・短期) 反対の関係(理論・実践・実技・挫折・努力・貫徹 多弁・能弁・寡黙)		
2回	国語分野②	二語の関係② 包含関係(名古屋・日本、化粧品・口紅、塩・調味料、枕・寝具、バレエ・舞踊、暖房器具・ストーブ) 原料製品関係(米・せんべい、コート・毛皮、陶器・粘土、セメント・石灰、ハム・肉、青カビ・ペニシリン、豆腐・大豆)		
3回	国語分野③	プリントA 俳句 和歌 短歌 体の一部・動植物をつかったことわざ 有名な一節で始まる文学作品歴史書(春はあけぼの、いずれの御時にか ゆく川の流れば絶えずして 月は百代の過客にして)		
4回	国語分野④	プリントB 難しい漢字(植物 動物 あじさい くるみ やし さざんか) 間違いやすい漢字の意味、読み方、書き方(やぶさかでない ぞつとしない 気が置けない等)		
5回	国語分野⑤	Aプリント四字熟語①あ行～か行(合縁奇縁、曖昧模糊、悪逆無道、悪戦苦闘、阿鼻叫喚、曖昧模糊、暗中摸索 い・(唯々諾々、意気消沈、意気揚々、異口同音、以心伝心、意気揚々、一日千秋、一汁一菜、一陽來復、一騎当千)		
6回	国語分野⑥	Aプリント四字熟語②あ行～か行(右顧左眄、有象無象、紆余曲折) え・(榮枯盛衰、会者定離、遠交近攻、お・(岡目八目、温故知新)か・(偕老同穴、隔靴搔痒、画竜点睛、夏炉冬扇、汗牛充棟、換骨奪胎、閑話休題)		
7回	国語分野⑦	Aプリント四字熟語③か行～な行(氣宇壮大、危機一髪、疑心暗鬼、喜怒哀楽、仰天動地、興味津津、虚々実々、玉石混交、曲学阿世、毀譽褒貶、金科玉条、狂喜乱舞、虚心坦懐、行住坐臥、喜色満面、欣喜雀躍) く・(空前絶後、空即是色、群雄割拠)		
8回	国語分野⑧ WEB 玉手箱	文章の並び替え 空欄に適語を選択して補充 長文・中文の文章を読んで、選択肢中から正しいもの1個選択する問題 SCOAの国語は四字熟語対義語など比較的簡単 玉手箱GAB・CABの場合ほとんどが長文で 3または4個の選択肢から選択 質問の仕方に慣れる必要がある。A 明らかに正しい B 明らかに間違い C 問題文から正しいとも間違っているとも断定できない 難しいのはこのCの選択肢		
9回	国語分野⑨ WEB 玉手箱	文章の並び替え 空欄に適語を選択して補充 長文・中文の文章を読んで、選択肢中から正しいもの1個選択する問題 SCOAの国語は四字熟語対義語など比較的簡単 玉手箱GAB・CABの場合ほとんどが長文で 3または4個の選択肢から選択 質問の仕方に慣れる必要がある。A 明らかに正しい B 明らかに間違い C 問題文から正しいとも間違っているとも断定できない 難しいのはこのCの選択肢		
10回	国語分野⑩国文法	最近の傾向 文法格助詞(で・に・が・の・は他) 助動詞れる・られる そうだの意味の違いを選択させる問題(例で 原因 材料 限界 一緒 場所) 説明文や語句意味から当てはまる熟語を選択する問題(働かないで遊び暮らす=徒食 ゆらゆら揺れ動く=たゆたう はっきり見てとれる=歴々 のんびりして静かなさま=安閑 など)		
11回	社会 政治①	民主主義 直接民主主義と間接(代表)民主主義 議院内閣制と大統領制 日本国憲法の基本原理 国民主権 平和主義 人権尊重 三権分立の意味 天皇制(生前退位 元号 天皇のお仕事)		
12回	社会 政治②	人権の体系 人権の種類① 自由権 精神(信教・表現・思想)経済(職業選択・ 居住移転・財産権)身体(令状なき家宅 搜索押収逮捕の禁止) 成人と未成年者の人権		
13回	社会 政治③	人権の体系 人権の種類② 社会権(生存権・教育権・労働基本権) 新しい人権(環境権・プライバシー権ほか) 国会の仕事(立法権・総理大臣指名権・予算条約承認権 立法権 司法権 行政権の意味 Jロックの二権分立とモンテスキューの三権分立の意味とその目的 内閣の仕事		
14回	社会 政治④	東京都営地下鉄、福岡市鹿児島市熊本市の交通局の採用試験問題(政治分野の過去問) 外国人の意味・外国人に認められる人権 参政権の問題		
15回	国語・社会分野の総まとめ	国語分野 二語の関係性(原因・結果 材料・製品 手段・目的など) 重要四字熟語 文法 JR各社 南国交通の採用試験過去問(同音異義語 難読漢字の読み) 社会分野 JR各社の社会分野の過去問 人権の区分 労働三権 国民の三大義務 労働三法		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道	科	M	クラス
科目名	交通論					
担当講師(フルネーム)	西政明(マック24)					
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 交通の基礎理論、知識を習得するとともに、交通業界、特に鉄道事業を中心とした業界の運営状況、経営課題等を認識し鉄道従事員となるための基本的資質の育成・向上を図る					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					
	・平常点 20% ・期末試験 80%					
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択				
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・シラバス、授業の進め方等の説明 ・交通論の意義、目的を学ぶ ・交通用語の基本を学ぶ ・交通トピックス解説				
2回	交通の基礎理論	・交通の定義、意義(役割)を学ぶ ・交通サービスの概念と即時性及び生産要素を学ぶ ・交通トピックス解説				
3回	"	・交通サービス商品と交通資本を学ぶ ・交通と経済を学ぶ ・交通トピックス解説				
4回	交通のビジネスモデル	・機関別のビジネスモデルと企業文化及び戦略を学ぶ ・交通トピックス解説				
5回	交通政策史	・鉄道関連政策史を学ぶ ・交通トピックス解説				
6回	"	・交通市場の変容と交通政策を学ぶ ・交通トピックス解説				
7回	鉄道の概要	・鉄道の長所・短所を学ぶ ・鉄道の歴史を学ぶ ・日本の鉄道の特徴を学ぶ ・交通トピックス解説				
8回	"	・日本の鉄道史を学ぶ ・旅客輸送の機関別シェアの推移と現状を学ぶ ・交通トピックス解説				
9回	"	・都市鉄道と経営戦略を学ぶ ・交通トピックス解説				
10回	"	・地方鉄道と経営危機を学ぶ ・交通トピックス解説				
11回	"	・都市型交通システム(地下鉄、モノレール、新交通)を学ぶ ・交通トピックス解説				
12回	"	・都市型交通システム(路面電車、他)を学ぶ ・交通トピックス解説				
13回	"	・観光鉄道と鉄道関連ビジネスの現状と戦略を学ぶ ・交通トピックス解説				
14回	九州の鉄道	・九州の鉄道の現状と課題を学ぶ ・交通トピックス解説				
15回	まとめ	・前期の振り返りと要点整理 ・期末試験対策				

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	旅行業法			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格			
使用テキスト	旅行業実務1(旅行業法)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	・「旅行管理者試験」概要 ・旅行業法とは	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・国家試験の概要、学習方法 ・旅行業法の条文の見方		
2回	第1章 総則	・旅行業の3つの収入 ・旅行業法の目的と定義(第1条～第2条)		
3回	第1章 総則	・旅行業の定義(代理、媒介、取次、利用) ・旅行業と旅行業者代理業 ・旅行の形態		
4回	第2章 旅行業等(1)	・登録制度、旅行業の種類と業務の範囲(第3条～第5条) ・旅行業法施行規則(第1条～第4条)		
5回	第2章 旅行業等(2)	・登録拒否(第6条) ・有効期間、更新、変更(第6条2～4) ・旅行業法施行規則(第4条～第5条)		
6回	小テスト・解説			
7回	営業保証金制度(1)	・営業保証金の供託と供託額(第7条～第8条)		
8回	営業保証金制度(2)	・営業保証金の追加供託、取戻し、保管替え等(第9条) ・取引額の報告(第10条)		
9回	旅行業務取扱管理者	・旅程管理(第12条の10～第12条の11) ・取扱管理者の選任、証明書の提示等(第11条～第12条の5の2) ・取扱管理者の職務(施行規則10条)		
10回	取扱料金、旅行業約款	・取扱料金の揭示(第12条) ・旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款(第12条の3)、施行規則 ・標識の揭示(第12条の9)		
11回	取引条件の説明、 書面の交付	・取引条件の説明、書面の交付(第12条の4～第12条の5) (共同規則8条～9条)		
12回	小テスト・解説			
13回	広告、禁止行為	・受託契約(第14条の2) ・外務員証の携帯(第12条の6) ・企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8)、(共同規則12条～14条) ・禁止行為、名義利用の禁止(第13条～第14条)、施行規則		
14回	旅行業協会制度	・旅行業協会の法定業務 ・弁済業務保証金制度(第22条の2～第22条の16)		
15回	まとめ、問題			

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	約款			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格			
使用テキスト	旅行業実務2(約款)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	約款とは	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・約款とは、標準旅行業約款とは ・旅行契約の種類 ・国内管理者と総合管理者の出題範囲		
2回	募集型企画旅行(1)	・総則(定義、契約の内容) ・手配代行者 ・契約の締結		
3回	募集型企画旅行(2)	・契約の変更		
4回	募集型企画旅行(3)	・契約の解除		
5回	募集型企画旅行(4)	・団体、グループ契約 ・旅程管理 ・責任		
6回	募集型企画旅行(5) 小テスト・解説	・旅程保証、変更補償金 ・小テスト		
7回	特別補償規程(1)	・補償金等の支払い(責任、定義) ・補償金等を支払わない場合 ・補償金等の種類及び支払額		
8回	特別補償規程(2)	・補償金等(身体の傷害)と損害補償金(携帯品)の相違点 ・携帯品損害補償金の支払い		
9回	受注型企画旅行	・募集型企画旅行契約との相違点 ・総則(定義、契約の内容) ・手配代行者 ・契約の締結 ・契約の変更 ・契約の解除		
10回	手配旅行	・企画旅行契約との相違点 ・総則 ・契約の成立 ・契約の変更及び解除 ・旅行代金 ・団体、グループ手配 ・責任		
11回	旅行相談契約 渡航手続き代行契約	・契約の内容 ・責任		
12回	小テスト・解説			
13回	モデル宿泊約款 国内航空運送約款	・モデル宿泊約款 ・国内航空運送約款		
14回	貸切バス約款 フェリー約款	・貸切バス約款 ・フェリー約款		
15回	JR営業規則	・JR営業規則		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M	クラス
科目名	国内運賃料金				
担当講師(フルネーム)	宮原英利				
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり ・この科目は国家試験科目である「国内旅行実務」のうちの運賃・料金の知識を習得する。 ・毎年9月上旬に実施される「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格を目指す。				
使用テキスト	・旅行業実務シリーズ:国内運賃・料金(JTB総合研究所)				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・定期試験80%、平常点 20%(特に授業への取り組み姿勢を評価します)				
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択			
	テーマ	授業内容			
1回	旅客営業規則	運賃と料金の違い/JR6社/乗車券の種類、発売日、有効期間などの学習			
2回	JR運賃計算の基本(1回目)	「幹線」「地方交通線」、各種運賃表、運賃計算の手順などの学習			
3回	JR運賃計算の基本(2回目)	本州3社とJR3島(北海道・四国・九州)にまたがる場合の運賃計算			
4回	JR料金の基本(1回目)	料金計算			
5回	JR料金の基本(2回目)	練習問題(運賃計算、料金計算)			
6回	新幹線(1回目)	新幹線の路線網/新幹線の料金計算			
7回	新幹線(2回目)	新幹線の特例/練習問題			
8回	乗継割引	乗継割引の条件/練習問題			
9回	JR割引運賃・団体旅客の取り扱い	各種割引の条件と割引率/団体割引の計算手順			
10回	JR団体運賃・料金	団体乗車券の取り扱い			
11回	JR運賃計算の特例(1回目)	特定都区市内/区間外乗車・大都市近郊区間			
12回	JR運賃計算の特例(2回目)	特定区間、別の経路として取り扱う新幹線と在来線			
13回	航空航空運賃規則	航空券の購入(決済)期限、変更・取り消し・払い戻し等			
14回	貸し切りバス運賃・料金/フェリー運賃料金/宿泊料金(1回目)	各運賃・料金の規則、及び取消、払い戻し等			
15回	貸し切りバス運賃・料金/フェリー運賃料金/宿泊料金(2回目)	各運賃・料金の規則、及び取消、払い戻し等 まとめ			



対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道概論			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 鉄道運行を安全に維持するための必要条件を学ぶ 鉄道業界の保安システムの概要と役割を学ぶ 鉄道業界の車両及び九州の私鉄を学ぶ			
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施(コンピュータなど、オーラル)・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道輸送を安全に運行するために必要条件を学び「安全」に対する意識を高める		
2回	鉄道①	1.軌道の概要を学び列車運行に対する安全対策を学ぶ 2.軌道の種類と使用目的の概要を知る 3.軌道設備の概要を知る		
3回	鉄道②	1.レールの製造から設置までの説明 2.レール輸送の概要説明 3.レールの種類と使用概要を知り、鉄道輸送に対する安全性を知る		
4回	保安装置①	1.鉄道重大事故から学ぶ安全に対する取り組みを学ぶ 2.ATSの概要を学び、鉄道運行の維持に対する各社の取り組みを理解する 3.ATSの種類を学び、各種の役割と特徴を理解する		
5回	保安装置②	1.ATC及びATOの概要を行い、鉄道運行に対する役割と特徴を学ぶ 2.ATSの取り扱いと踏切関係に及ぼす安全性能を学ぶ 3.踏切保安装置の概要説明を行い、鉄道運行に対する役割を学ぶ		
6回	鉄道用語①	1.鉄道業界に必要な用語を学び、業界の特徴を学ぶ 2.各用語の説明により、鉄道業界の仕組みを深く学ぶ		
7回	鉄道用語②	1.鉄道業界に必要な用語を学び、業界の特徴を学ぶ 2.各用語の説明により、鉄道業界の仕組みを深く学ぶ 3.異常時に使用する各業務用語を学び、運行に関わる知識を得る		
8回	鉄道車両紹介	1.鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・車両接触限界・車両建築限界の把握をする		
9回	九州の私鉄①	1.九州の私鉄概要 ・私鉄企業を知ることにより、九州内の鉄道知識を高める 2.習熟度確認により各自の授業に対する理解度を知る		
10回	内燃機関の特性	1.2サイクル機関と4サイクル機関の違いを学ぶ 2.内燃機関の行程を学びエンジンの仕組みを知る 3.圧縮比と熱効率の説明		
11回	運転理論①	1.けん引き定数を知り、列車運転に対する定義を学ぶ 2.車種別によるけん引き定数の表し方を知る 3.気動車のけん引き定数の表記方に対する注意点を学ぶ		
12回	運転理論②	1.運転速度の定義を学ぶ ・均衡速度・表定速度・平均速度・計画速度・進入速度・進出速度・通過速度・実測速度 ・観測速度・推定速度・許容速度を学ぶ		
13回	運転理論③	1.速度種別の概要を学ぶ 2.速度名称を学び、各車両の特性を知る 3.速度記号による列車の区別方法を知る		
14回	運転理論④	1.列車の運転線図を学ぶ ・計画運転線図・指導運転線図・実際運転線図・簡易運転線図の特徴を学ぶ ・運転線図の作成を行い、運転に対する計算を行う		
15回	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.前期授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道実務			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	□ 検定あり 鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施(コンピュータなど、オーラル)・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	鉄道用語説明	1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方説明) 3.防救連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ		
2回	異常時	1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役割設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける		
3回	列車遅延	1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う		
4回	車両故障①	1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける		
5回	車両故障②	1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける		
6回	保安装置故障①	1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする		
7回	保安装置故障②	1.各職種の対応方(転てつ器及びATS) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う		
8回	急病人対応	1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2.習熟度確認		
9回	踏切及び人身事故①	1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける		
10回	踏切及び人身事故②	1.鉄道障害事故時の現場責任者の取扱を学ぶ ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2.人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施		
11回	異常時対応全般説明	1.異常事対応能力確認 ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める		
12回	異常時発生時の車両運用手配	1.車両運用の条件を学び運行にあった車両手配を学ぶ 2.運用変更手配表の説明 3.運用手配表に沿った車両運用手配を行う		
13回	異常時発生時の乗務員運用手配	1.乗務員運用の条件を学び迅速な運用手配を学ぶ 2.運用変更手配表の説明 3.運用手配表に沿った乗務員運用手配を行う		
14回	運用手配の活用	1.車両運用と乗務員運用を条件に合わせて手配する 2.車両運用に沿った乗務員運用の染め込み 3.習熟度確認		
15回	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.前期授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	N クラス
科目名	鉄道業界研究			
担当講師(フルネーム)	三石佳代子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かす。 志望企業の企業理念・財務諸表を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。			
使用テキスト	・講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 地方鉄道・第3セクター情報		
2回	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、 面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど		
3回	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、 面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など		
4回	鉄道業界最新事情③	鉄道業界の最新のトピックスを知り、 面接での応答内容に旬の話題を活かす 鉄道会社アプリ、鉄道会社が持つ旅行会社		
5回	地方鉄道研究	地方鉄道の取り組みを学び、 面接での応答内容に旬の話題を活かす		
6回	座右の銘	鉄道業界で好まれる座右の銘を学ぶ		
7回	鉄道会社の財務諸表・IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する 小テスト2		
8回	鉄道会社の企業理念・CSRを学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に反映させる		
9回	先輩の声(運転士・車掌)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究		
10回	先輩の声(駅員)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究		
11回	鉄道業界の価値観	キャリアアンカーを学び、自身の価値観と 志望企業の企業理念がマッチしているか確認する		
12回	鉄道業界の安全対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする		
13回	グループディスカッション事例研究	実際にあつたお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする		
14回	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもたらす影響を知り、 鉄道員として取組むことを学ぶ		
15回	前期のまとめ	前期のまとめ テスト対策		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	N クラス
科目名	プレゼンテーション			
担当講師(フルネーム)	小川智子			
到達目標	「検定あり」 一定の時間に、限られた内容について効果的に伝え、聞き手に望む行動を起こしてもらえるようなプレゼンテーション能力を身に付け、就職活動や社会生活に活かすことができる。			
使用テキスト	説明・提案・説得のワーク：プレゼンテーションの基礎			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 発表の内容と授業態度 … 50% 提出物による評価 … 50% ※テキストチェックを含む			
期末試験	✕			
	テーマ	授業内容		
1回	プレゼンテーションとは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業オリエンテーション</li> <li>・印象に残る自己紹介</li> <li>・プレゼンテーションとは何か</li> </ul>		
2回	プレゼンテーションの特性①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての話し方、聞き方</li> <li>・時間管理</li> </ul>		
3回	プレゼンテーションの特性②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相手」との対話性 (話の所要時間と理解の関係)</li> <li>・30秒自己紹介原稿を作成する</li> </ul>		
4回	「自分」と「相手」を知る①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緊張すること」とは (緊張克服法とは)</li> </ul>		
5回	「自分」と「相手」を知る②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分」を明確にする</li> <li>・意識を「自分」ではなく「相手」に向ける</li> <li>・「相手」を分析する</li> </ul>		
6回	「自分」と「相手」を知る③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手による伝え方の違い (様々な「相手」に鉄道の魅力を伝える)</li> </ul>		
7回	目的(テーマ)を明確にする①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を伝え、何を理解してほしいのか</li> <li>・目的にはどのようなものがあるかー目的達成までのプロセス</li> </ul>		
8回	目的(テーマ)を明確にする②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークと発表 (学科の特徴を高校生に伝えることを目的としたプレゼンテーション)</li> </ul>		
9回	目的(テーマ)を明確にする③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表と振り返り</li> </ul>		
10回	プレゼンテーションのための情報収集①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ情報が大切か</li> <li>・信頼性の高い事実や具体例を集める</li> </ul>		
11回	プレゼンテーションのための情報収集②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集のワークと発表準備</li> </ul>		
12回	プレゼンテーションのための情報収集③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表と振り返り</li> </ul>		
13回	シナリオを作成する①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションのシナリオとは何か</li> <li>・シナリオ作成で押さえておきたいポイント</li> <li>・シナリオを作成する方法</li> </ul>		
14回	シナリオを作成する②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの時間配分</li> <li>・シナリオ作成のワークと発表準備</li> </ul>		
15回	シナリオを作成する③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表と振り返り</li> </ul>		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	N①②クラス
科目名	就職筆記対策			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 鉄道会社の就職試験(能力検査試験)に合格するために必要な学力・能力を修得することが出来ます。鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った講義なので出題傾向とレベルを知ることができます。2年次ではSPI・3 SCOA 玉手箱の国語の問題を講義していきます。最近では鉄道会社でもWEBテストという報告を学生から聞いているので、WEBテスト対策の講義も行います。基本的には国語・日本語の文章ですが、長文・中文など比較的長い文章が多く文章の並び換え問題、適語補充 要旨を問う問題など、単に漢字の読み書き・ことわざなどを知っているだけでは解けない問題が多く、理解を問う傾向にあります。			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	SPI 構造的把握力検査 テストセンター	SPI・3最新傾向の言語分野 文章構造の同じも文章を5つの文章から2対3に分ける問題 文章の構造という意味が慣れないと難しい		
2回	国語 SCOA GAB CAB	総合問題(SCOA GAB CABの長文問題 説問の要旨と異なるもの 説問から断定できないもの 設問の文章を並び替えた場合最初から2番目にくるものなど) 英語の出題傾向(英検準2級の反意語・同意語・イディオムからの出題が目立つ)		
3回	国語 SCOA GAB CAB	総合問題(SCOA GAB CABの長文問題 説問の要旨と異なるもの 説問から断定できないもの 断定できるもの 明らかに誤り 断定できない 選択肢は3個) 設問の文章の並び替え問題		
4回	国語 SCOA GAB CAB	総合問題(SCOA GAB CABの長文問題 説問の要旨と異なるもの 説問から断定できないもの(断定できるもの 明らかに誤り 断定できない 選択肢は4個) 設問の文章の並び替え問題		
5回	国語 SCOA GAB CAB	総合問題 間違いやすい漢字表記 厚生構成校正後世 快方解放介抱 移動異動 保障保証補償 清算生産精算凄惨 対象対照対称 年齢の漢字表記20歳40歳50歳60歳61歳70歳77歳88歳99歳・四字熟語 ことわざなどこの種の問題は受検者(受験ではなく検査を受けるので受検)のほとんどができるので絶対に落とせません。		
6回	国語 SCOA GAB CAB	総合問題 反対語 加盟・勤勉・収入・権利・不足・必然・実践など 同義語 ことわざ・身体の一部、動物、植物を使ったもの SPI WEB国語二語の関係 目的・手段 原因・結果 原料と製品 SCOA対策 文章並び替え問題		
7回	国語 SCOA GAB CAB	総合問題(四字熟語 暗中模索・軽挙妄動・南船北馬・朝三暮四・夏炉冬扇 ことわざ) SPI・SCOA対策長文の要旨と接続詞 文章の並び替え 難解な漢字の読み方(素性・権化・欠伸・雪崩・時雨・稀有・彷彿・健気など)		
8回	SPIテストセンター国語	文章の並び替え問題が非常に多く出題される 日ごろから文章を読む癖をつけることが大切 中文短文の文章の一部が空欄になっていて、その空欄に5個の選択肢の中から1つを選択肢の問題が多い		
9回	SPIテストセンター国語	文章の並び替え問題が非常に多く出題される 日ごろから文章を読む癖をつけることが大切 中文短文の文章の一部が空欄になっていて、その空欄に5個の選択肢の中から2つを選択肢の問題が多い		
10回	SPIテストセンター国語	文章の並び替え問題が非常に多く出題される 日ごろから文章を読む癖をつけることが大切 中文短文の文章の一部が空欄になっていて、その空欄に5個の選択肢の中から3つを選択肢の問題が多い		
11回	SCOA GAB CAB 国語 文章理解	文章理解 SCOAの文章は比較的長い 問題を読むだけで、タイムオーバーとなる。SCOAの国語 文章理解は公務員試験と非常に似ている。選択肢が1～5まで5個ある点も同じ。公務員採用試験のテクニックを使い、問題の本文を読む前に、設問と選択肢を読む。何を聞いている問題か? 筆者が言いたいことは何かを意識して読むと、解答となる選択肢が2～3個に絞られる。あとは選択肢同士を、比較して解答と思われる選択肢を特定していく作業をする。		
12回	SCOA GAB CAB 国語読み方と語彙	SCOAはSPIと比較してすべての問題数が少ない。したがって予想と対策が立てやすい。例えば、語句の場合、南風 独楽 頼母子 貪欲 些事 凋落 昔日 白眉 廣作 語彙の場合 学問技術で難解なこと 自分の身分資格を超えて出過ぎたことをすること 道理に反したこと することがなく暇であること、物事に感動して共鳴することなど先に日本語説明があってこれにふさわしい漢字2語を選択肢の問題が新傾向。		
13回	SCOA一般常識社会 ①	SCOAの社会は問題数が少ないので同じ問題が出題される確率は極めて高い。政治経済 日本史世界史 世界地理(過去日本地理からの出題は少ない)政治経済(国会の会期と種類 社会権に属する人権 税の種類 社会保障のシステム 需要曲線 インフレなど) 時事(メルトダウン ヒートアイランド ラニーニャ エルニーニョ PHV自動車 燃料電池車 ハイブリッド車)高齢社会を見据えて日本の社会保障の分野は最重要事項		
14回	SCOA一般常識社会 ②	SCOAの社会は問題数が少ないので同じ問題が出題される確率は極めて高い。日本史世界史(江戸の三大改革 明治大正時代の政治家 三和歌集 中国史) 地理(地図の種類 世界の気候区 生産高世界1シリーズ とうもろこし・ポーキサイト ダイヤモンド)		
15回	SCOA一般常識理科③	SCOAの理科は問題数が少ないので同じ問題が出題される確率は極めて高い。化学(気体の性質 原資と分子 酸とアルカリ 酸化と還元) 生物(赤血球とヘモグロビン 光合成 メンデルの法則 脳の各部) 物理地学(地震波 岩石 光と音 気圧 電気抵抗 電圧 電流)		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	N①② クラス
科目名	就職活動講座(面接対策)			
担当講師(フルネーム)	三石佳代子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した面接力を養成する。 鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から内定を得ることを目標とする。			
使用テキスト	・「SUCCESS 勝つための就職ガイド」・就職ノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り、前期説明 前期説明、求人情報 一般常識、就活マナーテスト		
2回	受験対策	実習経験を活かした志望動機や自己PRの作り方 文章作成の基本(三段構成法、PREP法など)		
3回	受験対策	最終模擬面接の振り返り 適性検査、一般常識、小論文とは		
4回	集団面接	過去の試験に使用された質問内容による 実技 集団面接4～5名		
5回	集団面接	過去の試験に使用された質問内容による 実技 集団面接4～5名		
6回	集団面接	過去の試験に使用された質問内容による 実技 集団面接4～5名		
7回	集団討議	過去の試験に使用された質問内容による 実技 グループディスカッション		
8回	集団討議	過去の試験に使用された質問内容による 実技 グループディスカッション		
9回	期中評価①	実技試験		
10回	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する		
11回	集団面接	過去の試験に使用された質問内容による 実技 集団面接4～5名		
12回	集団面接	過去の試験に使用された質問内容による 実技 集団面接4～5名		
13回	集団面接	過去の試験に使用された質問内容による 実技 集団面接4～5名		
14回	期中評価②	実技試験		
15回	まとめ	就職活動全般の振り返り 社会人としての心構え		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	ペン字			
担当講師(フルネーム)	安藤清子			
到達目標 <input type="checkbox"/> 検定あり 配字・書式を考えながら読みやすい履歴書を書く 書写検定の問題をテーマに書式の基本を学ぶ(検定6月実施)				
使用 テキスト 書写検定3級テキスト(5/10より持参のこと)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・小テスト				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	履歴書を書く①	履歴書～配字とバランスを考える(名前・住所・学歴・職歴・資格等)(1)		部首①
2回	履歴書を書く②	履歴書～配字とバランスを考える(名前・住所・学歴・職歴・資格等) まとめ 提出(2)		部首②
3回	履歴書を書く③	履歴書～配字とバランスを考える(志望動機・自己PR等) (1)		部首③
4回	履歴書を書く④	履歴書～配字とバランスを考える(志望動機・自己PR等) まとめ 提出(2)		部首②
5回	書写検定をテーマに基本の書式を学ぶ①	横書き(問1、問4)の書き方		筆順①
6回	書写検定をテーマに基本の書式を学ぶ②	縦書きマス・行(問2、問3)の書き方		筆順②
7回	書写検定をテーマに基本の書式を学ぶ③	縦書きマス・行(問2、問3)の書き方～楷書と行書の比較と特徴		草書の読み①
8回	書写検定をテーマに基本の書式を学ぶ④	はがきの表書き(問5)		草書の読み②
9回	書写検定をテーマに基本の書式を学ぶ⑤	ポスターの書き方		常用漢字①
10回	書写検定をテーマに基本の書式を学ぶ⑥	まとめ 小テスト(問1～問6)		常用漢字②
11回	実用書を書く①	はがきの書き方(復習)～色々な書き方～		
12回	実用書を書く②	封筒の書き方(個人・企業)		
13回	実用書を書く③	A4封筒の書き方		
14回	実用書を書く④	お礼状の書き方		
15回	実用書を書く⑤	まとめ はがき・封筒(長・A4)の復習と確認		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	N クラス
科目名	JR運賃・料金			
担当講師(フルネーム)	宮原英利			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国家試験受験科目である国内旅行実務のうち、JRの運賃・料金の知識を習得し国家試験合格を目指す。			
使用テキスト	旅行業実務シリーズ「国内運賃・料金」JTB総合研究所			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・定期試験80%、平常点 20%(特に授業への取り組み姿勢を評価します)			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	旅客営業規則	運賃と料金の違い/JR6社/乗車券の種類、発売日、有効期間などの学習		
2回	JR運賃計算の基本(1回目)	「幹線」「地方交通線」、各種運賃表、運賃計算の手順などの学習		
3回	JR運賃計算の基本(2回目)	本州3社とJR3島(北海道・四国・九州)にまたがる場合の運賃計算		
4回	JR料金の基本(1回目)	料金計算		
5回	JR料金の基本(2回目)	練習問題(運賃計算、料金計算)		
6回	新幹線(1回目)	新幹線の路線網/新幹線の料金計算		
7回	新幹線(2回目)	新幹線の特例/練習問題		
8回	乗継割引	乗継割引の条件/練習問題		
9回	JR割引運賃・団体旅客の取り扱い	各種割引の条件と割引率/団体割引の計算手順		
10回	JR団体運賃・料金	団体乗車券の取り扱い		
11回	JR運賃計算の特例(1回目)	特定都区市内/区間外乗車・大都市近郊区間		
12回	JR運賃計算の特例(2回目)	特定区間、別の経路として取り扱う新幹線と在来線		
13回	JR九州の企画商品	企画商品とは何か、商品が出来るまでを知る。 商品の販売について知る。		
14回	JR西日本の企画商品	JR西日本の企画商品を知る。		
15回	その他のJR各社の商品	その他のJR各社の商品を知る。		



対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道車両I(電車)			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする 鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける			
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施(コンピュータなど、オーラル)・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション (ブレーキ装置の概要)	1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレーキシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ		
2回	鉄道車両ブレーキ装置概要	1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する (常用ブレーキ装置 留置ブレーキ装置 保安ブレーキ装置 その他 ) 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ		
3回	空気ブレーキ方式と 保安ブレーキ	1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.保安ブレーキ装置の意義とブレーキシステムの基礎知識を学ぶ		
4回	ブレーキ力と粘着力	1.鉄道車両のブレーキ力を左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキ力と粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ		
5回	補助電源装置の用途と回路 構成	1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける電 3.高い効率と信頼性を図ったSIV(静止型変換装置)待機系回路構成を学ぶ		
6回	電源回路の方式とその特徴	1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ (独立運転方式 待機二重方式 並列同期運転方式)		
7回	鉄道車両に設置すべき設備 ①	1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS(自動列車停止装置) ATC(自動列車制御装置) ATO(自動列車運転装置)		
8回	鉄道車両に設置すべき設備 ②	1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線 デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ 3. 習熟度確認		
9回	保安装置のシステム	1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける		
10回	運転理論の基礎知識と 計算式の応用	1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗 走行抵抗 空気抵抗 勾配抵抗 曲線抵抗の理論について学ぶ 3.鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける		
11回	電気車の付属装置	1.各機器説明 2.車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ		
12回	車両メンテナンス	1.車両検修内容説明 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ		
13回	車両情報伝送システムと 乗務員支援	1.車両情報伝送システムによる運転支援機能についての仕組みを身につける 2. 車両乗務員(運転士・車掌) への運転支援項目・内容についてを学ぶ 3.運転士用モニター画面 車掌用モニター画面表示の見方について学ぶ		
14回	主要機器・装置の役割と機 能	1.鉄道車両において各装置別の役割・機能について学ぶ (車体・走行装置・集電装置・動力発生装置・動力伝達装置・ブレーキ装置・補助回路装置 ・連結装置・付属装置・運転保安装置)		
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、電車に対する意識を深める		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道	科	N選択	クラス
科目名	鉄道駅実務					
担当講師(フルネーム)	西政明(マック24)					
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 鉄道駅社員としての実務的知識を習得し、社会人・企業人としての基本的な心構えと行動スキル・ノウハウを身につける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%					
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択				
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・前期(2017後期)の振り返り及び授業の進め方等の説明 ・鉄道従事員に関する法令等の概要を知る 交通関連トピックスの解説				
2回	鉄道業務の基礎知識	・鉄道の運営に関する法令等を学ぶ 鉄道事業法、鉄道営業法、軌道法、全国新幹線整備法 ・交通関連トピックスの解説				
3回	"	・鉄道の運営に関する法令等を学ぶ 旅客営業規則 ・交通関連トピックスの解説				
4回	"	・駅社員として働くための基本法令等を学ぶ 日本国憲法、労働基準法 ・交通関連トピックスの解説				
5回	"	・駅社員として働くための基本法令等を学ぶ 男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、個人情報保護法 ・交通関連トピックスの解説				
6回	"	・企業人(駅社員)としての規範を学ぶ CSR、コンプライアンス、メンタルヘルスマネジメント、ワークライフバランス ・交通関連トピックスの解説				
7回	駅社員の接遇	・オリエンテーション(社会的背景と企業の社会的責任とは、マナーとは) ・プロとしての言葉遣い				
8回	"	・自己分析により自己育成を学ぶ(EQ) ・コミュニケーションを意識する(ブラインドワーク) ・人間心理を意識する(OK牧場)				
9回	"	・プロとして信頼される接遇マナーを身につける				
10回	"	・社会人、企業人としてのビジネスマナーを体得する				
11回	"	・接遇のまとめ、要点整理 ・接遇ロールプレイにより、サービスを体現する 来客応対、電話応対				
12回	安全マネジメント	・鉄道会社の安全マネジメントの理念と取組状況を学ぶ ・鉄道関連トピックス解説				
13回	環境マネジメント	・鉄道会社の環境マネジメントの理念と取組状況を学ぶ ・鉄道関連トピックス解説				
14回	社会人・企業人	・社内コミュニケーションを意識し、その基本行動と心構えを学ぶ ・鉄道関連トピックス解説				
15回	まとめ	・前期の振り返りと要点整理 期末試験対策				

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道車両Ⅱ(気動車)			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 気動車のしくみ(電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ) 気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ 電気配線に対する理解力を向上させる			
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施(コンピュータなど、オーラル)・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ		
2回	電気配線図概要	1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ		
3回	主電源	1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ		
4回	エンジン起動回路①	1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位置を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ		
5回	エンジン起動回路②	1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する		
6回	エンジン起動回路③	1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する		
7回	エンジン増速運転	1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(1N～5N) 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する		
8回	逆転機回路①	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(前進) 2.逆転機機能と合わせて学ぶことにより一層の理解を得る		
9回	逆転機回路②	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(後進) 2.習熟度確認(結果によって個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する)		
10回	変速回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ		
11回	変速回路②	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「変」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する		
12回	直結回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ		
13回	直結回路②	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「直」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認及び期末試験対策を行う		
14回	戸ジメ回路	1.戸ジメ回路を学びドア閉扉・開扉時の電気の流れを学ぶ 2.戸ジメ回路と力行回路のつながりを学び安全に対する回路構成を知る 3.戸ジメ機器と各付属品とのつながりを学ぶ		
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、気動車に対する意識を深める		



# エアライン エアポート

\* 共通する科目はエアラインにあります

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	O・Pクラス
科目名	航空業界研究			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 空港ではどのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。 エアポートビジネスが支える航空運送事業について、多くの観点から学習し理解する。			
使用テキスト	エアポート ビジネス入門・必要に応じプリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容、進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージの意見交換を行う		
2回	エアポートビジネスとは	航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ		
3回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃止と規制緩和について学ぶ 航空業界の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ		
4回	航空の歴史	共同運航便(コードシェア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ 燃油特別付加運賃(オイル・サーチャージ)の導入その後の影響について学ぶ		
5回	日本の空港	空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について理解する 空港の基本的な機能及び空港施設・設備及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		
6回	空港業務の概要	空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォワードゲート・通関業者について学ぶ		
7回	航空機の種類	交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ		
8回	航空業界の仕事	JALグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ		
9回	航空業界の仕事	日本における中堅航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本の格安航空会社と日本に就航している格安航空会社について学ぶ		
10回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントについて学ぶ		
11回	航空業界の仕事	運航管理(ディスパッチ)業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グラウンドハンドリング業務)について学ぶ		
12回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 出発時と到着時の旅客送迎サービス業務の要点について理解する		
13回	航空貨物業界の仕事	航空貨物業界の実績推移を把握し航空貨物輸送の特徴を学ぶ 航空貨物の業務について航空貨物業者と航空会社の分担、一般的な流れを学ぶ 航空貨物の搭載方式と荷役機器について、その概要を学ぶ		
14回	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(I・II・III)について学ぶ 搭乗旅客および機内持込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ		
15回	航空業界の動向	航空業界の今後の動向について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	OPクラス
科目名	空港実務			
担当講師(フルネーム)	原田歩			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・国内の空港や航空会社の特徴を理解する ・国内線におけるお客さまの流れを理解する ・国内線の基本的なルールを理解する			
使用テキスト	『ANAグランドスタッフ入門』			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・航空業界にとって最も大事なことを理解する		
2回	日本の空港①	・日本地図をもとに空港の位置を学ぶ ・空港の基礎知識を習得する ・空港の3レターを覚える		
3回	日本の空港②	・日本地図をもとに空港の位置を学ぶ ・空港の基礎知識を習得する ・空港の3レターを覚える		
4回	日本の航空会社①	・日本の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・航空会社の3レター・2レターを覚える		
5回	日本の航空会社②	・日本の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・航空会社の3レター・2レターを覚える		
6回	GSの業務と役割①	・旅客ハンドリング企業を知る ・GSの業務形態を知る ・各空港の特徴を学ぶ		
7回	GSの業務と役割②	・GSの業務内容を学ぶ ・チェックイン業務、アナウンス業務を体験する		
8回	GSの業務と役割③	・GSの役割を理解する ・GSに求められる人材について考える		
9回	時刻表	・時刻表の見方と役割を理解する ・記載されている内容を把握する ・時刻表を使用してロールプレイを行う		
10回	手荷物①	・受託・持込み手荷物のルールを学ぶ ・様々な種類の手荷物タグについて学ぶ ・様々な種類の収納ケースについて学ぶ		
11回	手荷物②	・手荷物タグの取扱い方法を学ぶ ・危険物について学ぶ		
12回	実習報告	・実習生より担当業務について報告を行う		
13回	国内線運賃	・各種運賃とルールを学ぶ ・各社運賃を比較する ・ホームページにて空席照会をする		
14回	国内線航空券	・航空券の見方とルールを学ぶ ・様々な搭乗媒体を知る ・スキップサービスについて理解する		
15回	まとめ	・前期の復習および補足		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科1年	OPクラス
科目名	AXESS			
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国内線空席照会～予約や変更した座席指定の入力に加え、国内運賃全般まで幅広く習得する 以上、授業の中で練習問題を多くこなすことにより入力レベルを上げ、処理能力を高める アクセス検定国内2級(7月実施)の全員合格を目指す			
使用テキスト	JAL国内線予約発券×オペレーションスキル(2冊セット) 国内早見表			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%(授業態度・提出物・小テスト結果含む) 期末テスト 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	基礎知識	※アクセス授業を受けるにあたっての注意事項 アクセス端末使用方法について理解する(起動/終了/ログイン/パスワード入力またはホームページ画面の見方など) 予備知識(予約受け継ぎ期限/発券期限/国内年齢区分など)を学ぶ		
2回	空席照会と予約	※2レター・各航空会社名 小テスト実施 空席照会からの直行便と乗り継ぎ便予約また、最安値運賃の予約も行う PNR(予約記録)より、最安値運賃を調べる(各割引運賃を確認する)		
3回	PNR作成と手順	旅客データを入力する(旅客氏名/連絡先電話番号/申込者) 国内線旅客の年齢区分を学ぶ 小児・幼児の入力を行う		
4回	PNR完了と中断	PNR(予約記録)構成を学ぶ PNRの完了と中断を行う(完了時のエラーメッセージも学ぶ) PNR完了後の詳細画面を確認する(予約コードの確認含む)		
5回	その他の予約方法	普通席・往復割引・キャンセル待ち予約を行う 便指定予約を行う(直接便名を入力して予約を行う) オープンセグメントの意味を理解し、入力を行う		
6回	発券と座席指定	便予約後、座席指定と発券を行う その他SSR(車椅子など特別な手配)やOSI(同行者情報など)について学ぶ 発券後の「お客様控え」の見方を学ぶ(実際に空港での案内シミュレーションを行う)		
7回	予約変更と取消し	※3レター小テスト実施(アルファベット読み含む) 予約便の変更と取消しを行う 旅客データの訂正や削除を行う(旅客氏名/連絡先電話番号/申込者)		
8回	変更後TST登録	TSTについて意味を理解する 便変更や旅客氏名訂正に伴う、TST再登録を行う		
9回	発券ファイル	SK入力について学ぶ(身体障害者割引・介護者割引・株主優待割引などの予約作成) 発券ファイル(航空券情報)について、意味と画面表示を理解する クーポンステイタスについて学ぶ		
10回	PNR分割	一部旅客の変更に伴う、PNR分割処理を行う 分割後のPNR画面を理解する		
11回	総復習	※小テスト実施(検定に準ずる内容で筆記&PNR作成)		
12回	検定対策Ⅰ	検定受検にあたっての心構えを学ぶ 色々な運賃でのPNR作成(予約記録)を行う		
13回	検定対策Ⅱ	筆記対策 過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)		
14回	検定対策Ⅲ	ヒアリング対策 過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)		
15回	期末テスト	総復習 期末テスト(筆記/PNR作成)		



対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	O・Pクラス
科目名	グランドハンドリング			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 航空機も高速化・大型化そしてハイテク化に伴う航空輸送時代に対応するため、質の高い知識が要求される。 今後も発展し続ける航空業界ではグランドハンドリング業務(地上支援業務)の重要性がますます認識される。 このグランドハンドリング業務に関わる概要を理解することを目的とする。			
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	グランドハンドリングの概要	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)授業内容を具体的に説明する グランドハンドリングの歴史と意義について学ぶ グランドハンドリング作業の概念についてFLT例を用い具体的に説明する		
2回	ランプイン/アウト	誘導作業、仕事の内容、要領、訓練方法、資格など概略を説明する マーシャリングの概要、マーシャラの心得について学ぶ 安全知識を習得させ、地上誘導(合図)の種類と方法について学ぶ		
3回	トーイング	航空機トーイング操作、通常トーイング・ハンガー・イン/アウトについて説明する コンパス・スイング・トーイング、アンダー・ベリール・トーイング方法について説明する トーイング資格取得要件、プッシュ・バック要領について学ぶ		
4回	ブレーキマン	ブレーキマン業務、作業手順について学ぶ 作業上の注意(緊急時に即応できる態勢)について学ぶ ブレーキマン業務、資格取得方法について説明する		
5回	ウォッチ作業	ウォッチマン(監視員)の心得(適切な合図・危険への認識・責任)について学ぶ ウォッチ作業(監視作業)、航空機の地上移動の安全確保について学ぶ ウォッチマンの位置(到着時、出発時、トーイング時)について学ぶ		
6回	搭載・取り卸し関連業務	搭載計画(ロード・プラン)作成業務の概要について説明する ウエイト・アンド・バランス業務(航空機の重量・機体の重心位置)について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引き渡し、運搬作業に就いて学ぶ		
7回	搭載取り卸し作業	搭載計画(ロード・プラン)作成業務の概要について説明する ウエイト・アンド・バランス業務(航空機の重量・機体の重心位置)について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引き渡し、運搬作業に就いて学ぶ		
8回	搬出作業一般(出発便)	機種、機番、スポット、出発時刻の確認について学ぶ 貨物搬出回数・郵便物搬出回数、物量などの情報について学ぶ 手荷物搬出回数、物量等の情報・貨物、郵便物の搬出時連結台数について学ぶ		
9回	航空機へのULD搭載	航空機に機材装着、ULDの搭載およびULDの種類とタイプについて学ぶ パレットの搭載(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ コンテナの搭載(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ		
10回	バルク搭載手順	バルク貨物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ バルク郵便物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ バルク手荷物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ		
11回	搭載監督者業務	搭載監督者業務の一般および搭載監督者1級と2級の違いについて説明する 出発便の搭載監督者業務(情報の収集・搭載作業指示および確認)について学ぶ 到着便の搭載監督者業務(情報の収集・取り卸し指示/確認)について学ぶ		
12回	旅客乗降ドアの開閉操作	航空機、機種ごとの旅客乗降ドアの名称、数について学ぶ 航空機、機種ごとの旅客乗降ドアの内部構造、機構とモード切り替え機能について学ぶ 航空機、旅客乗降ドアPOSの機構の違いについて説明する		
13回	カーゴ・ドアの開閉	航空機(旅客機)、機種ごとの貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ 貨物専用機、貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ カーゴ・ドアの機能について映像を観ながら説明する		
14回	パッセンジャ・ボーディングブリッジ パッセンジャ・ステップ	パッセンジャ・ボーディング・ブリッジの機能、操作方法について学ぶ パッセンジャ・ステップの種類、機能、操作方法について学ぶ パッセンジャ・ボーディング・ブリッジの機能等について映像を観ながら説明する		
15回	航空機地上支援機材	航空機地上支援機材の概要およびランプ・イン/アウト作業用GSEについて学ぶ 搭載/取り卸し作業GSE(ステップ車・PBB・カーゴローダ)について学ぶ 搭載/取り卸し業務用GSE(ドーリ/カート牽引車・コンテナドーリ)について学ぶ		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	O・Pクラス
科目名	エアカーゴ概論			
担当講師(フルネーム)	松下良朗			
到達目標	検定あり 航空貨物輸送の基礎知識を得るとともに航空貨物概要について考え方と実務を理解する。			
使用テキスト	適宜 プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末テスト80% 平常点 20%(授業態度 課題 小テスト)			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	コース概要説明・授業の進め方		
2回	航空機とは、貨物室諸元	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行機はなぜ飛ぶのか 飛行機の種類とサイズ どんな物をどのように運ぶかを学ぶ 貨物輸送への理解を深める</li> <li>飛行する際の貨物への影響 搭載する貨物の制限 緊締の方法 重力の与える影響を知り 輸送手段の変化について学ぶ</li> <li>貨物室のシステム BULK LOADING/ULD LOADING 輸送方法の歩みを知り、理解する</li> </ul>		
3回		<ul style="list-style-type: none"> <li>WIDE BODY機とNALLOW BODY機の違いを知り輸送量を比較する</li> <li>荷役方式 ULDの基礎を学び 貨物室への搭載の流れを知る</li> </ul>		
4回	航空貨物基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港の機能について学び 航空会社における貨物部門の役割 航空行政の日本の物流事情に与える影響を考える</li> <li>貨物用語 IATA3コード ICAO4コード 代理店コード PREFIX NBRについて学び理解を深める</li> <li>貨物運送状について学ぶ 運送約款</li> </ul>		
5回		<ul style="list-style-type: none"> <li>受託 発送 引き渡しの流れについて理解する 受託におけるREADY FOR CARRIAGEの原則を知る</li> <li>運送機材について学ぶ ULDとは</li> <li>機種毎の搭載制限について理解する</li> </ul>		
6回		<ul style="list-style-type: none"> <li>運賃 タリフ 国内輸送/国際輸送を知る</li> <li>郵便物の搭載</li> <li>特殊貨物の搭載 動物/危険物/貴重品について理解する</li> </ul>		
7回	貨物輸送概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>※梱包 貨物の予約 アロット 計量 重量管理PROSへの正確な理解</li> <li>《受託》 貨物受託の流れ ※上屋業務 ※受託業務概要を知り荷主/代理店搬入形態・搬入全般フローを知ることで基礎を学ぶ</li> </ul>		
8回		<ul style="list-style-type: none"> <li>《発送》 航空機に搭載 運送 ※FLT CONTRL業務手順を理解し発送のための手順を学ぶ ※スペースの確保 優先順位 積み付け指示書の作成</li> </ul>		
9回		<ul style="list-style-type: none"> <li>※機種別LOADING MANUALについて理解する</li> <li>《到着》 航空機から取り出し B/Dにおける注意点 保管に関する注意 取り出し搬入に関するノウハウを学ぶ</li> </ul>		
10回	危険物輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空危険物とは何かを理解し運送手段 国際ルール 国内法規について理解する</li> <li>危険物の受託 発送の準備 機長への通知</li> </ul>		
11回		<ul style="list-style-type: none"> <li>IATA DGRについて学ぶ</li> <li>危険物インシデントについて</li> </ul>		
12回	航空貨物輸送業務全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLM ICM DGM 搭載MANUAL全般について理解を深める</li> <li>F/C業務 ULDコンツァー-ULD使用基準 保管経ぎ越し WEIGHT SPREAD 荷役基準について概要を学ぶ</li> <li>基本的な積み付け パレット積み付け コンテナ積み付け ZONE LOADING を学ぶ</li> </ul>		
13回		<ul style="list-style-type: none"> <li>バラ積みの基本 バラ積みするBULK COMPARTMENT について</li> <li>危険物の積み付けS/L通知書/WETCARGO/AVI/VAL/HUM/TIE DOWN /特殊貨物のノウハウ</li> <li>FLIGHT CONTROLについて理解し安全運航のための準備と幅広い貨物知識を理解する。</li> </ul>		
14回	LOAD CONTROL	<ul style="list-style-type: none"> <li>L/C業務概要を知り、貨物搭載について学ぶ WEIGHT &amp; BALANCE業務を理解する 運用限界 重心位置 CG LIMIT</li> <li>CONF IGRATION</li> </ul>		
15回	授業のまとめ			

\* 小テスト以外の筆記試験は、期末試験中に実施。

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	OPクラス
科目名	空港英語			
担当講師(フルネーム)	高木美希			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 空港で使われる英会話や語彙を理解する。 英語での接客・アナウンスが出来るようになる。			
使用テキスト	プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点(小テスト) 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	講師自己紹介と学生自己紹介 シラバスを使用し、講義概要、到達目標、成績評価方法の説明		
2回	チェックイン業務	飛行機が出発するまでの流れを把握する。 搭乗手続き(チェックイン)とは何かを理解する。		
3回	チェックイン業務	国内線での搭乗手続きの手順・注意事項を理解する。 お手伝いの必要なお客様への接客を理解する。 【小テスト 第1回】		
4回	チェックイン業務	手荷物の種類と取り扱い際の注意事項を理解する。 持込に制限のある荷物について理解する。超過手荷物料金について理解する。 【小テスト 第2回】		
5回	チェックイン業務	搭乗手続きのロールプレイを体験し、接客に慣れる。 ロールプレイは全員実施する。 【小テスト 第3回】		
6回	チェックイン業務	搭乗手続きのロールプレイを体験し、接客に慣れる。 ロールプレイ体験の反省、振り返りを行う。		
7回	チェックイン業務	航空業界で使用する専門用語について学ぶ。		
8回	チェックイン業務	航空業界で使用する専門用語について学ぶ。 【小テスト 第4回】		
9回	ゲート業務	搭乗口(ゲート)での業務について学ぶ。 英語アナウンスの種類とアナウンス実施時の注意点について学ぶ。 【小テスト 第5回】		
10回	ゲート業務	英語アナウンスをマイクを使い、練習する。 英語アナウンス練習の反省、振り返りを行う。 【小テスト 第6回】		
11回	ゲート業務	英語アナウンスをマイクを使い、練習する。 英語アナウンス練習の反省、振り返りを行う。		
12回	イレギュラー運航 (遅延・欠航等)	イレギュラー運航とは何か、どのような種類があるのかについて学ぶ。 接客をする際の注意点(通常運航時との接客の違い)を把握する。		
13回	イレギュラー運航 (遅延・欠航等)	イレギュラー運航時、よく使う英単語、フレーズを学ぶ。 遅延・欠航時等の英語での接客、アナウンスを練習する。 【小テスト 第7回】		
14回	到着業務	国内線で、飛行機が到着した後の流れについて理解する。 到着手荷物の受け渡し、未着、破損時の対応について学ぶ。 【小テスト 第8回】		
15回	まとめ	前期に学習した内容の復習 【小テスト 第9回】		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	O・Pクラス
科目名	日本語表現			
担当講師(フルネーム)	久保田博子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 日本語を見直し、美しい日本語を理解する 基礎言語力を伸ばし、日本語表現をブラッシュアップする			
使用テキスト	『ステップアップ 日本語講座 - 上級』東京書籍			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的・意味と進め方、成績評価方法について 学生の自己紹介 「適切な日本語」とはどのようなものか考える		
2回	敬語①	敬語について/敬語の種類 尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ、丁寧語、美化語を理解する 小テスト1		
3回	敬語②	適切な敬語、敬語の使い分け 練習問題 小テスト2		
4回	敬語③	注意すべき敬語 謝った敬語の使い方 小テスト3		
5回	敬語④	状況に合わせた敬語の使い分け さまざまな敬意表現 小テスト4		
6回	敬語⑤	電話や手紙での敬語 マニュアル敬語/配慮を示す言葉 小テスト5		
7回	敬語⑥	敬語のまとめ 練習問題 小テスト6		
8回	文法①	品詞・活用の種類 主語と述語/連体修飾と連用修飾 復習テスト1		
9回	文法②	動詞の分類/文の成分、文のねじれ 練習問題 小テスト7		
10回	文法③	可能表現、受け身と使役の表現 練習問題 小テスト8		
11回	語彙・言葉の意味	語彙/語種/二語の関係/類義語と対義語 言葉の意味/慣用句 練習問題 復習テスト2		
12回	漢字・表記 総合問題	日本語の中の漢字/四字熟語 練習問題 小テスト9		
13回	作成力(書く力)	表現力をつける 小テスト10		
14回	作成力(考える力)	考える力をつける(ブレイン・ストーミングの利用) 小テスト11		
15回	まとめ	前期のまとめ 小テスト12		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	OPクラス
科目名	ユニバーサルサービス			
担当講師(フルネーム)	原田歩			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める ・基本的な介助知識を身につける ・仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる			
使用テキスト	『接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本』			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・ユニバーサルサービスについて考える ・身近なユニバーサルデザインを知る		
2回	視覚障害者へのサービス①	・視覚障害者についての基本知識を習得する ・介助犬について学ぶ ・盲導犬について理解を深める		
3回	視覚障害者へのサービス②	・視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・全盲体験をする ・体験から学んだことを共有する		
4回	視覚障害者へのサービス③	・視覚障害者への接客を学ぶ ・手引きの方法を学ぶ ・空港内を想定し案内する		
5回	視覚障害者へのサービス④	・視覚障害者への接客を学ぶ ・手引きの方法を学ぶ ・空港内を想定し案内する		
6回	聴覚障害者へのサービス	・聴覚障害者の基本知識を習得する ・日常生活における不自由さについて共有する ・様々なコミュニケーション方法を学ぶ		
7回	肢体障害者へのサービス①	・肢体障害者や麻痺についての基本知識を習得する ・車椅子の種類と基本操作を学ぶ ・校内を自走する		
8回	肢体障害者へのサービス②	・車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ ・自走体験をもとに注意すべき点に気づく ・空港内を想定し案内する		
9回	肢体障害者へのサービス③	・車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ ・自走体験をもとに注意すべき点に気づく ・空港内を想定し案内する		
10回	高齢者へのサービス①	・高齢者についての基本知識を学ぶ ・高齢社会について考える ・加齢に伴う心身の変化を理解する		
11回	高齢者へのサービス②	・認知症についての基本知識を学ぶ ・認知症の症状を学ぶ ・高齢者への接客を学ぶ		
12回	知的・発達・精神・言語障害のある方	・知的・発達・精神・言語障害についての基本知識を学ぶ ・知的・発達・精神・言語障害者への接客を学ぶ		
13回	内部障害のある方	・内部障害についての基本知識を学ぶ ・内部障害者への接客を学ぶ		
14回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	・妊娠の方についての基本知識を学ぶ ・小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ ・施設や店舗で喜ばれるサービスを考える		
15回	まとめ	・前期の復習および補足		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン	科	O P	クラス
科目名	コンピュータ					
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美					
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり ICT表計算技能標準試験(3級・2級・1級) Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要な文書作成スキルを身につける Microsoft Excelの基礎知識を学び、ICT表計算技能標準試験2級レベルのスキルを習得する Windowsの仕組みを知り、マルチタスク操作キーボード操作等のスキルを身につけ、ビジネスシーンでの活用力を習得する					
使用テキスト	ICT表計算技能標準試験過去問題集 タイピング問題・Word・Excel基礎問題プリント配布					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・小テスト 期末試験 80%					
期末試験	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	OALームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作 タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎	タイピング練習 シンプルな社内文書作成 ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け・切取線など)				
3回	Word基礎	タイピング練習 表を含むビジネス文書作成 ※表作成、ビジネス文書の基本など				
4回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) Excelの画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 計算式				
5回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
6回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 効率よく表を作成する方法、データ入力について学ぶ 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
7回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒、横棒、折れ線、円グラフ)				
8回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒、横棒、折れ線、円グラフ)				
9回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) エクセルの表示形式について、その意味を学習する 基本的なグラフ作成と印刷イメージの設定				
10回	Word基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 基本的な表やグラフ作成				
11回	Word基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 基本的な表やグラフ作成				
12回	Word基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 過去問題を解きながら、効率の良い計算表の作成と、実際のデータ処理の考え方を身につける				
13回	Word基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 過去問題を解きながら、効率の良い計算表の作成と、実際のデータ処理の考え方を身につける				
14回	前期期末試験	前期期末試験実施				
15回	Word基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 期末試験解説				

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	OPクラス
科目名	危険物取扱者試験対策(選択)			
担当講師(フルネーム)	金森和彦			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 国家試験 危険物取扱者合格と航空業界における危険物の取扱について 危険物法令・燃焼についての基礎知識・消防法をテーマ別に解説			
使用テキスト	これだけ！乙種4級 危険物試験合格大作戦			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施(コンピュータなど、オーラル)・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	国家資格内容	国家資格取得レベルや試験までのスケジュールについて説明する 過去の国内空港の事故と危険物の関連について説明する 危険物の種類について説明する		
2回	危険物に関する法令	危険物の定義・分類(6つの性質)について学ぶ 指定数量(危険物の規制に関する政令第3条)について学ぶ 製造所等の区分、申請・認可・許可等の手続きについて学ぶ		
3回	危険物に関する法令	危険物取扱者の責任内容について理解させる 危険物保安監督者の責任内容について理解させる 危険物保安統括管理者の責任内容について理解させる		
4回	過去問題	前年度の出題傾向を紹介し理解させる 過去の問題を活用し出題パターンを理解させる 配点の合格ライン到達のコツについて説明する		
5回	危険物に関する法令	危険物施設保安員の意義・業務内容について理解させる 予防規定に定めるべき事項、製造所の位置・構造・設備の基準について学ぶ		
6回	危険物に関する法令	製造所の位置・構造・設備の基準、貯蔵・取り扱いの基準について学ぶ 製造所等において危険物を貯蔵する場合の法令に定められた技術上の基準について学ぶ 各品ごとの危険性について共通基準を学ぶ		
7回	危険物に関する法令	<運搬・移送の基準> 危険物の運搬と移送の違いについて学ぶ タンクローリー(移送タンク貯蔵所)との取り扱いの違いについて理解する。		
8回	燃焼及び消化	燃焼の定義、消化の原理について理解する 燃焼の仕方、危険物の物性、自然発火、水分との接触による発火、混合による危険について学ぶ 消化法、消化設備について学ぶ		
9回	危険物の性質	危険物一覧、危険物の品ごとに共通する性質について学ぶ 第1. 2. 3品の危険物について理解する 第4. 5. 6品の危険物について理解する		
10回	模擬問題	危険物に関する法令の問題について小テストを行い理解させる 基礎的な物理学・基礎的な化学について小テストを行い理解させる 危険物の性質・火災予防・消化方法について小テストを行い理解させる		
11回	危険物の航空輸送	荷送人の責任、出荷時の注意事項、危険物の種類について学ぶ 危険物のダメージ等の事故の際、作業者の取るべき緊急時の3原則について学ぶ 取り扱い及び搭載方法、放射性物質、隔離基準について学ぶ		
12回	危険物まとめ 1	航空業界における出荷時の注意事項、危険物の種類について学ぶ 航空事故の際、作業者の取るべき緊急時の3原則について学ぶ 航空業界における搭載方法、放射性物質、隔離基準について学ぶ		
13回	危険物まとめ 2	航空業界の過去の事故について学ぶ 危険物の品種別取扱方法について学ぶ 主な搭載方法、放射性物質、隔離基準について学ぶ		
14回	過去問題 1	過去問題をひたすら解く 問題解説		
15回	過去問題 2	過去問題をひたすら解く 問題解説		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	O・P クラス
科目名	ビューティーレッスン			
担当講師(フルネーム)	金礪 暁子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 自分の個性を活かし、かつ好印象を与えるビジネスメイクの取得 女性らしく品格のあるマナーや知識を身につけ、トータルコーディネートをする基礎技術の取得			
使用テキスト	プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施...○ 授業中に実施...△ 期末試験なし...× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業内容の確認		
2回	お肌のしくみ	肌構造 お肌の正しいしくみを理解する		
3回	基本のスキンケア①	前回の復習と正しいスキンケア		
4回	基本のスキンケア②	前回の復習 誰にでもできる美肌を手に入れる極意		
5回	基本のアイメイク	前回の復習とアイメイク・アイブロウの目的 基本的な描き方のデモンストレーションと実習		
6回	基本のチーク・リップ	リップ・チーク・ハイライトの目的 基本的な描き方のデモンストレーションと実習		
7回	応用メイク①	美しく見せるメイクの仕方と自分に似合うメイク		
8回	応用メイク②	修正メイクと女優メイク		
9回	トータルメイクアップ①	これまでの授業で学んだことから与えられたテーマに合わせたコーディネートを実践		
10回	トータルメイクアップ②	これまでの授業で学んだことから与えられたテーマに合わせたコーディネートを実践		
11回	コミュニケーション①	相手に好印象を与えるための話し方		
12回	コミュニケーション②	相手に好印象を与えるための伝え方		
13回	コミュニケーション③	理想のスタイルを手に入れる立ち方と歩き方の基本		
14回	総まとめ	これまでの復習		
15回	試験			



対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	O・P選択クラス
科目名	【選択】CA受験対策			
担当講師(フルネーム)	森田・挽田(英語)・榎木田(理数)・前田(国語・社会)・久保田			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり CA就職試験に備え、準備する＝CA就職活動講座 (客室乗務員になるための能力、知識を身につける)			
使用テキスト	CA&グランドスタッフ 筆記試験問題集 最新版 / CAメイクと面接の本			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回 4/12	オリエンテーション CAの業務内容について	授業内容について説明 CAの業務内容について説明 CAの合格率と現状について		
2回 4/19	第一印象の重要性	第一印象の重要性を知る 身だしなみ、立ち居振る舞い、化粧、髪型		
3回 4/26	筆記対策(英語) TOEIC	CAの採用試験で出題される頻度が高い語彙を覚える。 航空用語、会社や組織に関する用語、貿易に関する用語をマスターする。 文法事項を問う問題の解法を理解する。		
4回 5/10	筆記対策(理数)	SPI非言語総合問題(四則演算、濃度算、確率、推論など)		
5回 5/17	筆記対策(国語・社会)	SPI言語総合問題		
6回 5/24	筆記対策(英語) TOEIC	CA採用試験に頻出する文法問題を解く。 英文法のしくみを理解する。 英文法の理解を定着させるための練習問題に取り組む。		
7回 5/31	サービスマインドについて	接客業務で一番大切なことを学ぶ		
8回 6/7	機内業務①	非常事態発生時のCAの役割 ※モックアップ(503B教室)使用		
9回 6/14	筆記対策(英語) TOEIC	CA採用試験に出題される頻度の高い長文を読み取る。 長文の主題をつかみながら読む。 長文問題に頻出する語彙を覚える。		
10回 6/21	筆記対策(理数)	SPI非言語総合問題(損益算、資料の読み取り問題、構造的把握力など)		
11回 6/28	筆記対策(国語・社会)	SPI言語総合問題		
12回 7/5	筆記対策(英語) TOEIC	長文問題に正解する力を身につける。 文書の中の具体的な情報を見つけて理解する。 文書の中の情報をもとに推測する力をつける。		
13回 7/12	機内業務②	さまざまな旅客に対応する訓練(高齢者、妊婦、聾啞者、子供ほか) ※モックアップ(503B教室)使用		
14回 7/19	機内業務③	飲み物サービス訓練 ※モックアップ(503B教室)使用		
15回 7/26	まとめ	半期で学んだことのまとめ 自己分析・他己分析		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	フライトオペレーション			
担当講師(フルネーム)	樽見俊六			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 到着から出発までの航空機運航の流れ及び運航業務の目的・役割を理解し航空会社の社会的使命である安全・定時運行に寄与することを目標とする。			
	プリント教材			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	期末試験80%+平常点20%			
期末試験	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 期末試験期間中に実施... <input type="radio"/> 授業中に実施... <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> 期末試験なし... <input type="checkbox"/> × を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	コース紹介	前期カリキュラムの確認及び成績評価方法についての説明。 フライトオペレーション業務の目的・役割について理解する。 航空業界の現況と動向について。		
2回	航空局の業務概要	航空局の歴史・役割を学び航空機運航との関連について理解する。		
3回	空港施設	航空法・空港整備法による空港の種類及びターミナル施設・設備について学ぶ。		
4回	空港施設	滑走路付帯施設・電波施設・照明施設などの種類とその役割について学ぶ。		
5回	航空機運航	航空法による航空機と飛行機の違い及び飛行方式・飛行条件について学ぶ。		
6回	航行援助施設	いろいろな対空・対地無線設備・援助施設とその役割について理解する。(VOR/DME/ADF/TACAN etcの役割について学ぶ)		
7回	航空交通管制業務	出発から到着までの航空交通の流れを学習し管制業務の目的及び航空路・飛行場管制業務について学ぶ。		
8回	航空交通管制業務	航空路はどのように区画割りされているのかを理解し管制空域・制限空域および飛行情報区と防空識別圏の違いについて学ぶ。		
9回	運航管理	運航管理者の資格・業務概要を理解し飛行計画書の目的・記載内容を学ぶ。(ATS Flight Plan と Company Flight Plan の違いを学ぶ)		
10回	業務用語	いろいろなオペレーション・運航管理用語及びその意味について学ぶ。		
11回	業務用語	いろいろな管制業務用語およびその意味について学ぶ。		
12回	離着離速度	離陸速度と離陸距離・加速停止距離について学ぶ。		
13回	計算の単位	航空機の運航で使う計算の単位について学ぶ。(距離・速さ・重さ・高さの計算の単位)		
14回	搭載燃料	航空機の運航に必要な搭載燃料の種類および計算の仕方について学ぶ。		
15回	前期総復習	前期授業全般につき復習しその内容を確認する。(Q & A)		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RW①②クラス
科目名	観光地理			
担当講師(フルネーム)	金森和彦			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 海外の空港情報、文化風習について学ぶ			
使用テキスト	プリント対応			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ギリシャ	オリエンテーション 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
2回	スイス	地図帳の見方 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
3回	フィンランド	演習帳作成 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
4回	韓国&台湾	韓国と朝鮮の国境である板門店やイムジン河など歴史について学ぶ 伝統文化のオンドルや民族衣装チマチョゴリなど説明できるようになる 主要都市と空港の交通機関について(ソウル、プサン、キョンジュなど)		
5回	中国	シルクロードと仏教伝来が及ぼした日本への影響について学ぶ 中国四大料理(北京、上海、四川、広東)の違いを学び説明できることを目的とする 主要都市と空港の交通機関について(北京、上海、大連、西安など)		
6回	インド	ムガル帝国の功績とシャージャハンが造った世界遺産タージマハールについて学ぶ 世界の屋根であるヒマラヤ山脈の山々の観光資源に関して深く学ぶ 主要都市と空港の交通機関について(デリー、アクラ、ムンバイ、ベナレスなど)		
7回	トルコ	大英帝国の世界進出と英連邦の国々との結びつきについて理解する事を目的とする オリエンタル急行の果たした役割と東ローマ帝国の首都として栄えたイスタンブールの歴史 主要都市と空港の交通機関について(アンカラ、イスタンブール、イズミール、トロイなど)		
8回	イギリス	世界四大文明の起源について理解しクレオパトラが果たした偉業について学ぶことを目的とする 植民地支配の歴史とイギリスが世界に残した文化について学ぶ 主要都市と空港の交通機関について(ロンドン、リバプール、エジンバラなど)		
9回	イタリア&フランス	ルネッサンスを代表する2カ国について代表する絵画や高級ブランドメーカーについて学ぶ イタリア&フランスの「名物料理」について説明できるようになる 主要都市と空港の交通機関について(ローマ、ベネチア、ミラノ、パリ、リヨンなど)		
10回	スペイン&ポルトガル	日本と繋がり深い2カ国について歴史を理解する 海浜リゾート地の説明、ポルトガルから日本に伝来した観光品について説明できることを目的とする 主要都市と空港の交通機関について(マドリッド、バルセロナ、リスボンなど)		
11回	ドイツ&ベネルクス3国	ドイツの観光名所である古城街道、エリカ街道、メルヘン街道について学ぶ EUの元であったベネルクス3国を理解しヨーロッパ経済の本質を理解する 主要都市と空港の交通機関について(ベルリン、フランクフルト、アムステルダムなど)		
12回	ロシア&オーストリア	共産主義が崩壊したロシアの現状と日本との経済の繋がりを理解する事を目的とする ロシアの歴史にの移り変わり、ハプスブルク家とマリーアントワネットについて学ぶ 主要都市と空港の交通機関について(モスクワ、ウィーンなど)		
13回	エジプト&南アフリカ	世界四大文明の起源について理解しクレオパトラが果たした偉業について学ぶことを目的とする 植民地時代の歴史とアパルトヘイト廃止後の南アフリカ文化の今について学ぶ 主要都市と空港の交通機関について(カイロ、ルクソール、ケープタウンなど)		
14回	アメリカ&メキシコ	経済大国アメリカと日本との経済交流について理解しパシフィック・パートナーシップの動きを理解する 独立戦争から近代までの文化について学ぶ 主要都市と空港の交通機関について(ワシントン、ニューヨーク、メキシコシティなど)		
15回	まとめ	期末試験の内容について詳しく説明し学生に理解させる 全体復習をおこなう		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RW①②クラス
科目名	観光英語			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり <b>航空・観光系の英語表現を身につけ、実際に会話ができるようになることを目指します。</b> 聞く・話す・書くを多用して英語を身につけます。			
使用テキスト	Travel English at Your Fingertips			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	1.On a Airplane	イントロダクション(授業内容、評価方法について) 機内で使う英語表現 アナウンスメント		
2回	2.At Immigration and Customs	小テスト 出入国手続き中に使う英語表現 税関申告書		
3回	3.Getting to a Hotel	小テスト 旅行案内所での英語表現 空港から市内への交通		
4回	4.Checking Into a Hotel	小テスト ホテルチェックインの際の英語表現 フロント係に尋ねる		
5回	5.At a Restaurant	小テスト レストランで使う英語表現 注文をする		
6回	6.Taking a Subway	小テスト 交通機関で使う英語表現 地下鉄に乗る		
7回	7.Asking for Directions	小テスト 道を尋ねる英語表現 フロント係に尋ねる		
8回	8.Fast-food Restaurant & Snack Bar	小テスト ファーストフードレストランで使う英語表現 注文をする		
9回	9.At a Bank	小テスト 両替に関する英語表現 銀行での会話		
10回	10.Hotel Services	小テスト ホテルのサービスに関する英語表現 貴重品を預ける		
11回	11.Placing a Phone Call	小テスト 電話に関する英語表現 予約の確認		
12回	12.Visiting a Campus	小テスト 尋ねるときの英語表現 感謝を表す英語表現		
13回	13.At a Pharmacy	小テスト 病気の英語表現 薬局での会話		
14回	14.Renting a Car	小テスト レンタカーに関する英語表現 自動車・保険に関する英語表現		
15回	まとめと復習	前期のまとめ Vocabulary Useful Expressions		


対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RW①②③クラス
科目名	航空業界試験対策(筆記)			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり この科目は完全に航空業界だけに特化した科目です。講義を通じて、航空会社で実施されている能力適性検査試験に合格するのに必要な能力・学力を修得することができます。基本的には九州地区の航空会社の過去の採用試験問題と出題が予想される問題(非言語数学 言語国語の両方とも)を講義していきます。玉手箱とSPI-3のWEBテストの問題を解きます。ANA福岡空港(株)JALスカイ九州・JALスカイ空崎・南国交通・熊本空港の九州産交・長崎大村空港ORCなどのグランドスタッフ、JAL・ANAウイングス・FDA・JAC・ソラシドエア・SFJなどの客室乗務員の採用試験問題、そしてJGS九州成田羽田・ANA福岡空港(株)ANAエアポートサービス・西鉄エアサービスなどのグランドハンドリングの採用試験問題を解いていきます。FDAやソラシドエアの場合例年一般常識社が出題されます。能力適性検査試験に合格しなければ、面接試験という土俵が上がって、航空業界に対するあなたの熱い思いと、今まで先生方から、して頂いた面接の努力のあかしを面接官にぶつけることはできません。航空業界でうしろめたいというあなたの熱い思いに全力でサポートします。合格という喜びの涙を分かち合いましょ。			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末点 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	玉手箱 四則逆算	$(38 - \square) \div 7 = 5$ $\square \div 4 = 20 + 30$ $36 \div 2 = \square \div 3$ $410 + \square = 740 - (400 - 130)$ $\square \div 3 + 7 = 21$ 、この一次方程式の問題は制限時間7~8分で、問題数は50問 合格ライン40点以上 1問7秒で正解しないと不合格 時間との戦いで、すべての受験生が、時間が足りなかった、難しかったと報告しています。この問題はANA福岡空港(株)にもJALに出題される超有名な問題です。また虫食算と呼ばれる桁数の多い割り算の高計算の過程で数字の一部の□の値を求める問題も慣れないと時間がかかる。短時間で解答できるテクニックは講義の中で。		
2回	SPI WEBテスト	整数 比 割合(サッカーやテニスの試合の勝率の文章の空欄を埋める) 不当式 $47/X > 3$ の時 Xにあてはまる、正の整数のうち最も大きい数字を求めよ。方程式(クッキーを何人かの学生に分けるのに、1人につき3個にすると、6個余り、1人につき4個にすると12個足りなくなる。クッキーの数と学生の数を求めよ。) 損益算(損益算の公式から方程式をたてて、割り増し、割引の金額を求める) 速さ(自宅から2400m離れた会社に行くのに3/4の地点までは時速6.7kmで自転車に乗った。残りは時速4.3kmで歩いたので、自宅から会社までT分かった。Tの値を求めよ)		
3回	玉手箱 図表の読み取り	棒グラフ 円グラフ 折れ線グラフ 図表を見て問題が求めている数字を確認する。ポイントは、桁数が多い数字が並ぶので、すべて概算処理すること。正確な数字を前提にすると制限時間内に問題を解くことができない。色々な種類のグラフ問題をたくさん解いてグラフアレルギーを克服しなければ、夢の階段を上ることはできません。この問題はJAL系特に客室乗務員希望者は絶対に落としてはいけません。		
4回	SPI WEBテスト	条件から数値を導く問題(3個の整数XYZ Xは3の倍数 Yは2の倍数 Zは7の倍数 三つの数字XYZの関係性 条件①X+Y=25 条件②Y+Z=31 XYZが正の整数の時Yの数字は) 推論(この分野はテストセンターでも最重要な分野 確率 集合 順列など数学の知識を総動員して解く問題が多い 例えば身長差 マラソンの順位 暗号 方向 アパート・ホテルの部屋番号の特定 じゃんけん テニスのリーグ戦の試合結果など)		
5回	SPIテストセンター新傾向 構造的把握力検査 玉手箱	構造的把握力検査問題はSPIテストセンター独特の問題。問題を解く場合の考え方が似ているもの、論理構造が同じものを5個の選択肢の中から2個選ぶ。問題を解いた印象として、方程式・和差算・比・割合の問題が多い。玉手箱はいろいろなグラフと図表がたくさん出題されるので、問題をたくさん解いて慣れるしかありません。国語は2語の関係性		
6回	WEBテスト	2語の関係性(登山 山は前の動詞登るの目的語なので、動詞と目的語の関係) 四字熟語は出題されない。長文中文の文章の数か所が空欄になっていて、適切な語句をABCの選択肢の中から選択する問題 文章並べ替え問題と長文読解はABCD4個の選択肢の中から選択する問題。さらにJALスカイ九州独特の問題があります。詳しくは講義の中で。小テスト実施		
7回	玉手箱 言語	日本語の文章、英語の文章ともかなりの長文です。解答時間12分 問題数4問 内容は文章読解と論理的思考 選択肢はA(設問と同じ内容)B(同じ内容が見つからない)C(設問から正誤を判断できない)。またはA(本文の論理から明らかに、正しい)B(本文の論理から明らかに誤っている)C(正しいか間違っているか判断できない)、さらに4つの選択肢から、筆者の考えに最も近いものをクリックする問題		
8回	一般常識 ANA以外 JAL系のグランドスタッフハンドリング南国交通とFDA ソラシドエアなどの客室乗務員予想問題	南国交通 九州産交 JGS九州 JAS成田 JGS羽田などのグランドスタッフ、グランドハンドリングの採用試験過去問 FDA・ソラシドエアなどの客室乗務員採用試験は例年ペーパー形式で実施。数学はSPIより数学・算数そのもの。最終回に本年度の採用試験予想問題を実施。南国交通・JAL系・ソラシドエアの場合、例年、社会の地理・時事問題が出題されている。		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科/エアポート科	R・Wクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	久保田博子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 未内定者は内定を得る。 内定学生は就業までに自己研鑽を行い、社会人として自覚を持つ。			
使用テキスト	『勝つための就職ガイドSUCCESS』 『就職ノート』			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・出席率・身だしなみにより評価			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方・評価方法について 最終模擬面接に向けて準備 自己PR・志望動機の練り直し 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
2回	受験対策	就職活動について①(学校の規則・手続き等確認) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
3回	受験対策	最終模擬面接の振り返り 就職活動について②(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
4回	受験対策	就職活動について③(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
5回	受験対策	就職活動について④(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
6回	受験対策	就職活動について⑤(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
7回	受験対策	就職活動について⑥(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
8回	受験対策 まとめ	就職活動について⑦(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備 まとめ(就職活動振り返り)		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RWクラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 就職面接試験に向けて、態度、動作、応答の仕方など高人物評価を勝ち取る			
使用テキスト	配布プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・実技80%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	就職面接試験とは	授業の進め方 一年次の振り返り 面接審査基準について 面接形式のパターン		
2回	集団討議演習	認められる人材について 航空会社が求める人物像		
3回	集団面接演習	過去の問題を参考に質疑を行う 受講生へのフィードバック		
4回	集団面接演習	過去の問題を参考に質疑を行う 受講生へのフィードバック		
5回	集団討議1 (5～6人)	過去の問題を参考に質疑を行う 受講生へのフィードバック		
6回	集団討議2	現代に社会事象を中心に行う 受講生へのフィードバック		
7回	集団・個人面接演習	過去の問題を参考に質疑を行う		
8回	まとめ	就職面接試験にむけての振り返りとアドバイス		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RWクラス
科目名	ペン字			
担当講師(フルネーム)	安藤清子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 復習を通して様々な書式を確認し読みやすい文字を書く			
使用テキスト	オリジナルテキスト・筆ペン(1,2回)ペン(ボールペン)(3回から8回)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・小テスト			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	筆ペンで書く① 様々な実用書	筆ペン授業の復習と確認(実用小テストプリントでの確認) 命名書を書く(2パターン)		部首①
2回	筆ペンで書く② 様々な実用書	ポスターを書く その他		部首②
3回	読みやすい文字を書く① (ペン字)	履歴書を書く(1) ～横書きの書式を学びながら復習～		部首③
4回	読みやすい文字を書く② (ペン字)	履歴書を書く(2) ～名前の確認～		部首④
5回	読みやすい文字を書く③ (ペン字)	はがき、封筒(角・長)A4封筒の書き方(1) ～配字とバランスの復習～		筆順①
6回	読みやすい文字を書く④ (ペン字)	はがき、封筒(角・長)A4封筒の書き方(2) ～配字とバランスの復習～		筆順②
7回	読みやすい文字を書く⑤ (ペン字)	横書き・縦書きの書式の確認 ～名前まで～		筆順③
8回	読みやすい文字を書く⑥ (ペン字)	まとめ 小テスト(3回～8回)		まとめ



対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RWクラス
科目名	ビジネスマナー			
担当講師(フルネーム)	原田歩			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・社会人としてのマナーを身につける ・報告・連絡・相談の重要性を理解できるようになる ・働く覚悟を持つ			
使用テキスト	『ビジネスマナー基本テキスト』			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験		※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・第一印象の重要性について復習する ・場面に応じた挨拶を習得する		
2回	入社～退社のマナー	・入社時、退社時のマナーについて学ぶ ・離席時、外出時のマナーについて学ぶ ・休暇、残業のマナーについて学ぶ		
3回	報告・連絡・相談	・報告、連絡、相談の重要性について復習する ・指示、命令の受け方について学ぶ ・話し方、聞き方について復習する		
4回	慶事のマナー	・慶事の種類について学ぶ ・服装のマナーについて学ぶ ・祝儀の基本を学ぶ		
5回	弔事のマナー	・訃報への適切な対応を学ぶ ・お供えの基本マナーを学ぶ ・参列、参拝の仕方を学ぶ		
6回	試験	・試験 ・議事録を作成してみよう		
7回	来客対応	・初回面会時のマナーを学ぶ ・席次について復習する ・お茶の出し方を学ぶ		
8回	まとめ	・復習、補足		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科 エアポート科① ②	RWクラス
科目名	コミュニケーション学			
担当講師(フルネーム)	吉良牧子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 日常のコミュニケーションを見直し、社会人として必要なビジネスコミュニケーション能力を高める ・積極的な授業参加 ・グループでの協調性とリーダーシップ ・「伝える」ことより「伝わったか」にこだわる考え方			
使用テキスト	プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 授業への参加度20%、テスト80%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	自己紹介の仕方	自己紹介の必要性・効果的な自己紹介の仕方・発表の仕方		
2回	コミュニケーションの必要性	コミュニケーションゲームにより、日常のコミュニケーションレベルの把握とコミュニケーションのポイント		
3回	話し方	正しい日本語を話すために、発声、早口言葉を練習し、基礎をマスター		
4回	インプットとアウトプット①	座学で学んだことを、言葉にして説明する		
5回	インプットとアウトプット②	”		
6回	取材	取材しまとめ、文章にして発表		
7回	プレゼンテーション	コミュニケーション行動チェックとこれまでの総まとめ		
8回	試験	試験と復習		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科/エアポート科	R/Wクラス
科目名	社会情勢研究			
担当講師(フルネーム)	久保田博子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 新聞を通じて社会情勢について理解する メディアリテラシーの能力を身につける 自分の意見をまとめ、表現する			
使用テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業内プレゼンテーション・授業態度等で評価する			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、評価方法について 新聞の基礎知識を学ぶ 新聞文章の特徴をつかむ		
2回	新聞を読む①	新聞を効率的に読むために、新聞構成を理解する 新聞独特の文体に着目する 事実の記述と意見の記述を識別する		
3回	新聞を読む②	新聞記事をもとに一分間スピーチの準備「私のトップニュース」		
4回	私のトップニュース①	「私のトップニュース」をニュース原稿に書き換え、スピーチの準備		
5回	私のトップニュース②	一分間スピーチ「私のトップニュース」		
6回	コラム①	コラムを読み、分析する 難解語句を抜き出し、意味を調べる コラムの構成を分析し、要旨をまとめる 自分の意見をまとめる		
7回	コラム②	まとめたコラムを発表する		
8回	まとめ	質問、意見交換 まとめ		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	航空業界試験対策(GS)			
担当講師(フルネーム)	原田歩			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・経験から得たことを最大限に活かし、内定を目指す ・グランドスタッフとして求められる要素を再認識し、努力する ・内定後、入社まで必要なスキルを身につける			
使用テキスト	『CAメイクと面接の本』・就職活動ノート(各自使用しているもの)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50%(授業態度、課題) ・復習テスト 50%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・各々の受験状況を確認する ・自己分析シートを確認する		
2回	自己分析	・学校生活、部活動、習い事で得たことで現在に活かされていることを共有する ・長所、短所を再確認する ・自分のことを表現する方法を学ぶ		
3回	実習の振り返り	・実習を振り返り、実習生ならではの気づきを共有する ・イレギュラーなど印象に残った事例を共有する ・クレームについて考える		
4回	GSとして求められる人物像	・GSの業務、役割を復習する ・GSとして求められる人物像について考える ・面接練習		
5回	目指すGS像と女性像	・GSとして3年後、5年後、10年後の業務、役割を復習する ・目指すGS像と女性像について考える ・面接練習		
6回	志望動機	・志望動機を見直す ・具体的に自分の言葉で伝える ・相手に伝わっているか確認する ・復習テスト		
7回	グループディスカッション	・役割について復習する ・様々な討論方式にチャレンジする ・進行のポイントを学ぶ		
8回	20代のテーマ	・20代のテーマを発表する ・仲間にエールを送る ・まとめ		

対象学年	2年	エアライン科	R選択クラス
科目名	航空業界試験対策(CA)		
担当講師(フルネーム)	森田房子		
到達目標	CAの合格者を出す		
使用テキスト	教科書 DVD		
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 面接内容 80% 平常点20%		
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択	
	テーマ	授業内容	
1回 4/10	面接	1. 内定が決まった学生より話を聞く 2. 採用試験の近い学生から面接実習 (身だしなみ、表情、態度、話し方、笑顔)	
2回 4/17	グループディスカッション	受験者の表情や話し方、聞く態度、他者への気遣いについてチェック	
3回 4/24	面接	1回目(4月10日)の内容に同じ	
4回 5/1	面接	1回目(4月10日)の内容に同じ	
5回 5/8	グループディスカッション	2回目(4月17日)の内容に同じ	
6回 5/15	面接	1回目(4月10日)の内容に同じ	
7回 5/29	面接	1回目(4月10日)の内容に同じ	
8回 6/5	まとめ	全員発表(良かった点、努力すべき点)	

対象学年	2年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	グランドハンドリング(搭載)			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 空港におけるグランドハンドリングスタッフの役割と業務内容を深く理解させ、航空業界に就職した際、必要な知識の習得を目的とする。			
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・必要に応じプリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	グランドハンドリング業務	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)前期授業内容を具体的に説明する グランドハンドリング関連業務について学ぶ JAL・ANA系グランドハンドリング企業の紹介と業務内容について学ぶ		
2回	安全管理	安全管理一般・航空機優先について学ぶ 機体付近の安全(グランドハンドラーの危険地帯)について学ぶ 高所作業の安全・事故事例・消火器・防具について学ぶ		
3回	品質管理	品質管理とはについて学ぶ 航空輸送の品質について学ぶ サービスの品質・物的サービスと人的サービス・社内サービスについて学ぶ		
4回	業務の安全と品質	品質管理の効用とコストについて学ぶ 不具合対策の先取り(ヒューマン・エラーの防止対策)について学ぶ 品質管理の実施について説明し理解する		
5回	グランドハンドリング情報	グランドハンドリング・サービス・ポイントの寸法および位置について学ぶ 運行スケジュールの見方、日本の航空会社運行機材について学ぶ 小テスト(採点と解説)		
6回	グランドハンドリング情報	ULDの種類とタイプ及びIATA IDコードについて更に学ぶ 地上支援業務とGSEについて再度、学ぶ 地上支援業務について具体的に説明し理解させる		
7回	空港・航空会社コード	空港のスリーレター・コードを再確認し理解する IATA・ICAO空港コード(地理的空港の位置)について学ぶ エアライン・コード(2レター・3レター)について学ぶ		
8回	搭載監督者業務	出発便の搭載監督者業務・到着便の搭載監督者業務について学ぶ 搭載監督者の資格と責任について学ぶ		
9回	特殊車両器材一覧	自走車両の名称、主用途、特徴について学ぶ 非自走車両の名称、主用途、特徴について学ぶ 各社所有器材の名称、主用途、特徴について学ぶ		
10回	航空保安体制の現状	航空機の安全と危険、作業者の安全確保(3つの防止体制)について学ぶ 航空における保安対策について学ぶ 小テスト(採点と解説)		
11回	空港管理規則	安全教本パワーポイントから説明し理解する 福岡空港制限区域内における人の立入り、車両の使用法について学ぶ 交通規則を定め、同区域内の円滑な運用について説明し理解する		
12回	危険物輸送	危険物の航空輸送に関する法規について学ぶ 航空危険物について具体的に説明し理解する 輸送禁止品目について学ぶ		
13回	危険物輸送	搭載(運航者の責任)における問題点について学ぶ 情報伝達(運航者の責任)方法について学ぶ 荷送人の責任・緊急時の処置について学ぶ		
14回	運行の安全	ウインドシアーについて具体的に説明し理解する 冬季運航(氷結)について学ぶ 鳥の衝突(バード ストライク)について説明し理解する		
15回	定時制・安全性向上への取り組み	定時性の向上への取り組みについて学ぶ 安全性の向上への取り組みについて学ぶ 環境対策の背景、目的について説明し理解する		

対象学年	2年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	航空業界試験対策(GH)			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 航空業界、就業先企業の絞り込みと企業研究を充実させ、求人票のスケジュールに沿って取り組ませ内定を勝ち取る。 採用試験に向けて具体的な方法を習得させ合格を目指す。 内定が決まった学生は自己啓発に取り組み、社会人としての自覚をもたせる。			
使用テキスト	SUCCESS 勝つための就職ガイド・就職ノート・プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物、授業態度を基に評価する。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き等)について学ぶ 最終模擬面接に向けての準備を行う		
2回	受験準備	就職活動(情報収集・企業研究)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 最終模擬面接に向けての準備を行う		
3回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 最終模擬面接を振り返り反省点を補う		
4回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う		
5回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う		
6回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う		
7回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う		
8回	社会人として	企業別、雇用体系の違いについて学ぶ 企業組織の役割について学ぶ 社会人としての自覚を持たせる		





# 国際ホテルマネジメント

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Tクラス
科目名	ホテル総論			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			
到達目標	□ 検定あり ・国内外のホテル産業の発達の歴史や変遷を学ぶ ・ホテルビジネスの基本構造を理解する			
使用テキスト	An Outline of the Modern Hotel Industry 現代ホテル産業概論 日英併記版 日本ホテル教育センター発行			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% ・期末試験 50%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 第2章ホテルビジネスの 基本と発展、変遷	授業内容、評価方法、期末テストについて 世界のトップ10ホテル		
2回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	欧米におけるホテルの発祥と近代化への歩み		
3回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	欧米におけるホテルの発祥と近代化への歩み		
4回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	欧米におけるホテルの発祥と近代化への歩み		
5回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	アジアにおけるホテル産業の発展史		
6回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	日本のホテル産業の発展史		
7回	ホテルビジネスの収益構造 と経営形態	日本のホテルビジネスと部門別収益構造		
8回	ホテルビジネスの収益構造 と経営形態	ホテル事業別収益構造 ホテルビジネスが成り立つ要因		
9回	ホテルビジネスの収益構造 と経営形態	所有・経営・運営一体方式 運営受託方式		
10回	ホテルビジネスの収益構造 と経営形態	フランチャイズ方式 リース方式		
11回	ホテルビジネスの収益構造 と経営形態	マーケティング方式 コンソーシアム方式		
12回	ホテルの種類	立地分類 市場特性・価格帯による分類		
13回	サービスの基本と職能別 サービス	ホテルとプロトコール		
14回	サービスの基本と職能別 サービス	ホテルが今、求める人材とスキル		
15回	前期まとめ	まとめ 用語解説		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント	Tクラス
科目名	フロントサービス			
担当講師(フルネーム)	松本 範子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・宿泊部門の日常業務の理解と技術取得 ・他部門との連帯作業を学ぶ ・企業実習にむけての実技取得			
使用テキスト	Basics of Accommodation Service「宿泊業務の基礎」日英併記版 日本ホテル教育センター発行			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 第1章ホテルビジネスの基本	成績評価、授業スケジュールについて説明 ゲストがホテルに求めているもの		
2回	第2章宿泊部門 宿泊部門の使命と役割	1.	宿泊部門の3機能 商品特性、業務特性	
3回	1.宿泊部門の使命と役割		宿泊部門の役割	
4回	1.宿泊部門の使命と役割		宿泊部門スタッフの心得	
5回	1.宿泊部門の使命と役割		宿泊部門スタッフの態度・動作	
6回	1.宿泊部門の使命と役割		宿泊部門スタッフの言葉づかい	
7回	1.宿泊部門の使命と役割		宿泊部門スタッフの電話対応	
8回	1.宿泊部門の使命と役割		コンプレイン対応	
9回	2.宿泊部門の業務の流れ 3.宿泊部門の組織体系と特徴		業務の流れ 外資、一般都市型、宿泊特化型、リゾートホテルの組織図	
10回	4.宿泊部門スタッフにこれから 求められる能力と資質		ビジネス感覚・情報判断力 財務・計数管理能力 企画・発想力	
11回	第3章フロントサービス 1.フロントサービスとは 2.ドアマンの業務		フロントサービス業務と組織体制 ドアマンの基本業務	
12回	2.ドアマンの業務		ドアマンの業務つづき バレーサービス	
13回	2.ドアマンの業務		館内・館外の案内 ロールプレー	
14回	4.クローク業務		荷物の預かりと引き渡し ロールプレー	
15回	学期末まとめ		学期末テストについて	

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント	Tクラス
科目名	レストランオペレーション			
担当講師(フルネーム)	松本範子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・レストラン業務に関する基礎知識を習得する			
使用テキスト	The Fundamentals of Restaurant service「レストラン業務の基礎」日英併記版 日本ホテル教育センター発行			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	第1章レストランとは	料飲部門とは レストランの種類 レストラン業務の特性		
2回	第2章レストランの組織と職務分担	レストランの組織 覚えておきたい基礎知識		
3回	第3章レストランサービス	サービス時のマナー ・身だしなみ ・接客の基本動作		
4回	第3章レストランサービス	サービス時のマナー ・言葉遣い		
5回	第6章 食器・リネン・備品の知識	シルバー・チャイナ・グラスの種類 リネン・備品の種類		
6回	第3章レストランサービス	テーブル・サービスの分類の考え方		
7回	第3章レストランサービス	メニューの知識		
8回	第3章レストランサービス	サービス業務の手順 (1)予約取り、開店前の業務 (2)開店中の業務		
9回	第3章レストランサービス	サービス業務の手順 (3)閉店後の業務		
10回	第3章レストランサービス	料飲サービス		
11回	第3章レストランサービス	衛生管理 苦情処理		
12回	第3章レストランサービス	ルームサービス コーヒーショップ		
13回	第3章レストランサービス	バーの基本知識		
14回	第3章レストランサービス	レストランまとめ		
15回	学期末まとめ	学期末テストについて		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント	Tクラス
科目名	ホテル業界研究			
担当講師(フルネーム)	松本範子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ホテルの業務内容を理解し、学生の興味と関心を高め、就職活動に役立つ知識を深める			
使用テキスト	プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方 ホテル業界研究について		
2回	ホテルの基本	ホテルに必要なものとは 利用客は何を求めてホテルを選ぶのか/日本人・外国人客目線で考える		
3回	これからのホテル	これからのホテルが目指すべきもの 価格競争だけで集客に繋がるのか		
4回	ホテルの形態・種類	ホテルビジネスにおける経営形態 外資系との違い		
5回	ホテルの形態・種類	ホテルの組織体系 部署と役割		
6回	ホテル種類別研究	リゾートホテルとは？ イメージ・特徴・客層・長所・短所・集客方法・広告戦略など調べる		
7回	ホテル種類別研究	リゾートホテルの続き 研究発表の準備		
8回	研究発表	リゾートホテル研究発表		
9回	ホテル種類別研究	ビジネスホテルとは？ イメージ・特徴・客層・長所・短所・集客方法・広告戦略など調べる		
10回	ホテル種類別研究	ビジネスホテルの続き 研究発表の準備		
11回	研究発表	ビジネスホテル研究発表		
12回	ホテル種類別研究	シティホテル イメージ・特徴・客層・長所・短所・集客方法・広告戦略など調べる		
13回	ホテル種類別研究	シティホテルの続き 研究発表の準備		
14回	研究発表	シティホテル研究発表		
15回	前期まとめ	研究発表のまとめ		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Tクラス
科目名	現代国語			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	〇 検定あり この科目を通じて、正しい漢字の筆順・漢字の音読みと訓読みを具体的な文章を通じて学習し、文章の基本的な読解力と基本的な日本語文章作成能力を修得できるようになります。またこの科目を受講することで、日本企業に就職する際に実施されるSPI能力検査試験の言語分野の能力・学力を修得することもできます。そのための方法として、中学生レベルの毎週の新聞記事・社説を素材に講義を行います。漢字にはすべてふりがながついているので漢字に慣れていない留学生も新聞を読むことができます。最近の外国人留学生は、日本人の学生同様、従来のメインカルチャーより、サブカルチャー(アニメ ポップミュージック アニソン メイド kawaii)に興味がありサブカルがきっかけで日本に留学する人もいます。この科目ではサブカルチャーを通じて現代日本の文化に触れることもできます。講義はわかりやすく、楽しく行います。			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・適宜小テストを実施 80%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	日本語文法①	体言 用言 助詞 格助詞 接続助詞 現在形 過去形 未来形 試験に最も出るのが格助詞の種類と意味		
2回	日本語文法②	日本語文章と英語文章の構造の違い 名詞 動詞 原型 過去形 前置詞 動名詞 進行形 現在分詞 過去分詞 不定詞 関係代名詞		
3回	漢字 偏と旁	漢字ドリル その漢字の正しい筆順と音読み・訓読みのトレーニング 3回から15回まですべて実施 漢字の例文を通じて現代文の作成トレーニング		
4回	四字熟語と二語の構成	日没 主語用言(動詞) 開花 動詞とその目的語 多少・異同 反対の関係 移動 同じ意味の関係 危機一髪 呉越同舟 一日千秋 五里霧中 不俱戴天 針小棒大		
5回	日本語語彙力①	ことわざ(動物 体の一部 漢数字を使ったことわざで、日本人とコミュニケーションを取るには必要なもの また将来日本企業に就職する際にも必要)		
6回	現代文の作成 並列 仮定	Aは、,,,,,,である。Bも、,,,,,,である。もしAが、、、ならAは、,,,,,,することができたでしょう。		
7回	現代文の作成 比較	Aは、,,,,,,である。他方Bは、,,,,,,である。その結果AはBと比較して、,,,,,,である。		
8回	現代文の作成 原因と結果	A(日本列島はいくつものプレートの上に乗っている)は、,,,,,,である。その結果B(日本は世界有数のプレート型地震国)である		
9回	日本のサブカルチャー	日本のサブカルチャーのキーワード 世界kawaii革命 kawaiiという言葉のもつ意味 使用場面 英語と日本語で学ぶ、アニメ、マンガ メイドなど		
10回	現代国語 時事問題 現代文の作成・リーディング	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高年生レベルの新聞記事の読みとまとめの感想文の作成		
11回	現代国語 時事問題 現代文の作成・リーディング	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高年生レベルの新聞の読みとまとめの感想文の作成		
12回	現代国語 時事問題 現代文の作成・リーディング	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高年生レベルの新聞の読みとまとめの感想文の作成		
13回	現代国語 時事問題 現代文の作成・リーディング	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高年生レベルの新聞の読みとまとめの感想文の作成		
14回	現代国語 時事問題 現代文の作成・リーディング	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高年生レベルの新聞の読みとまとめの感想文の作成		
15回	現代国語 時事問題 現代文の作成・リーディング	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高年生レベルの新聞の読みとまとめの感想文の作成		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Tクラス
科目名	ペン字			
担当講師(フルネーム)	安藤清子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 文字の結体(作り方)とバランス 文字を書くための書式を学ぶ			
使用テキスト	オリジナルテキスト、下敷、ボールペン(プラスチックペン)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・小テスト			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	文字の基本を学ぶ①	姿勢・ペンの持ち方 文字の時代的変遷(日本で使う文字の特徴) 筆順		
2回	文字の基本を学ぶ②	平仮名の特徴とバランスと名前 筆順		
3回	文字の基本を学ぶ③	片仮名の特徴とバランスと名前 筆順		
4回	文字の基本を学ぶ④	平仮名と片仮名のまとめ 数字の書き方 筆順		
5回	文字の基本を学ぶ⑤	横書き(1)横書きの書式と特徴 筆順		
6回	文字の基本を学ぶ⑥	横書き(2)横書きの書式と特徴 筆順		
7回	文字の基本を学ぶ⑦	横書き(3)横書きの書式と特徴 筆順		
8回	文字の基本を学ぶ⑧	横書き(4)横書きの書式と特徴 筆順		
9回	文字の基本を学ぶ⑨	縦書き(1)縦書きの書式と特徴 漢字の部分(部首)		
10回	文字の基本を学ぶ⑩	縦書き(2)縦書きの書式と特徴 漢字の部分(部首)		
11回	文字の基本を学ぶ⑪	縦書き(3)縦書きの書式と特徴 漢字の部分(部首)		
12回	実用書を学ぶ①	はがきの表書きの書き方 はがきの書式を学ぶ 漢字の部分(部首)		
13回	実用書を学ぶ②	暑中見舞いの書き方 暑中見舞いの時期と由来 漢字の部分(部首)		
14回	実用書を学ぶ③	暑中見舞いの書き方 書き取り練習 漢字の部分(部首)		
15回	まとめ	第1回～第11回までのまとめと復習 まとめ		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント	科	T	クラス
科目名	コンピュータ					
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美					
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり ICT表計算技能標準試験(3級・2級・1級) Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要な文書作成スキルを身につける Microsoft Excelの基礎知識を学び、ICT表計算技能標準試験2級レベルのスキルを習得する Microsoft PowerPointおよびプレゼンテーションの基礎知識を学び、説得力のあるプレゼンスキルを身につける					
使用テキスト	ICT表計算技能標準試験過去問題集 タイピング問題・Word・Excel基礎問題プリント配布					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・小テスト 期末試験 80%					
期末試験		※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択				
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作 タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※送付状・お礼状の作成				
3回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※ビジネスメール				
4回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※報告書などの作成とメール添付				
5回	Word基礎・応用	タイピング練習 画像などを含む文書作成 ※クリップアート、ワードアート、ページ罫線など				
6回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) Excelの画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 計算式				
7回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
8回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 効率よく表を作成する方法、データ入力について学ぶ 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
9回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒、横棒、折れ線、円グラフ)				
10回	PowerPoint	PowerPointの基本操作 サンプルスライドの作成 ※スライドのレイアウト、画面切替効果、サウンド、アニメーション効果など				
11回	PowerPoint	課題となるテーマとストーリーを考える(14、15回に発表) スライドの作成				
12回	PowerPoint	スライドの作成と編集 配色、スライドデザイン、文字・段落の書式設定 図形・グラフ・画像などの挿入、様々な効果を付ける				
13回	PowerPoint	スライドの作成と編集 リハーサル 発表のための準備や発表時の注意点など				
14回	プレゼンテーション発表 (試験)	OAルームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること				
15回	プレゼンテーション発表 (試験)	OAルームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること				



対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	T留②クラス
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			
担当講師(フルネーム)	恵良恭子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 日本語能力試験N2合格を目指す			
使用テキスト	新完全マスターN2語彙			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% ・期末試験50%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	N2語彙	N2語彙 授業の進め方—話題別に 1章—1課・2課(意味と例文・基本れんしゅう(1章—1課・2課) 小テスト		
2回	N2語彙	N2語彙 (1章—1課・2課)実践練習—(1章—3課) 言葉の意味と例文・基本練習 小テスト		
3回	N2語彙	N2語彙 (1章—3課)実践練習—(2章—1課) 言葉の意味と例文・基本練習 小テスト		
4回	N2語彙	N2語彙 (2章—1課)実践練習—(2章—2課) 言葉の意味と例文・基本練習		
5回	N2語彙	N2語彙 (2章—2課)実践練習 —(3章)趣味・娯楽—言葉の意味と例文・基本練習 小テスト		
6回	N2語彙	N2語彙 (3章)実践練習 —(4章—1課)旅行—言葉の意味と例文・基本練習 小テスト		
7回	N2語彙	N2語彙 (4章—1課)実践練習—(4章—2課)旅行—言葉の意味と例文・基本練習		
8回	N2語彙	N2語彙 (4章—2課)実践練習—(5章—1課)教育と仕事—言葉の意味と例文・基本練習 小テスト		
9回	N2語彙	N2語彙 (5章—1課)実践練習 —(5章—2課)教育と仕事—言葉の意味と例文・基本練習 小テスト		
10回	N2語彙	N2語彙 (5章—2課)実践練習 —1章～5章 復習テスト 小テスト		
11回	N2語彙	N2語彙 (6章—1課) 報道・広告 言葉の意味と例文・基本練習 実践練習		
12回	N2語彙	N2語彙 (6章—2課) コンピューター 言葉の意味と例文・基本練習 実践練習		
13回	N2語彙	N2語彙 (7章—1課) 社会・行事 言葉の意味と例文・基本練習 小テスト		
14回	N2語彙	N2語彙 (7章—1課) 社会 実践問題 小テスト		
15回	N2語彙	N2語彙 (7章—2課) 社会 言葉の意味と例文・基本練習 小テスト		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	T2留クラス
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり JLPT N2 JLPTN2合格を目指す。非漢字圏の学習者にとって漢字は難関の一つである。予習、復習を欠かさず ネットからアプリをダウンロードするなど日頃から地道な努力をしてもらいたい。			
使用テキスト	ドリル&ドリル プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 30% ・期末試験 40% 小テスト 30%			
期末試験	<input type="radio"/> ※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ <input type="radio"/> 期末試験なし・・・× を枠に選択			
	テーマ	授業内容		
1回	聴解・漢字 1	課題理解 1 漢字 テーマ別日本語より		
2回	聴解・漢字 2	課題理解 2 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
3回	聴解・漢字 3	課題理解 3 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
4回	聴解・漢字 4	課題理解 4 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
5回	聴解・漢字 5	課題理解 5 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
6回	聴解・漢字 6	ポイント理解 1, 2 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
7回	聴解・漢字 7	ポイント理解 3, 4 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
8回	聴解・漢字 8	即時応答 1 2 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
9回	聴解・漢字 9	即時応答 3 4 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
10回	聴解・漢字 10	能力試験対策		
11回	聴解・漢字 11	能力試験対策		
12回	聴解・漢字 12	概要理解 1 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
13回	聴解・漢字 13	概要理解 2 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
14回	聴解・漢字 14	概要理解 3 漢字 テーマ別日本語より 漢字テスト		
15回	聴解・漢字 15	期末試験対策		

対象学年	1・2年共通	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S留T留①クラス
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ（聴解・漢字）			
担当講師（フルネーム）	恵良恭子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 日本語能力試験N1合格を目指す			
使用テキスト	聴解——N1ドリル&ドリル（プリント冊子） 漢字——新完全マスターN1（プリント冊子）			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% ・期末試験50%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	N1・聴解・漢字	N1聴解 授業の進め方—<課題理解>1回—1問～6問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第1回 動詞Aレベル(1)		
2回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <課題理解>2回—1問～6問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第1回 動詞Aレベル(2)		
3回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <課題理解>3回—1問～6問 メモの取り方（何・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第1回 動詞Aレベル(3)		
4回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <課題理解>4回—1問～6問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第1回 テスト(1)(2)(3)		
5回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <ポイント整理>1回—1問～6問 メモの取り方（何・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第2回 動詞Aレベル(4)		
6回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <ポイント整理>2回—1問～6問 メモの取り方（何・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第2回 動詞Aレベル(5)		
7回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <ポイント整理>3回—1問～6問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした）スクリプト・語彙確認 N1漢字 第2回 動詞Aレベル(6)		
8回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <ポイント整理>4回—1問～6問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした）スクリプト・語彙確認 N1漢字 第2回 動詞Aレベル(7)		
9回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <概要理解>1回—1問～6問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした）スクリプト・語彙確認 N1漢字 第2回 テスト(4)(5)(6)		
10回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <概要理解>2回—7問～12問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第3回 動詞Bレベル(1)		
11回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <概要理解>3回—13問～18問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第3回 動詞Bレベル(2)		
12回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <概要理解>4回—19問～24問 メモの取り方（何・誰が・いつ・どこ・どうした） スクリプト・語彙確認 N1漢字 第3回 動詞Bレベル(3)		
13回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <即時応答>1回—1問～14問 N1漢字 第3回 テスト(1)(2)(3)		
14回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <即時応答>2回—15問～28問 N1漢字 第4回 動詞Bレベル(4)		
15回	N1・聴解・漢字	N1聴解 <即時応答>3回—29問～42問 N1漢字 第4回 動詞Bレベル(5)		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	T留②クラス
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)			
担当講師(フルネーム)	上中眞由美			
到達目標 <input checked="" type="checkbox"/> 検定あり	日本語能力試験N2合格を目指す			
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験 文法トレーニング N2 (アルク) 必要に応じてプリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% ・期末試験 50%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	N2文法	授業の進め方・成績評価方法について N3文法テスト テキストUnit01 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
2回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit01 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
3回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit01 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
4回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit01 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
5回	N2文法	N3文法復習 前回のテスト テキストUnit02 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
6回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit02 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
7回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit02 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
8回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit03 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
9回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit03 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
10回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit03 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
11回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit03 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
12回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit04 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
13回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit04 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
14回	N2文法	前回の小テスト Unit01～03 復習(まとめテスト1) テキストUnit04 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
15回	N2文法	前回の小テスト Unit01～03 復習(まとめテスト1) テキストUnit04 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		

対象学年	1・2年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S留T留①クラス
科目名	日本語能力試験対策 Ⅲ (文法)			
担当講師(フルネーム)	恵良恭子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 日本語能力試験N1合格を目指す			
使用テキスト	文法——耳から覚える文法トレーニングN1			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 50% ・期末試験50%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	N1文法	N1文法 授業の進め方—UNIT 01—1～5 ディクテーション・確認小テスト		
2回	N1文法	N1文法 UNIT 01—6～10 ディクテーション・確認小テスト		
3回	N1文法	N1文法 UNIT 01—11～13 ディクテーション・確認小テスト 01—1～13テキスト練習問題(復習・チェック)		
4回	N1文法	N1文法 UNIT 02—14～18 ディクテーション・確認小テスト		
5回	N1文法	N1文法 UNIT 02—19～23 ディクテーション・確認小テスト		
6回	N1文法	N1文法 UNIT 02—24～26 ディクテーション・確認小テスト 02—14～26テキスト練習問題(復習・チェック)		
7回	N1文法	N1文法 UNIT 03—27～31 ディクテーション・確認小テスト		
8回	N1文法	N1文法 UNIT 03—32～37 ディクテーション・確認小テスト		
9回	N1文法	N1文法 UNIT 03—38～39 ディクテーション・確認小テスト 03—27～39テキスト練習問題(復習・チェック)		
10回	N1文法	N1文法 UNIT 01～03—1～39 まとめテスト 1		
11回	N1文法	N1文法 UNIT 04—40～43 ディクテーション・確認小テスト		
12回	N1文法	N1文法 UNIT 04—44～48 ディクテーション・確認小テスト		
13回	N1文法	N1文法 UNIT 04—49～52 ディクテーション・確認小テスト		
14回	N1文法	N1文法 04—40～52テキスト練習問題(復習・チェック)		
15回	N1文法	N1文法 UNIT 05—53～57 ディクテーション・確認小テスト		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	TS留①クラス
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)			
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり テストので高得点を目的とするだけでなく、抽象的なテーマや短編小説などを多読・速読することで四技能の充実と運用力の向上をめざす 語彙数が急増するので、新語は自宅で予習してくること 中級で学ぶ日本語 (KENKYUSHA)・留学生の日本語・短編小説			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50%(授業態度・予習の程度・小テスト) ・期末試験 50%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	1課	・新語・漢字 ・音読 ・答えましょう		
2回	1課	・文法 ・速読 正誤問題 ・まとめ問題		
3回	3課	・1課 復習テスト ・3課 新語・漢字 ・3課 音読 答えましょう		
4回	3課	・音読 内容把握 ・文法 ・確認テスト		
5回	5課	・3課 復習テスト ・5課 新語 漢字 ・5課 音読 答えましょう		
6回	5課	・5課 内容確認 ・5課 文法 ・使いましょう		
7回	7課	・1-5 復習 (速読) ・7課 新語 漢字 ・5課 復習テスト		
8回	7課	・7課 音読 内容把握 ・7課 文法		
9回	7課	・1～7課 漢字テスト ・7課 速読・まとめ		
10回	N2試験対策			
11回	N2試験対策			
12回	8課	・8課 新語 漢字 ・音読 内容把握 ・答えましょう		
13回	8課	・8課 使いましょう ・8課 文法 ・まとめましょう 速読		
14回	8課・9課	・8課 まとめテスト ・9課 新語 漢字 ・速読 正誤問題		
15回	8課	・9課 内容把握 ・9課 使いましょう		

対象学年	1・2年共通	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	T・S留②クラス
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)			
担当講師(フルネーム)	上中眞由美			
到達目標 <input checked="" type="checkbox"/> 検定あり	日本語能力試験N1合格を目指す			
使用テキスト	プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 50% ・期末試験 50%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	N1読解	授業の進め方・成績評価方法について 長文を読み、読解力をつける		
2回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		
3回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		
4回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		
5回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		
6回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		
7回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する		
8回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する		
9回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する		
10回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する		
11回	N1読解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する		
12回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		
13回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		
14回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		
15回	N1読解	長文を読み、読解力をつける		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	T留クラス
科目名	日本語ビジネス会話			
担当講師(フルネーム)	恵良 恭子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ビジネスにすぐに役に立つ会話表現の習得が目標。敬語を使った表現や日本語独特の言い回しなど学習。			
使用テキスト	日本語ビジネス会話(スリーエーネットワーク)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点…50%(各種テスト・授業態度) ・期末試験…50%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ビジネス会話 1	ビジネス会話の進め方 L1 紹介 新語と基本文型 STEAG1(社内)——自己紹介をする 文法——帯練習 ①		
2回	ビジネス会話 2	L1 単語テスト L1 STEAG 2(社外)——自己紹介 文法——帯練習 ②		
3回	ビジネス会話 3	L1 STEAG1~2(社内・社外)復習 ロールプレイ 会話1・会話2 文法——帯練習 ③		
4回	ビジネス会話 4	L1 STEAG3~4(社内・社外) 会話作成 文法——帯練習 ④		
5回	ビジネス会話 5	L2 あいさつ 新語と基本練習 STEAG1(社内) 文法——帯練習 ⑤		
6回	ビジネス会話 6	L2 あいさつ 単語テスト L2 STEAG 1(社外) ロールプレイ 文法——帯練習 ⑥		
7回	ビジネス会話 7	L2 STEAG 1(社内) ロールプレイ 文法——帯練習 ⑦		
8回	ビジネス会話 8	L2 STEAG 2(社内・社外)ロールプレイ 文法——帯練習 ⑧		
9回	ビジネス会話 9	L2 STEAG 3・4 会話を作って発表 文法——帯練習 ⑨		
10回	ビジネス会話 10	L3 許可 新語と基本練習 STEAG1(社内) 文法——帯練習 ⑩		
11回	ビジネス会話 11	L3 許可 単語テスト L3 許可 STEAG 1(社外)——STEAG1(社内・社外)復習 文法——帯練習 ⑪		
12回	ビジネス会話 12	L3 許可 —STEAG 2(社内・社外) ロールプレイ 文法——帯練習 ⑫		
13回	ビジネス会話 13	L3 許可 STEAG 3(社内) 文法——帯練習 ⑬		
14回	ビジネス会話 14	L3 許可 STEAG 4(社外) 文法——帯練習 ⑭		
15回	ビジネス会話 15	L3 復習 いろいろな場面で許可を求める——会話を作って発表 文法——帯練習 ⑮		



対象学年	2年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S留クラス
科目名	日本語ビジネス会話			
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり JBT 中級終了者を対象にビジネスにすぐに役に立つ会話表現の習得が目標 留学生の苦手の敬語を使った表現や日本独特のビジネス用語の言い回しなど 多くの練習が必要とされる授業なので欠席しないこと 友だち同士で練習したり アプリを使って練習するなど日常生活の中でも取り組んで勉強すること 各課の単語数と基本文型が多いので 必ず予習・復習をすること ・オビとして 文法の復習プリント			
使用テキスト	ビジネス日本語 初中級(スリーエーネットワーク)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% (各種テスト・授業態度) ・期末試験 50%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ビジネス 1	L5 単語と重要文型 漢字 ①		
2回	ビジネス 2	L5 stage 1 社内 L5 単語テスト 漢字 ②		
3回	ビジネス 3	L5 単語テスト L5 stage1 社外 漢字 ③		
4回	ビジネス 4	L5 stage 2 社内 漢字 ④		
5回	ビジネス 5	L5 stage 2 社外 漢字 ⑤		
6回	ビジネス 6	L5 stage3 漢字 ⑥		
7回	ビジネス 7	L5 stage 4 読み物 復習 漢字 ⑦		
8回	ビジネス 8	L6 単語と重要文型 漢字 ⑧		
9回	ビジネス 9	L6 単語テスト L6 stage 1 社内 漢字 ⑨		
10回	N1 対策			
11回	N1 対策	L6 単語テスト L6 stage 1 社内 漢字 ⑩		
12回	ビジネス 12	L6 stage 1 社外 漢字 ⑪		
13回	ビジネス 13	L6 stage 1 社内 漢字 ⑫		
14回	ビジネス 14	L6 stage 2 社外 漢字 ⑬		
15回	ビジネス 15	L6 stage 3 漢字 ⑭		

対象学年	2年	対象クラス	国際ホテルマネジメント	T留クラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	松本範子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 就職活動に向けて準備を行い、基本マナーを身に付ける			
使用テキスト	プリント使用			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	ワークシートの作成内容と授業態度・・・50%			
	提出物による評価・・・50%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方 就職活動の心構え 就職する理由と自覚		
2回	就職活動の準備	就職するにあたっての身だしなみ 就職の流れ 就職室について		
3回	自己PR	自分を知る(自己分析) 長所・短所 将来の目標		
4回	自己PR	自分の能力を把握する 面接官にアピールできること		
5回	自己PR	自己PRを見直す、書き直す 履歴書と面接の自己PR		
6回	志望動機	志望動機の例を見て、書き方を考える 実習先のホテルを例に志望動機を作ってみる		
7回	志望動機	実習先のホテルを例に志望動機を作ってみる		
8回	企業研究	企業研究シートとは 情報収集の仕方 企業開催セミナー・説明会		
9回	企業研究	企業研究シートを作成する		
10回	志望動機	企業研究をもとに志望動機を考える		
11回	志望動機	志望動機作成の続き		
12回	履歴書	実際に履歴書を書いてみる		
13回	面接の練習	自己PRと志望動機		
14回	面接の練習	自己PRと志望動機のつづき		
15回	まとめ	授業のまとめ 提出物の確認		

対象学年	2年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S留クラス
科目名	ペン字			
担当講師(フルネーム)	安藤 清子			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり すべての書式を考えながら読みやすい文字を書く			
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷・ボールペン(プラスチックペン)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・小テスト			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	履歴書を書き方	横書きの書式を考えながら履歴書を書く①		
2回	履歴書を書き方	横書きの書式を考えながら履歴書を書く②		
3回	履歴書を書き方	横書きの書式を考えながら履歴書を書く③		
4回	履歴書を書き方	横書きの書式を考えながら履歴書を書く④まとめ		
5回	実用書の書き方	はがきの書き方		
6回	実用書の書き方	封筒の書き方 長封筒 個人宛		
7回	実用書の書き方	封筒の書き方 長封筒 企業宛		
8回	実用書の書き方	封筒の書き方 A4封筒の書き方		
9回	実用書の書き方	縦書きの書式を考えながらお礼状の書き方を学ぶ①		
10回	実用書の書き方	縦書きの書式を考えながらお礼状の書き方を学ぶ②		
11回	実用書を筆ペンで書く	筆ペンの特徴と書き方 基本線の書き取りなど		
12回	実用書を筆ペンで書く	慶弔の表書き①お祝い事の表書きと由来		
13回	実用書を筆ペンで書く	慶弔の表書き①おくやみ事の表書きと由来		
14回	実用書を筆ペンで書く	様々な実用書を書く①		
15回	実用書を筆ペンで書く	様々な実用書を書く②まとめ		

対象学年	2年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S留T留①クラス
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			
到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 検定あり 日本語能力試験 N1合格 語彙の習得を定着させるために 必要語彙を使った短文作成と反復学習を行うことで合格を目指します 予習してきたものとして授業は進むので 休んだり予習をしなければ授業についていけなくなるので 予習・復習は欠かさずやるように。 耳から覚える語彙トレーニングN1・N2 (アルク) N1 読解問題 (随時) 読解はN1のプリント配布(その都度 短文を中心とした授業)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50%( 授業態度・予習の程度・小テスト) ・期末試験 50%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	検定語彙 1・読解N1	テキスト 926-940 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 読解		
2回	検定語彙 2・読解N1	前回 復習 テキスト 941-965 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 読解		
3回	検定語彙 3・読解N1	前回復習 テキスト 966-990 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
4回	検定語彙 4・読解N1	確認テスト 212-215 テキスト 991-1000 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
5回	検定語彙 5・読解N1	前回の復習テスト テキスト 1001-1020 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
6回	検定語彙 6・読解N1	前回の復習テスト テキスト 1021-1040 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
7回	検定語彙 7・読解N1	復習テスト テキスト 1041-1060 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
8回	検定語彙 8・読解N1	N1 対策問題		
9回	検定語彙 9・読解N1	N1 対策問題		
10回	検定語彙 10・読解N1	テキスト 1060-1080 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 読解		
11回	検定語彙 10・読解N1	前回復習テスト テキスト 1081-1095 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 読解		
12回	検定語彙 10・読解N1	Unit 11 Unit 12 FB テキスト 1096-1112 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1読解		
13回	検定語彙 9・読解N1	テキスト 1113-1137 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 読解		
14回	検定語彙 10・読解N3	前回復習 テキスト 1138-1160 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N1 読解		
15回	検定語彙 9・読解N4	テキスト 総復習		

対象学年	2年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	SPI対策言語			
担当講師(フルネーム)	山本真美			
到達目標	□ 検定あり 就職試験における筆記試験試験分野・言語系の対策授業 SPI言語の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す。同時に他の試験問題(時事問題、一般常識、適性検査)にも対応できるよう実力を養成する。			
使用テキスト	・一般常識チェック&マスター (実教出版株式会社) ・一般常識/一問一答 (新星出版社)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・前期試験70%、平常点(課題提出、授業態度等)30%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	漢字検定試験	・授業の進め方、評価方法の確認 ・漢字検定試験を解いてみよう ( 6/15校内で実施される漢字検定に向けての準備 / 任意受検 )		
2回	都道府県を極める	・日本の白地図を使用して都道府県を確認する ・SPI言語 練習問題 同意語(意味や内容が近い語)①		
3回	世界地図を広げよう①	・日本をおさえたら、次は世界。白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう ・SPI言語 練習問題 同意語②		
4回	世界地図を広げよう②	・2週にわたり、世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします ・SPI言語 練習問題 四字熟語①		
5回	グローバル社会の住人①	・世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます ・SPI言語 練習問題 四字熟語②		
6回	グローバル社会の住人②	・程よい付き合いは、人にとっても国にとっても重要で重要。国同士の『付き合い』を地域協定を通して考えます ・SPI言語 練習問題 四字熟語③		
7回	グローバル社会の住人③	・『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？今年はカナダのマルベイでの開催です ・SPI言語 練習問題 慣用句①		
8回	あなたの『1票』の重さは？	・政治① 国会議員の人数や任期を知るとともに国会の仕組みについて学びます ・SPI言語 練習問題 慣用句②		
9回	霞が関ってどこですか？	・政治② 内閣と1府12省庁と関連機関を確認します ・SPI言語 練習問題 慣用句③		
10回	地方公共団体	・政治③ 中央政治のあとは、地方政治を学びます ・SPI言語 練習問題 反意語(意味や内容が反対の語)①		
11回	裁判員裁判って何？	・裁判所について学びます。裁判員制度は聞いたことがあるけど… ・SPI言語 練習問題 反意語②		
12回	循環する『お金』	・銀行に預けたお金はどこへ行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近に ・SPI言語 練習問題 同意語と反意語		
13回	『お札』は技術の結晶	・偽札は国を揺るがす大犯罪。各国は国の威信をかけてお札をつくります。日本の技術を実際に肌で感じて、お札を通して経済に興味を持ちましょう。 ・SPI言語 練習問題 ことわざ①		
14回	経済用語を覚えよう	・CEO、COO、CFO、代表取締役社長、いろんな呼び名があります。それらもあわせて覚えよう ・SPI言語 練習問題 ことわざ②		
15回	前期の総復習&課題	前期の復習と夏休みの課題説明 ・SPI言語 練習問題 ことわざ③		

対象学年	2年	対象クラス	国際マネジメント科	Sクラス
科目名	SPI非言語対策			
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 航空系、旅行系、ホテル系などの企業の能力適性検査試験(就職試験)に合格するのに必要な非言語分野の能力・学力を修得することが出来ます。これらの企業・会社で採用されているのは、主に(株)リクルートキャリア社のSPI(テストセンター WEBテスト ペーパー)の3種類です。最近ではSPIのテストセンターかWEBテストのどちらかです。WEBテストはセンター試験の会場・学校・自宅などPC環境の設備のある場所で自分の都合の良い時間と曜日に自分一人で受検(能力適性検査試験を受けるので受検)するタイプです。受検希望者が多い企業ではまずまず採用されていくように思います。また企業によっては、一般常識というペーパー形式の試験があります。その場合数学・算数分野の中で、食塩水の濃度・年齢算などの文章題と計算問題が出題されます。SPI-3の分野では、推論分野からの出題が非常に増えています。能力適性検査試験に合格しなければ、面接試験という土俵が上がって、航空・旅行・ホテル・ブライダル業界に対する、あなたの誰よりも業界に対する熱い思いと、今まで誰よりも頑張ってきた、あなたの面接の努力のあかしを面接官にぶつけることはできません。一次の能力適性検査試験に合格して、二次の面接試験の土俵に立ち、そして最終合格!あなたの夢の実現のため全力でサポートします。			
使用テキスト	SPI非言語			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 <span style="float: right;">・平常点 20% ・期末試験 80%</span>			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認	講義指針、内容などに関する事項 航空業界・旅行ホテル業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わずに問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推理し論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。		
2回	鶴亀算1 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方でいて短時間で正解にたどり着ければそれでよいのです。		
3回	鶴亀算2 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならぬ。バイトの学生が20個仕上げ、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか		
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算	この問題は小学校では旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後Bが分速80mで追いつけた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつきましたか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。		
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算と流水算	この問題は小学校では旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出動するため、午前8時に自転車で時速21kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時何分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。		
6回	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の濃度の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。実際、ホテル、空港、ブライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないとはいえません。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?		
7回	食塩水の濃度2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。実際、ホテル、空港、ブライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないとはいえません。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといえますか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント		
8回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースが多々あります。SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思います。		
9回	比と割合 玉手箱(計数理解)	割合の考え方を基本に問題演習を実践します 割引・割り増しの考え方を理解できるようにします。この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えばバラが全部で90本 赤バラと白バラの比が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか? 比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI-3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内まさに時間との闘い。		
10回	確率1 Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1-分数】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?		
11回	順列1 Permutation	順列の基本的な考え方は難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式は、 $nPr$ $P = \text{permutation} = \text{順列}$ $n$ は全体の数字 $r$ は $n$ 個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけですから絶対に落とせません。 順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。SPI-3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません		
12回	組み合わせ1 Combination	順列が理解できないと組み合わせは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違えば別物と考えます。組み合わせは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC~CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 $nCr$ $C = \text{Combination}$ 公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。		
13回	仕事算1	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量 = $1 \div$ かかった日数(時数分秒数) Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとて多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いちがallの意味に使われています。詳しくは講義の中で。		
14回	仕事算2 暗号問題	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する? など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI-2には出題、されていませんでした。SPI-3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためられます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさとセンスがためられます。		
15回	前期学習の総まとめ	鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数理解 と 後期学習の最重要分野の推論について		

# 夜間総合観光

対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	就職活動講座(LHR)			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる。 就職活動に必要な基本事項の完成を目指す。			
使用テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは)		
2回	就職活動の基本	入社試験の内容と流れ 就職活動のルール 当学科の2年間		
3回	自己分析	あなたのモットー・座右の銘は？		
4回	自己分析	キャリアプラン・ライフプラン 自身の経験をもとに自己分析を行なう 入学理由・業界や職種に興味を持ったきっかけ		
5回	自己分析	もっとも打ち込んだ事は？ 現在の生活状況やアルバイトから自身の強みを考える		
6回	自己分析	自身はクラスメイトからどのように思われている？ 前回までの授業の続き		
7回	自己PR	自己PRの作り方 自己PR作成		
8回	自己PR	パーソナルチェック(挫折経験・ストレス解消法・趣味・特技)		
9回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには		
10回	質問事例	職業観についての質問 あなたを採用するメリットは？		
11回	コミュニケーションスキル	自分の意見を伝えるためには…「結論から話す」 結論から話す練習		
12回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる		
13回	履歴書作成	履歴書の記入項目と書き方 文章のまとめ方・志望動機と自己PR以外の項目の書き方		
14回	履歴書作成	志望動機&自己PR完成		
15回	履歴書作成	履歴書完成		



対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	ホテル・ブライダル業界研究			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ホテル・ブライダルを体系的に理解し、業務として興味と関心を高める。 業界における専門知識とサービス実務を学び、就職に活かす能力を高める。			
使用テキスト	ホテルビジネス			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	接客の基本	グルーミング・基本動作(お辞儀・笑顔・立ち姿・待機姿勢・案内) 接客用語と挨拶・言葉遣い ホテル・ブライダル業界で求められるサービスと働く魅力について		
2回	ホテルの基本知識	ホテルの歴史・職種・組織 ホテルの形態と種類		
3回	ブライダルの基本知識	ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態 宗教によるスタイル		
4回	ブライダルの基本知識	挙式・披露宴の概要 日本におけるブライダルの習慣・しきたり		
5回	ホテル紹介	ホテルの形態と種類 世界のホテルブランド		
6回	宿泊部	宿泊部門の組織について(各課の役割と業務内容) 客室の快適性・居住性 客室の種類(ルームタイプ)と設備・寝具の基本知識		
7回	料飲部	レストランメニュー・レストランの種類 レストラン業務の流れと基本		
8回	宴会部 その他の部門	宴会業務の基本と流れ(各課の役割) 宴会の種類 「裏方」と呼ばれるホテル内での仕事		
9回	ブライダルに関わる業務	結婚・結婚式に携わる職種		
10回	挙式の流れ	挙式で行なわれる演出について解説		
11回	披露宴の流れ	披露宴で行われる演出について解説		
12回	披露宴の流れ	披露宴で行われる演出について解説		
13回	結婚式全体の流れを確認	挙式・披露宴での一連の流れ、進行を確認		
14回	ホテル・結婚式場紹介	有名・人気のある各施設と、その特徴を紹介		
15回	前期まとめ	前期授業のまとめと期末試験対策		

対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	旅行業界研究			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・旅行業の歴史と課題を理解する ・旅行会社の業務と法規を理解する ・国内の代表的な観光地に関する知識を深める			
使用テキスト	旅行業務入門			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ガイダンス	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・旅行に関する資格、国家試験の概要、学習方法 ・旅行業界に求められる人材		
2回	旅行業のなりたち	・旅行業とは ・旅と旅行業の歴史 ・旅行業の課題		
3回	国内旅行地理(1)	・日本の地理(おもな島など) ・国内の世界遺産		
4回	旅行業務	・旅行業の収益 ・旅行商品		
5回	旅行会社	・旅行会社と営業所 ・旅行会社の業務と組織 ・担当者に求められること		
6回	国内旅行地理(2)	・国立公園 ・湖沼、山岳、半島・岬		
7回	旅行業法	・登録制度 ・営業保証金制度 ・旅行業務取扱制度と旅行業協会		
8回	旅行業約款	・企画旅行と手配旅行 ・契約の成立、契約の変更、契約の解除 ・旅程保証と特別補償		
9回	国内旅行地理(3)	・新幹線ネットワーク ・主な空港		
10回	JRの知識	・JR運賃 ・JR料金		
11回	JR時刻表、その他鉄道	・JR時刻表 ・私鉄 ・観光列車		
12回	航空の知識	・フルサービスキャリア ・LCC ・2レター、3レター		
13回	国内旅行地理(4)	・温泉 ・祭り ・郷土料理		
14回	その他運送機関	・フェリー、クルーズ ・ロープウエー、ケーブルカー ・高速バス、貸し切りバス		
15回	宿泊機関	・旅館 ・ホテル ・民泊		

対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	航空業界研究			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 空港ではどのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。 エアポートビジネスが支える航空運送事業について、多くの観点から学習し理解する。			
使用テキスト	エアポート ビジネス入門・必要に応じプリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容、進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージの意見交換を行う		
2回	エアポートビジネスとは	航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ		
3回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃止と規制緩和について学ぶ 航空業界の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ		
4回	航空の歴史	共同運航便(コードシェア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ 燃油特別付加運賃(オイル・サーチャージ)の導入その後の影響について学ぶ		
5回	日本の空港	空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について理解する 空港の基本的な機能及び空港施設・設備及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		
6回	空港業務の概要	空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォワーダー・通関業者について学ぶ		
7回	航空機の特性	交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ		
8回	航空業界の仕事	JALグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ		
9回	航空業界の仕事	日本における中堅航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本の格安航空会社と日本に就航している格安航空会社について学ぶ		
10回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントについて学ぶ		
11回	航空業界の仕事	運航管理(ディスパッチ)業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ		
12回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 出発時と到着時の旅客送迎サービス業務の要点について理解する		
13回	航空貨物業界の仕事	航空貨物業界の実績推移を把握し航空貨物輸送の特徴を学ぶ 航空貨物の業務について航空貨物業者と航空会社の分担、一般的な流れを学ぶ 航空貨物の搭載方式と荷役機器について、その概要を学ぶ		
14回	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(I・II・III)について学ぶ 搭乗旅客および機内持込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ		
15回	航空業界の動向	航空業界の今後の動向について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題+提出物で評価する。			
使用テキスト	プリント等			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題+提出物で評価する。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーリング 最終模擬面接対策	2年次就職活動の注意点 最終模擬面接対策・直前練習		
2回	受験対策	最終模擬面接振り返りと改善 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
3回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
4回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
5回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
6回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
7回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
8回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
9回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
10回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
11回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
12回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
13回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
14回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
15回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり 直前に控えた入社試験を想定して各自の受験企業に応じた対策・指導を行い、内定を勝ち取る。			
使用テキスト	プリント等			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題+提出物で評価する。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	最終模擬面接対策	最終模擬面接対策(面接練習)		
2回	受験対策	最終模擬面接対策振り返りと改善 各自入社試験準備 受験企業研究と応募書類作成		
3回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
4回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
5回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
6回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
7回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
8回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
9回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
10回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
11回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
12回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
13回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
14回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
15回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y①クラス
科目名	ホテル総論			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり フロントオフィス業務についての基本知識を中心に、ホテル全体の流れを理解する			
使用テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	<input checked="" type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ホテルの基本知識	ホテルの歴史		
2回	ベル・ドア・クローク業務のおさらい	ベルサービス・ドアマン・クローク 宅急便の受け方を習得する		
3回	客室について	様々な客室タイプとその特徴を理解する		
4回	宿泊料金について	様々な料金形態を理解する		
5回	リザーベーション業務	予約受付の流れ 電話予約の基本・キャンセルと変更・キャンセルチャージ		
6回	専門用語解説	ホテルで飛び交う様々な専門用語を解説		
7回	レセプション業務	チェックインの手順 レジストレーションカードの記入方法		
8回	レセプション業務	チェックインのロールプレイング		
9回	宿泊部に関する指標	稼働率・客室売上 ADR RevPAR		
10回	宿泊部に関する指標	例をもとに各指標の計算を行なう		
11回	ハウスキーピング	ハウスキーピング(客室係の業務内容について) ルームステータスについて		
12回	ハウスキーピング ベッドメイキング	ハウスキーピング(ベッドメイキング)の解説と練習		
13回	ハウスキーピング ベッドメイキング	ハウスキーピング(ベッドメイキング)の解説と練習		
14回	実技テスト	ハウスキーピング(ベッドメイキング)の実技テストを行なう		
15回	前期まとめ	前期授業のまとめと期末試験対策		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y②クラス
科目名	旅行実務			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・海外旅行に必要な知識を身につける ・旅行会社における海外旅行の業務を理解する ・海外地理の知識を深める			
使用テキスト	旅行業務入門			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点:40% ・期末試験:60%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ガイダンス	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・旅行に関する資格、国家試験の概要、学習方法 ・旅行業界に求められる人材		
2回	海外旅行の流れ	・大使館と領事館 ・旅券と査証 ・CIC		
3回	海外旅行地理(1)	・海外旅行地理(1)アジア ・主な観光地 ・地域の文化		
4回	時差	・GMTとDST ・所要時間		
5回	海外旅行地理(2)	・海外旅行地理(2)オセアニア ・主な観光地 ・地域の文化		
6回	国際航空の知識	・FSCとLCC ・航空アライアンス ・マイルサービス		
7回	空港と航空会社	・2レターと3レター ・国際航空運賃の仕組み		
8回	海外旅行地理(3)	・海外旅行地理(3)北アメリカ ・主な観光地 ・地域の文化		
9回	旅行商品	・海外パッケージツアー ・インターネット活用 ・FIT		
10回	海外旅行地理(4)	・海外旅行地理(4)ヨーロッパ1 ・主な観光地 ・地域の文化		
11回	インバウンド	・インバウンド ・MICE ・IR		
12回	海外旅行地理(5)	・海外旅行地理(5)ヨーロッパ2 ・主な観光地 ・地域の文化		
13回	各種交通機関	・クルーズ ・鉄道バス		
14回	海外旅行地理(6)	・海外旅行地理(6)南アメリカ・中近東・アフリカ ・主な観光地 ・地域の文化		
15回	海外旅行の付帯サービス	・海外旅行保険 ・海外安全情報 ・海外インターネット環境		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y1クラス
科目名	レストラン&バンケットサービス			
担当講師(フルネーム)	島寄満美子			
到達目標	□ 検定あり			
使用テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	レストランとは	1. 料飲部門とは 2. 料飲部門におけるレストランの位置づけ 3. レストランの種類 4. レストラン業務の特性 5. 覚えておきたい基礎知識		
2回	レストランの組織と職務分担	1. レストランの組織 2. マネージャー 3. キャプテン 4. ウエーター、ウエイトレス 5. ソムリエ 6. その他 7. 覚えておきたい基礎知識		
3回	レストランサービス	1. サービスとは 2. サービス時の心構え 3. サービス時のマナー 4. テーブル・サービス分類の考え方		
4回	レストランサービス	5. メニューの知識 6. サービス業務の手順 7. 料飲サービスの実際		
5回	レストランサービス	8. 衛生管理 9. 苦情処理 10. サーバーの使い方 11. 料理の盛り付け方		
6回	復習	小テスト これまでのまとめ		
7回	サービスの基本	1. テーブルクロスのかかけ方 2. ナプキンの折り方 3. 食器類のセッティング 4. トーションのかかけ方 5. グラスの扱い方		
8回	サービスの基本	6. 飲み物の注ぎ方 7. ナイフ、フォーク、スプーンの取り扱い方 8. 皿の持ち方		
9回	復習	小テスト これまでのまとめ		
10回	バーの基本知識	1. 料飲部門におけるバーの位置づけ 2. バー業務の特性 3. バースタッフの役割と心得 4. バーサービスの手順 5. 苦情処理		
11回	食器・リネン・備品の知識	1. シルバー類 2. チャイナ類 3. グラス類 4. その他 5. ワゴン類		
12回	レストランの防災・防犯	1. 防災・防犯管理の留意点 2. 防災管理 3. 防犯管理		
13回	レストラン開業までのマネージメント	1. 業態別の商品特性 2. 事業計画 3. 手順		
14回	レストラン開業までのマネージメント	4. 基本構想 5. 資金計画 6. 設計イメージ		
15回	レストラン開業までのマネージメント	7. 許可申請 8. 着工・竣工		



対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y②クラス
科目名	空港実務			
担当講師(フルネーム)	原田歩			
到達目標	<input type="checkbox"/> 検定あり ・国際線における基礎知識を習得する ・安全について理解を深める ・障害のあるお客さまが不自由に感じていることを学び、対応できるようになる			
使用テキスト	『ANAグランドスタッフ入門』			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	<input type="radio"/>	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 海外の空港	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・海外の空港について学ぶ ・海外の空港・都市の3レターについて学ぶ		
2回	海外の航空会社	・海外の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・各航空会社の2レターを覚える		
3回	出入国書類	・パスポートについて学ぶ ・ビザについて学ぶ ・出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ		
4回	CIQ	・CIQの役割を理解する ・国際線における手続きを学ぶ ・国際線におけるお客さまの流れを学ぶ		
5回	CIQ	・CIQの役割を理解する ・国際線における手続きを学ぶ ・国際線におけるお客さまの流れを学ぶ		
6回	手荷物①	・受託・持込み手荷物のルールを学ぶ ・様々な種類の手荷物タグについて学ぶ ・様々な種類の収納ケースについて学ぶ		
7回	手荷物②	・手荷物タグの取扱い方法を学ぶ ・危険物について学ぶ ・国際線のルールを学ぶ		
8回	アライアンス	・世界のアライアンスを知る ・各アライアンスの加盟航空会社を知る ・アライアンス加盟によるメリットを説明できるようになる		
9回	保安	・アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ ・全日空機ハイジャック事件について学ぶ ・安全についてより一層理解を深める		
10回	視覚障害者へのサービス①	・視覚障害者についての基本知識を習得する ・介助犬について学ぶ ・盲導犬について理解を深める		
11回	視覚障害者へのサービス②	・全盲体験をする ・手引きの方法を学ぶ ・体験から学んだことを共有し接客に活かす		
12回	聴覚障害者へのサービス	・聴覚障害者の基本知識を習得する ・日常生活における不自由さについて共有する ・様々なコミュニケーション方法を学ぶ		
13回	肢体障害者へのサービス	・肢体障害者についての基本知識を習得する ・自走体験をする ・車椅子をご利用の方への接客方法を学ぶ		
14回	イレギュラー	・欠航や遅延の理由を学ぶ ・会社都合、不可抗力について学ぶ ・イレギュラー時の基本的な応対方法を学ぶ		
15回	まとめ	・復習、および補足		